

～第3期富田林市子ども・子育て支援事業計画策定に向けて～

富田林市子育て支援に関するニーズ調査 結果報告書

令和6年5月

富田林市

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 実施概要	1
3. 調査結果の見方	1
第2章 前回調査との比較	2
1. 就学前児童	2
2. 小学生児童	15
第3章 調査結果	21
1. 子どもと家族の状況	21
2. 子どもの育ちをめぐる環境	24
3. 保護者の就労状況	26
4. 平日の保育所、幼稚園、認定こども園などの利用状況	34
5. 土曜日、日曜日・祝日、長期休業中に子どもを預かる施設やサービスの利用意向	39
6. 地域子育て支援拠点事業などの利用状況や利用意向	42
7. 保育所や幼稚園などの不定期的な利用状況	45
8. 宿泊を伴う一時預かりの利用意向	49
9. 新1年生の放課後の過ごし方の意向（現在のイメージ）	50
10. 小学生の放課後の過ごし方の現状と意向	54
11. ひとり親家庭への支援や施策	59
12. 子育てに関する情報源	61
13. 本市の子育て支援全般	62

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

このアンケート調査は、市内にお住まいの就学前及び小学生の子どもの保護者の方を対象に、子育ての状況や子育て支援に関するニーズなどをお聞きし、子ども・子育て環境のさらなる充実に向けた「第3期富田林市子ども・子育て支援事業計画（令和7～11年度）」策定の基礎資料とするために実施しました。

2. 実施概要

調査期間は、令和6年3月1日（金）から3月20日（水）を期限とし、4月3日（水）まで回収しました。また、今回の調査では、URLと二次元コードが書かれた案内はがきを配布し、インターネットサイト上にあるアンケートフォームにスマートフォン、パソコンで回答するWeb方式で行いました。

なお、平成31年3月実施の前回調査では、就学前児童については郵送で、小学生児童については学校を通じて、それぞれアンケート用紙を配布・回収しました。

対 象	配布数	回収数	回収率	前回回収数	前回回収率
市内在住の就学前児童の保護者	3,346	1,039	31.1%	1,288	46.8%
市内在住の小学生児童の保護者	1,500	637	42.5%	644	64.4%

※Web方式による回答数の低下を見込み、配布数を増やすことで、前回と同様の回収数の確保に努めました。

3. 調査結果の見方

○タイトルの問番号のMAは複数回答が可能な設問の意味で、記載なしの場合はSA（単数回答）を意味します。

○集計結果のグラフのn値は、当該設問の回答数を示しています。

○集計結果における“無回答”とは、当該設問への回答なしの件数（票数）を示しています。

○設問の中には前問に答えた人のみが答える「限定質問」があり、その場合の「合計」は全体より少なくなっています。

○集計結果のグラフ・表における比率（％）は、小数点第2位を四捨五入して算出・表示しているため、比率の合計が100%にならない場合があります。

○複数回答の設問では、表記の比率の合計は100%を超えます。

○選択肢を複数合わせて表現する場合、『 』を使用していますが、その比率は回答数の合算による比率を示すため、比率の合算と必ずしも一致しません。

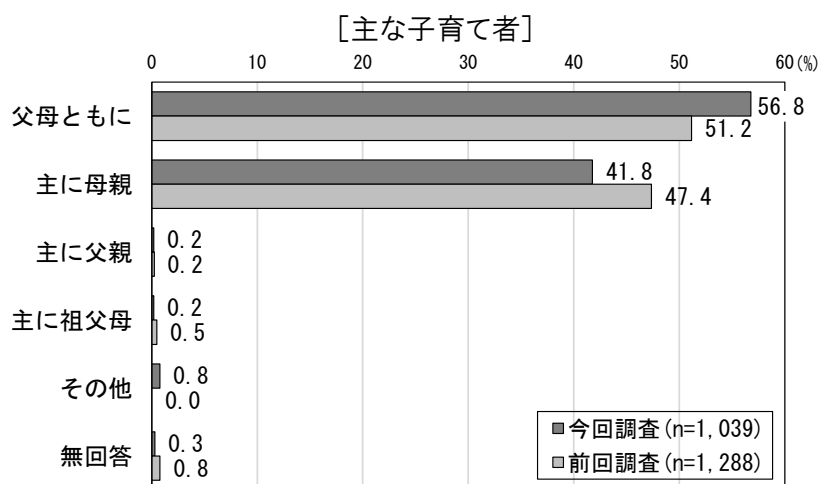
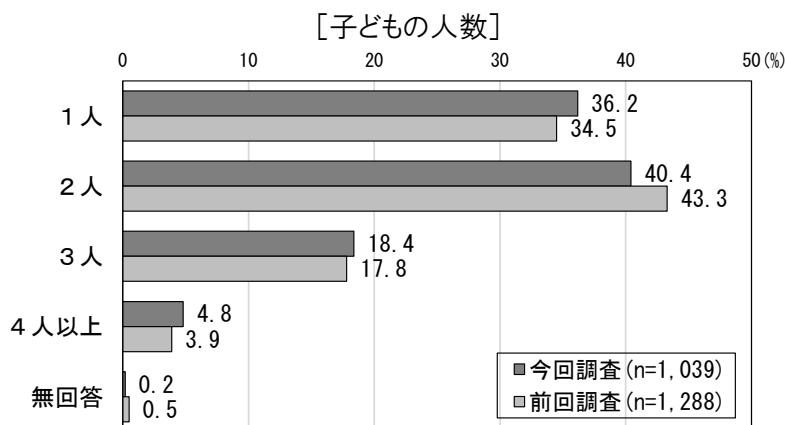
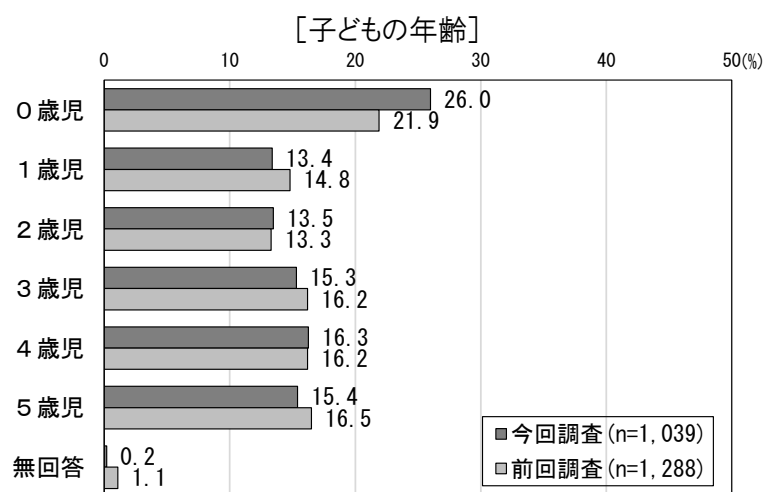
○第3章のクロス表での  表示は、その種別の第1位の項目（無回答を除く）を示しています。

第2章 前回調査との比較

1. 就学前児童

(1) 子どもと家族の状況

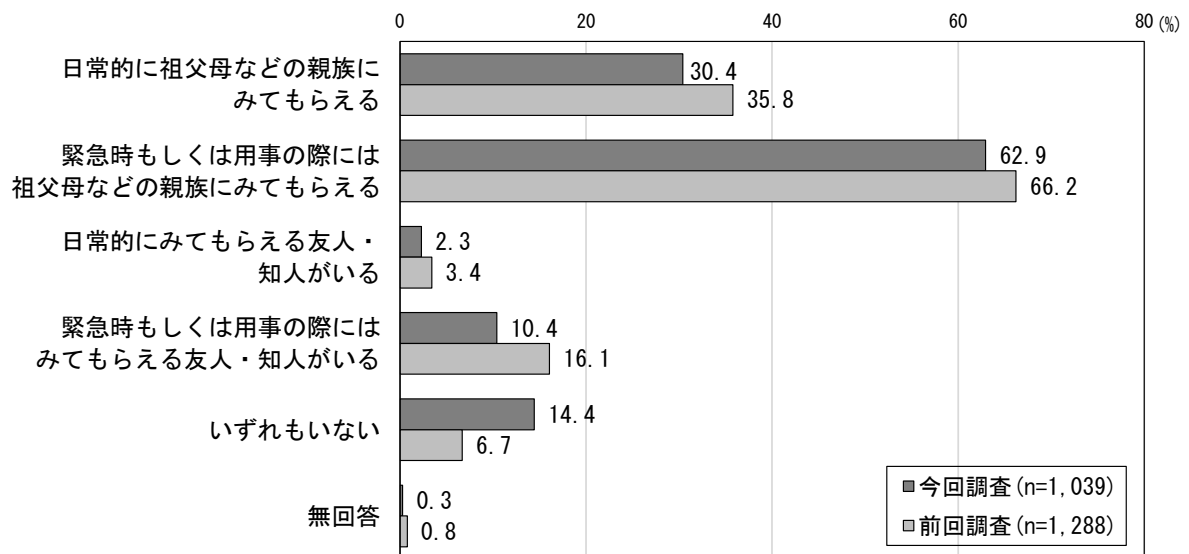
- 子どもの年齢では、「1歳児」や「3歳児」、「5歳児」が若干減少し、「0歳児」が増加しています。
- 子どもの人数では、「2人」が若干減少し、一方、「1人」や「3人」、「4人以上」が若干増加しています。平均は今回調査が1.95人、前回調査が1.92人で、若干増加しています。
- 主な子育て者では、「父母ともに」が5.6ポイント増加し、一方、「主に母親」が5.6ポイント減少しています。



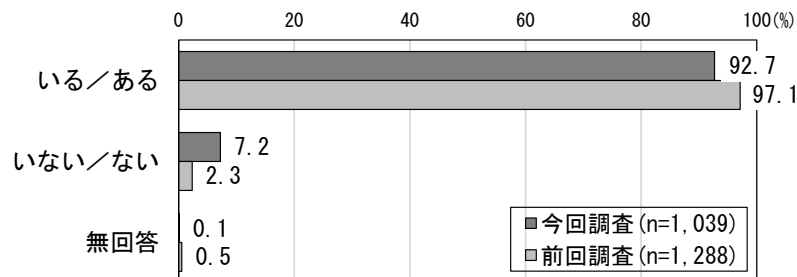
(2) 子どもの育ちをめぐる環境

- 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無では、「いずれもない」が7.7ポイント増加し、これ以外が減少しています。
- 子育てする上での気軽な相談先の有無では、「いる／ある」が4.4ポイント減少し、一方、「いない／ない」が4.9ポイント増加しています。
- 主な相談先では、減少している相談先が多く、特に「隣近所の人、地域の知人・友人」が13.5ポイントと大きく減少しています。

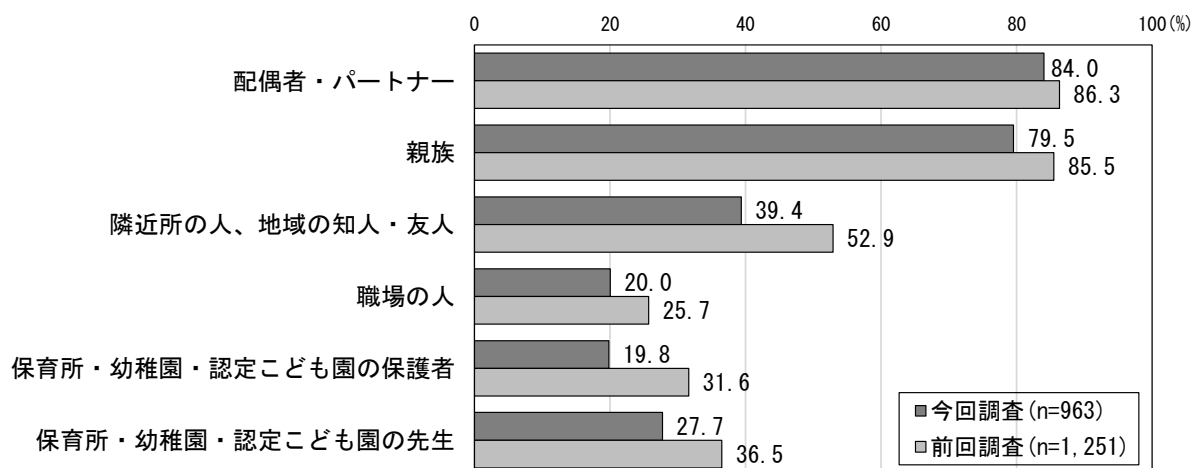
[日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無]



[子育てする上での気軽な相談先の有無]

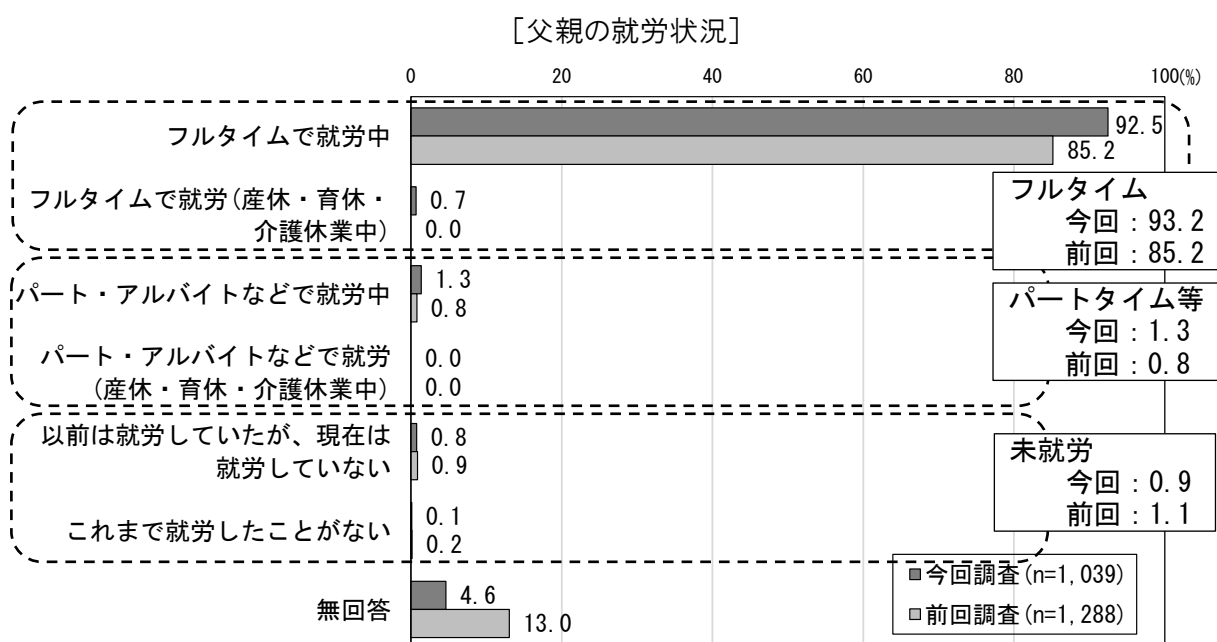
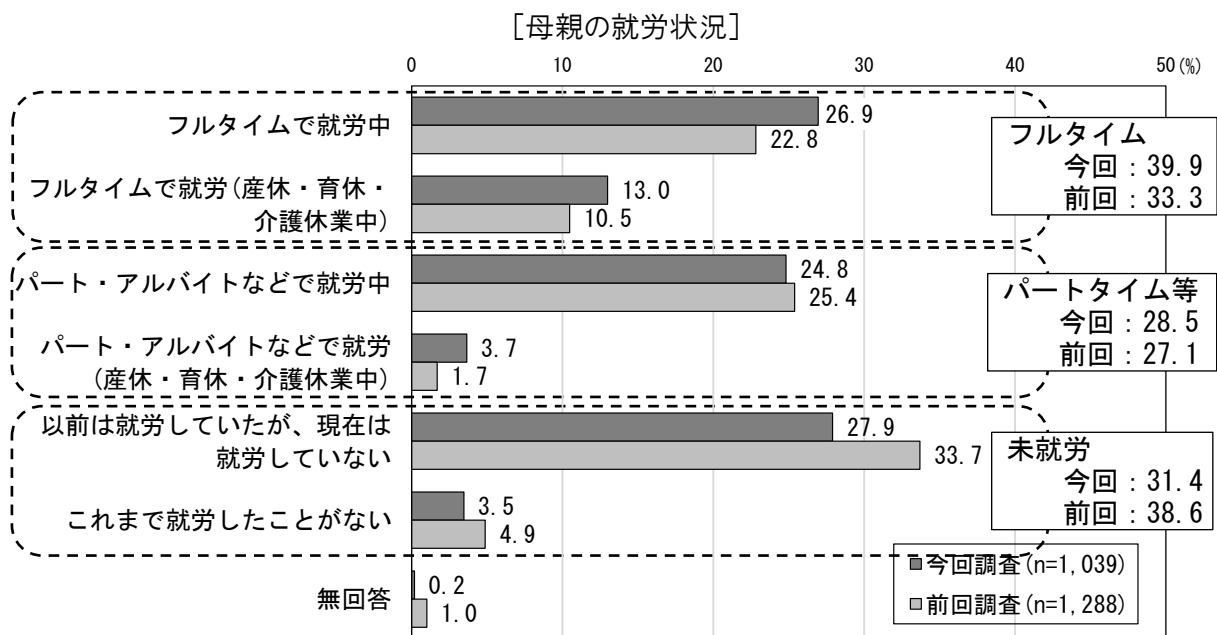


[相談できる人や場所(上位)]



(3) 保護者の就労状況

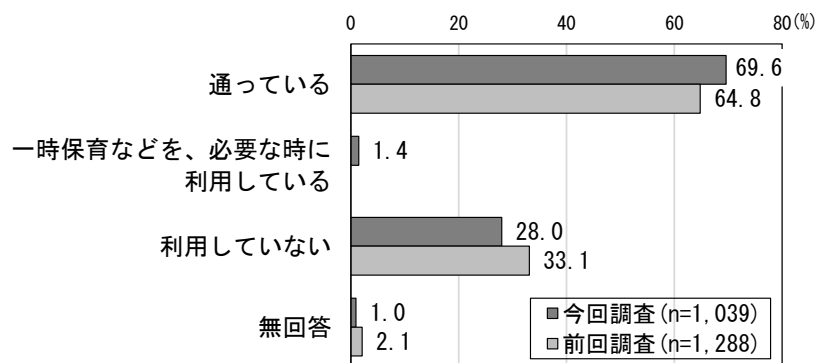
- 母親の就労状況では、『フルタイム』（産休・育休・介護休業中を含む）が6.6ポイント、『パートタイム等』（産休・育休・介護休業中を含む）が1.4ポイントそれぞれ増加し、就労率は今回調査が68.4%、前回調査が60.4%で、8.0ポイント増加しています。一方、『未就労』が7.2ポイント減少しています。
- 父親の就労状況では、『フルタイム』が8.0ポイント、『パートタイム等』が0.5ポイントそれぞれ増加し、就労率は今回調査が94.5%、前回調査が86.0%で、8.5ポイント増加しています。今回調査では無回答（ひとり親家庭を含む）が8.4ポイント減少したことも影響していると思われます。また、「フルタイムで就労（産休・育休・介護休業中）」が前回調査では該当無しが、今回調査では0.7%（7件）の回答がありました。



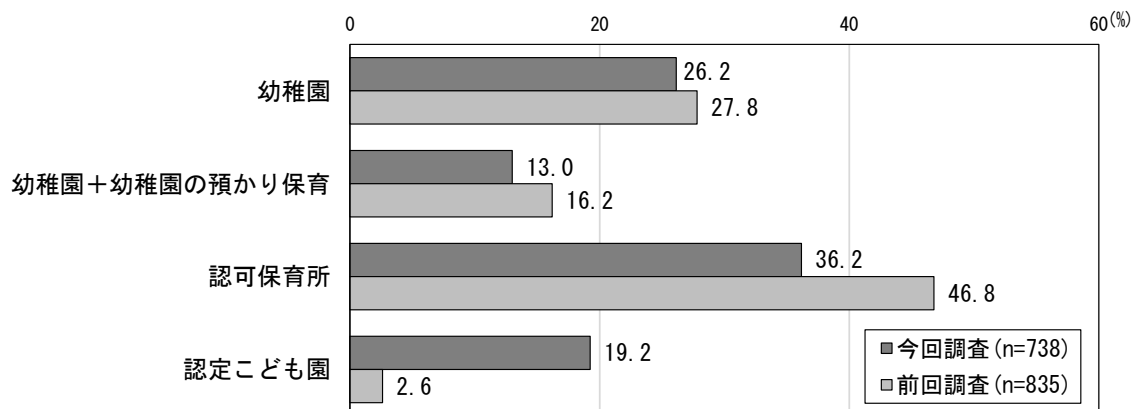
(4) 平日の保育所、幼稚園、認定こども園などの利用状況

- 平日に、子どもを預かる施設やサービスの利用状況では、「通っている」と「一時保育などを、必要な時に利用している」を合わせた『利用している』が71.0%で、前回調査（選択肢は「利用している」のみ）に比べ6.2ポイント増加しています。
- 利用している施設やサービスでは、前回調査に比べ「認定こども園」が大幅に増加した一方で、「認可保育所」をはじめ、「幼稚園」及び「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」がそれぞれ減少しています。また、前回調査では「幼稚園」及び「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」を合わせた『幼稚園』に比べ「認可保育所」が高かったのが、今回調査では『幼稚園』が高く、「認可保育所」が低くなっています。

[子どもを預かる施設やサービスの利用状況]



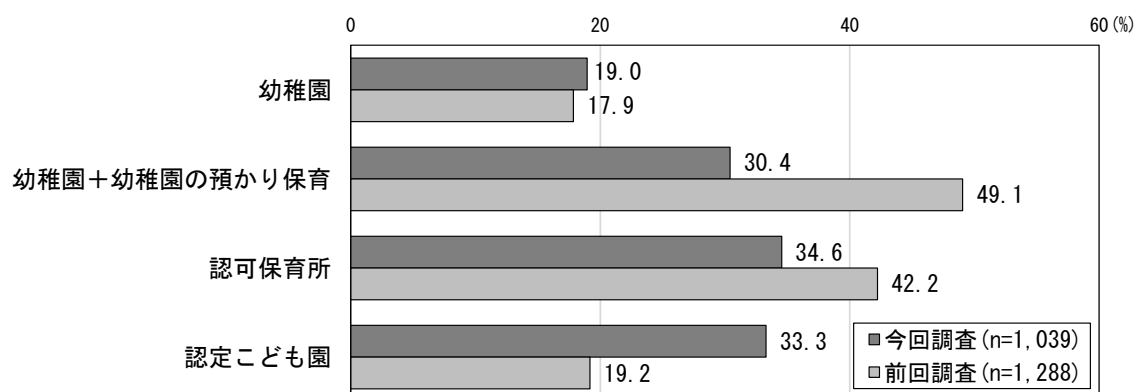
[利用している主な施設やサービス(主要3施設)]



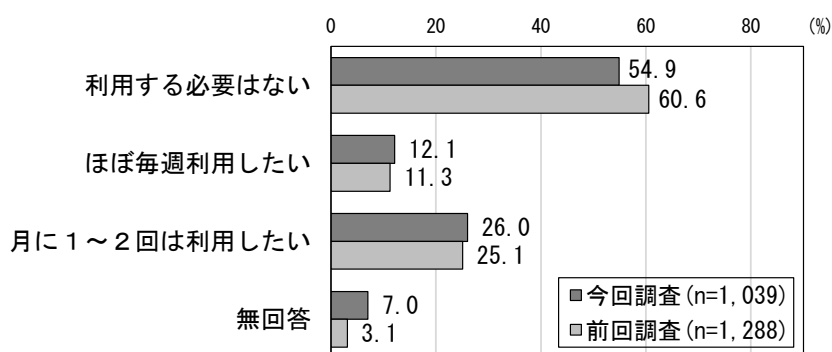
(5) 子どもを預かる施設やサービスの今後の利用意向

- 今後利用したい施設やサービスでは、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が18.7ポイント、「認可保育所」が7.6ポイントそれぞれ減少し、一方、「認定こども園」が14.1ポイント増加しています。
- 土曜日の利用意向では、「ほぼ毎週利用したい」及び「月に1～2回は利用したい」を合わせた『利用したい』が38.1%で、前回の36.4%に比べ1.7ポイント増加しています。
- 日曜日・祝日の利用意向では、「ほぼ毎週利用したい」及び「月に1～2回は利用したい」を合わせた『利用したい』が21.9%で、前回の18.1%に比べ3.8ポイント増加しています。

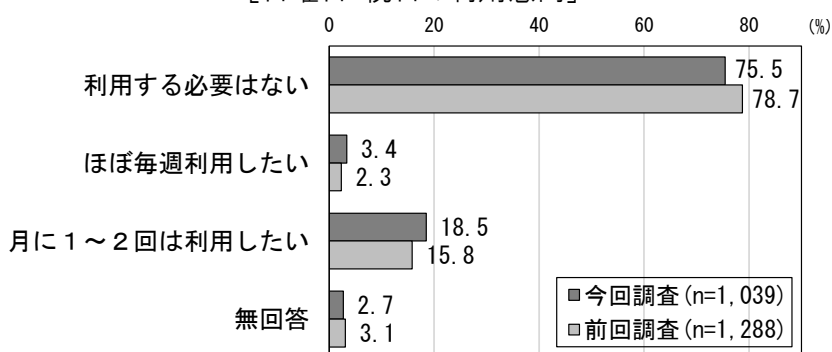
[今後利用したい主な施設やサービス(主要3施設)]



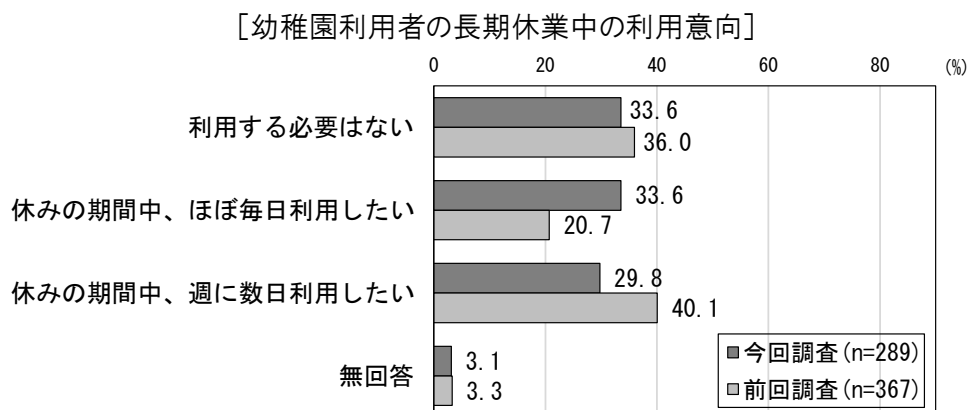
[土曜日の利用意向]



[日曜日・祝日の利用意向]

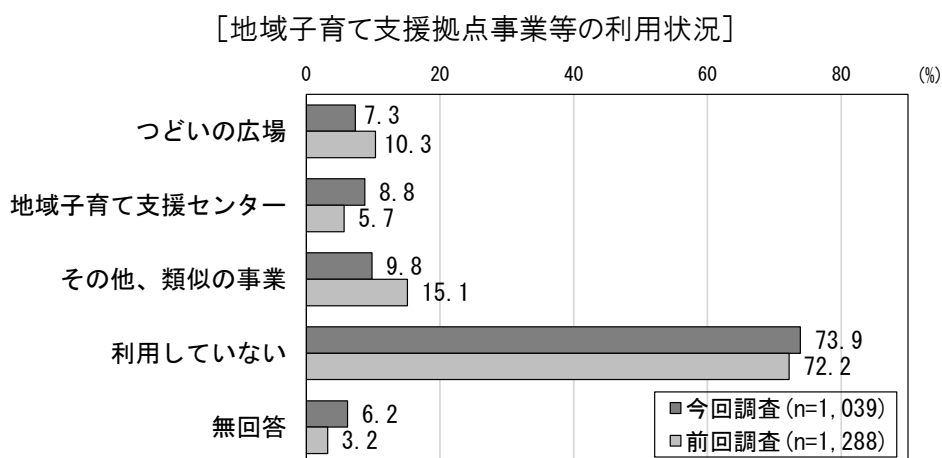


- 現在の幼稚園利用者の長期休業中の利用意向では、「ほぼ毎日利用したい」及び「週に数日利用したい」を合わせた『利用したい』が63.4%で、前回調査の60.8%に比べ2.6ポイント増加しています。特に「ほぼ毎日利用したい」が12.9ポイントと増加幅が大きく、「週に数日利用したい」の回答が多かった前回から逆転する結果となっています。

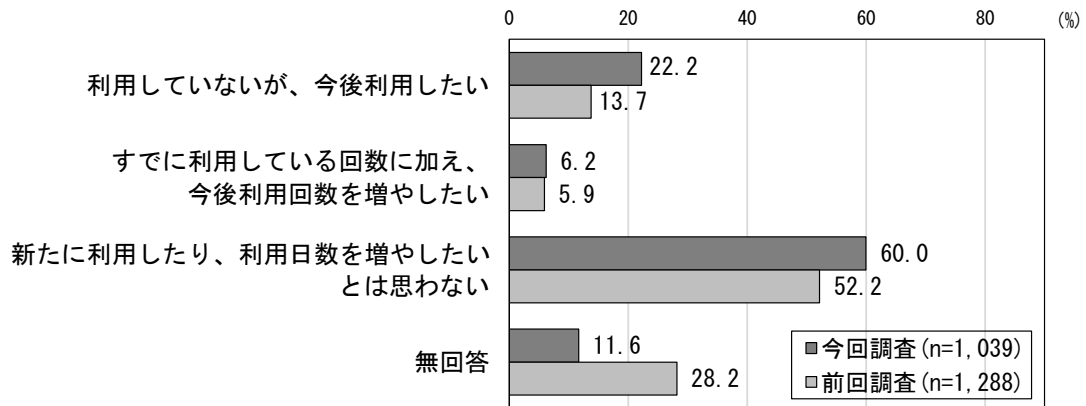


(6) 地域子育て支援拠点事業等の利用状況

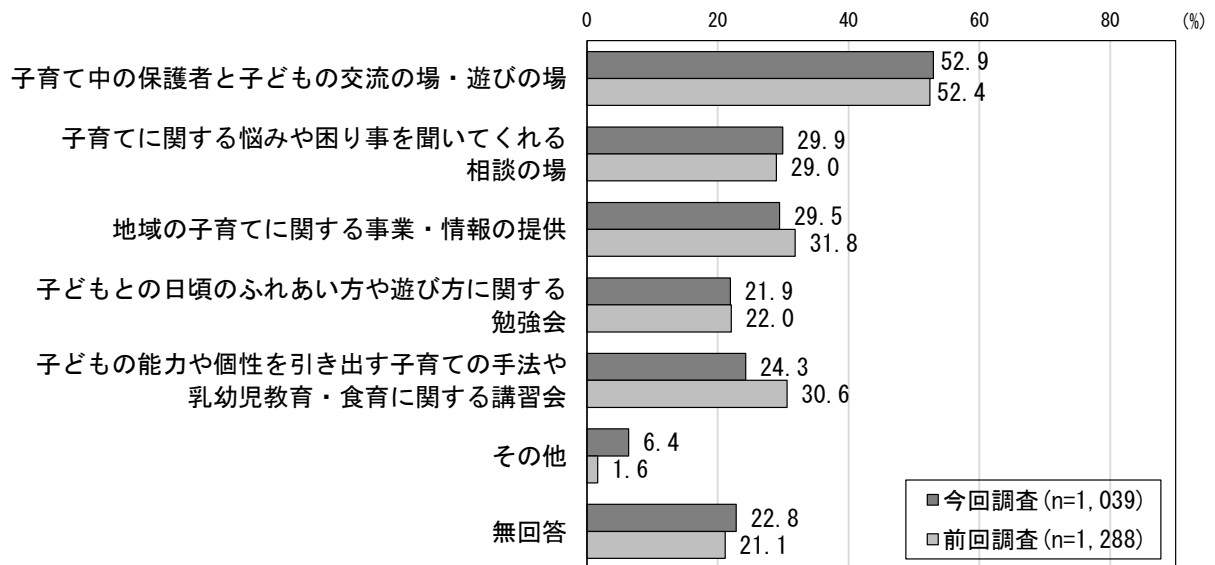
- 「利用していない」及び無回答を除くと、利用率は19.9%で、前回調査の24.6%に比べ4.7ポイント減少しています。利用している中では、「地域子育て支援センター」が増加し、一方、「つどいの広場」及び「その他、類似の事業」がそれぞれ減少しています。
- 今後の利用意向では、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が7.8ポイント増加していますが、一方、「利用していないが、今後利用したい」が8.5ポイント増加しています。
- 地域子育て支援拠点事業で利用したいサービスでは、「子どもの能力や個性を引き出す子育ての手法や乳幼児教育・食育に関する講習会」が6.3ポイント減少し、「その他」が4.8ポイント増加し、これら以外はわずかな差となっています。



[地域子育て支援拠点事業の利用意向]



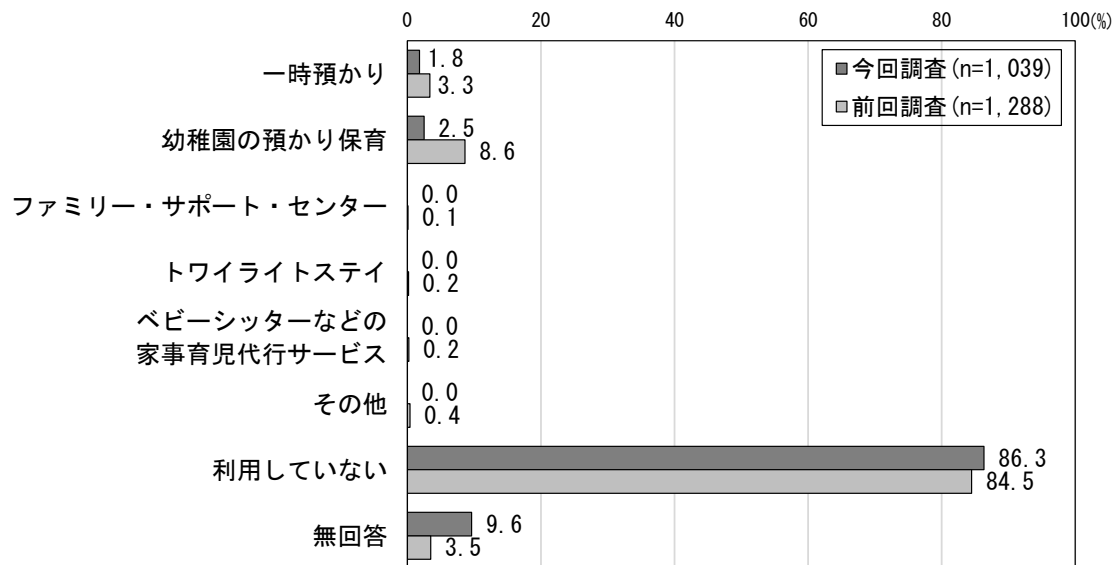
[地域子育て支援拠点事業で利用したいサービス]



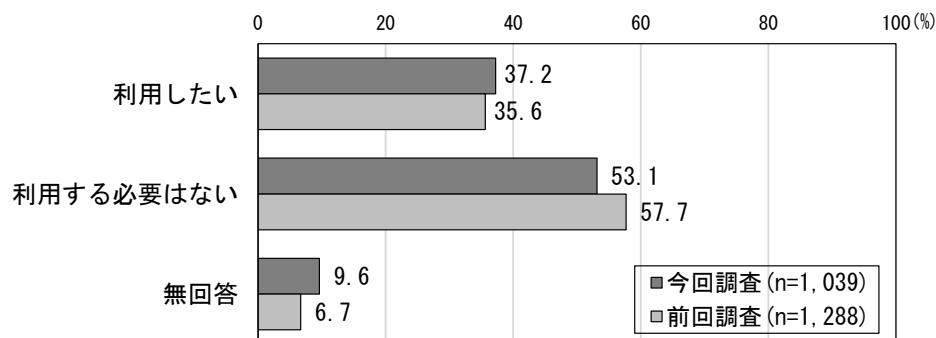
(7) 子どもを預かるサービスの不定期的な利用や宿泊を伴う一時預かりなどの利用状況

- 子どもを預かるサービスの不定期的な利用状況では、「利用していない」及び無回答を除くと、利用率は4.1%で、前回調査の12.0%に比べ7.9ポイント減少しています。利用サービスは「一時預かり」（1.8%）と「幼稚園の預かり保育」（2.5%）のみで、特に「幼稚園の預かり保育」は前回調査に比べ6.1ポイントと大きく減少しています。
- 今後の利用意向では、「利用したい」が37.2%で、前回調査の35.6%と大差ありません。

[子どもを預かるサービスの不定期的な利用状況]

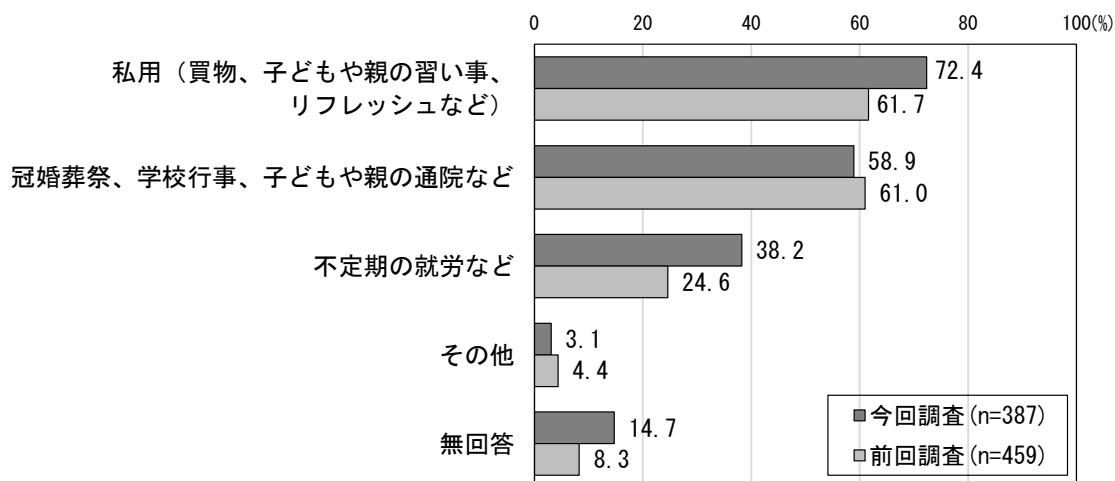


[今後の利用意向]

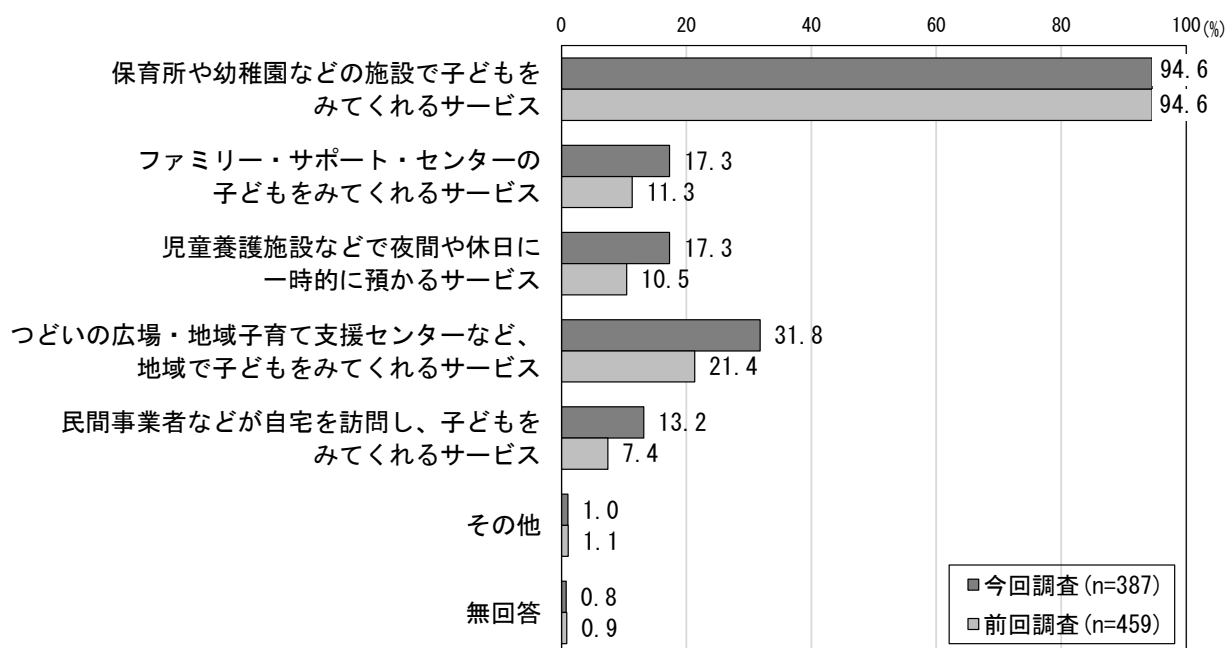


- 利用したい理由では、「私用」や「不定期の就労など」が前回調査に比べ増加しています。
- 一時的な預かりサービスの利用希望者の希望サービスでは、「保育所や幼稚園などの施設で子どもをみてるサービス」が前回調査と同率の94.6%で最も高くなっています。これ以外は、「その他」及び無回答を除き前回調査に比べ、それぞれ増加しています。

[一時的な預かりサービスを利用したい理由]



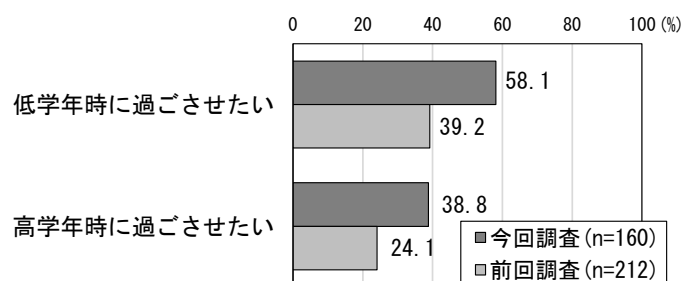
[一時的な預かりサービスの利用希望者の希望サービス]



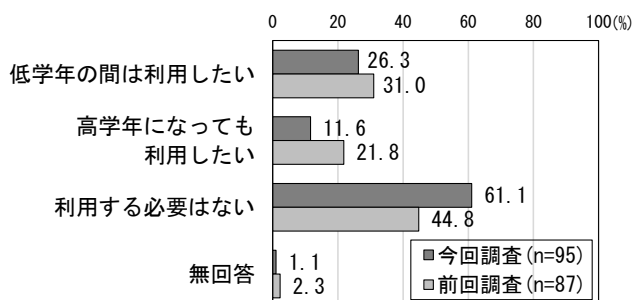
(8) 5歳児の学童クラブの利用意向

- 令和6年4月に小学校に入学する5歳児について、放課後（平日の小学校終了後）に過ごさせたい場所のうち、「学童クラブ」が低学年時は58.1%、高学年時は38.8%で、いずれも前回調査に比べ大きく増加しています。
- 低学年時または高学年時に「学童クラブ」を希望した方の土曜日の利用意向では、「低学年の間は利用したい」及び「高学年になっても利用したい」がともに前回調査に比べ減少しています。
- 低学年時または高学年時に「学童クラブ」を希望した方の日曜日・祝日の利用意向では、土曜日の利用意向と同様に、「低学年の間は利用したい」及び「高学年になっても利用したい」がともに前回調査に比べ減少しています。
- 5歳児の長期休業中の学童クラブの利用意向では、「低学年の間は利用したい」が4.1ポイント増加し、「高学年になっても利用したい」が2.5ポイント減少しています。
- 長期休業中の利用を希望する場合、「長期休業中のみ利用したい」が4.5ポイント増加しています。

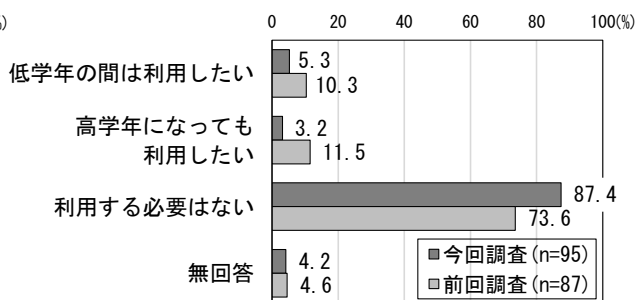
[平日の放課後の学童クラブの利用希望]



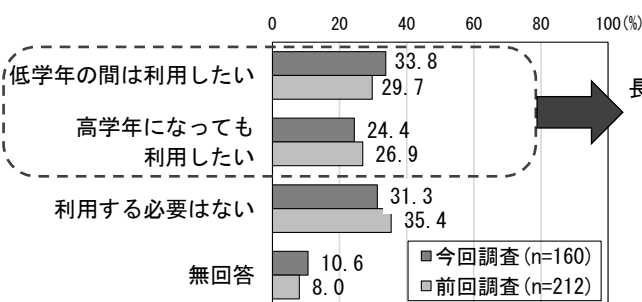
[学童クラブ利用希望者の土曜日の利用意向]



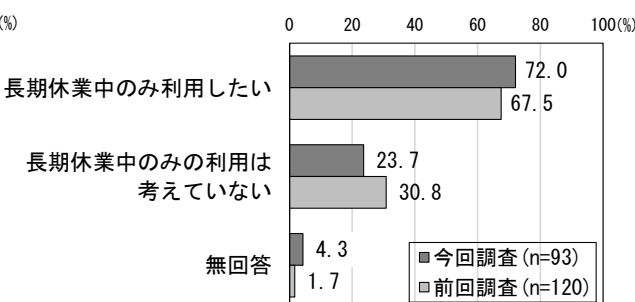
[学童クラブ利用希望者の日曜日・祝日の利用意向]



[長期休業中の学童クラブの利用意向]

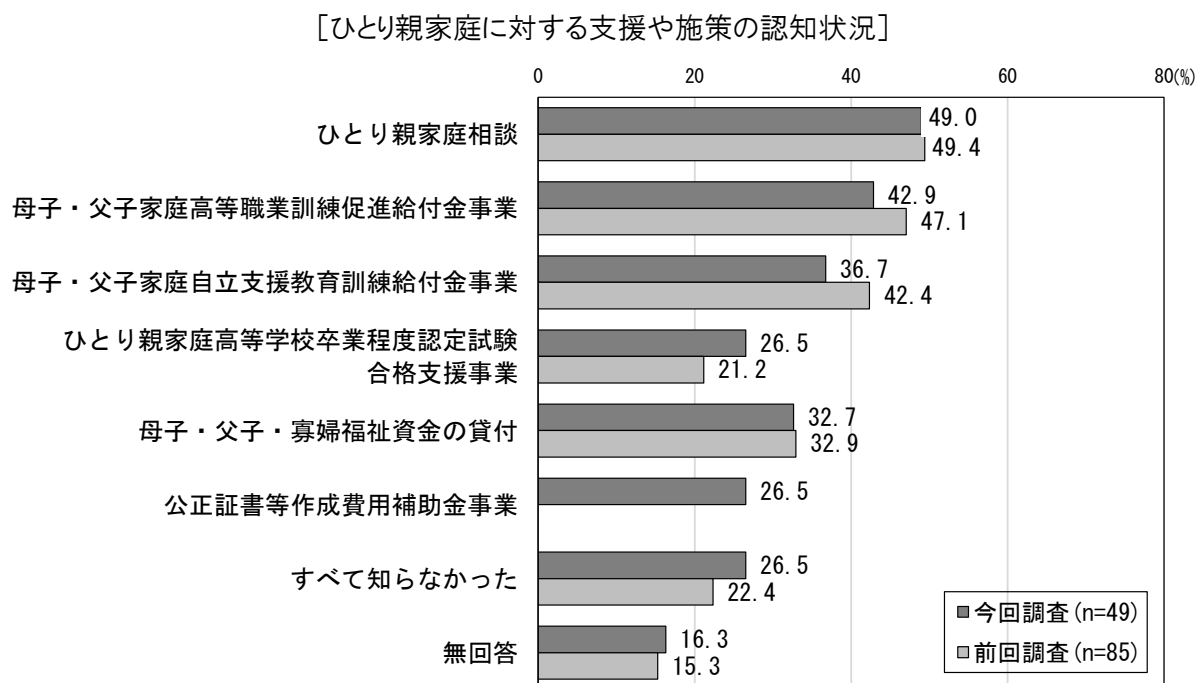
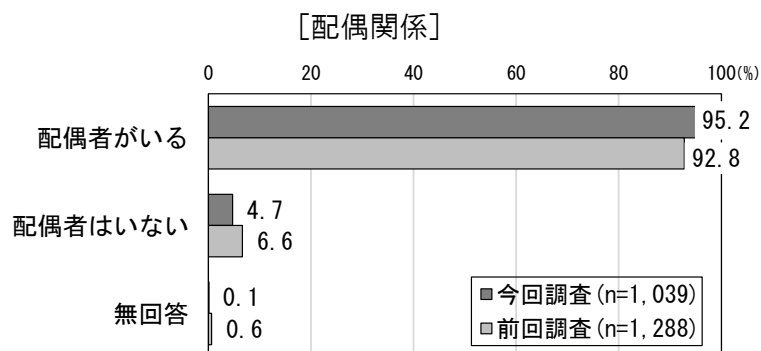


[長期休業中のみの学童クラブの利用意向]

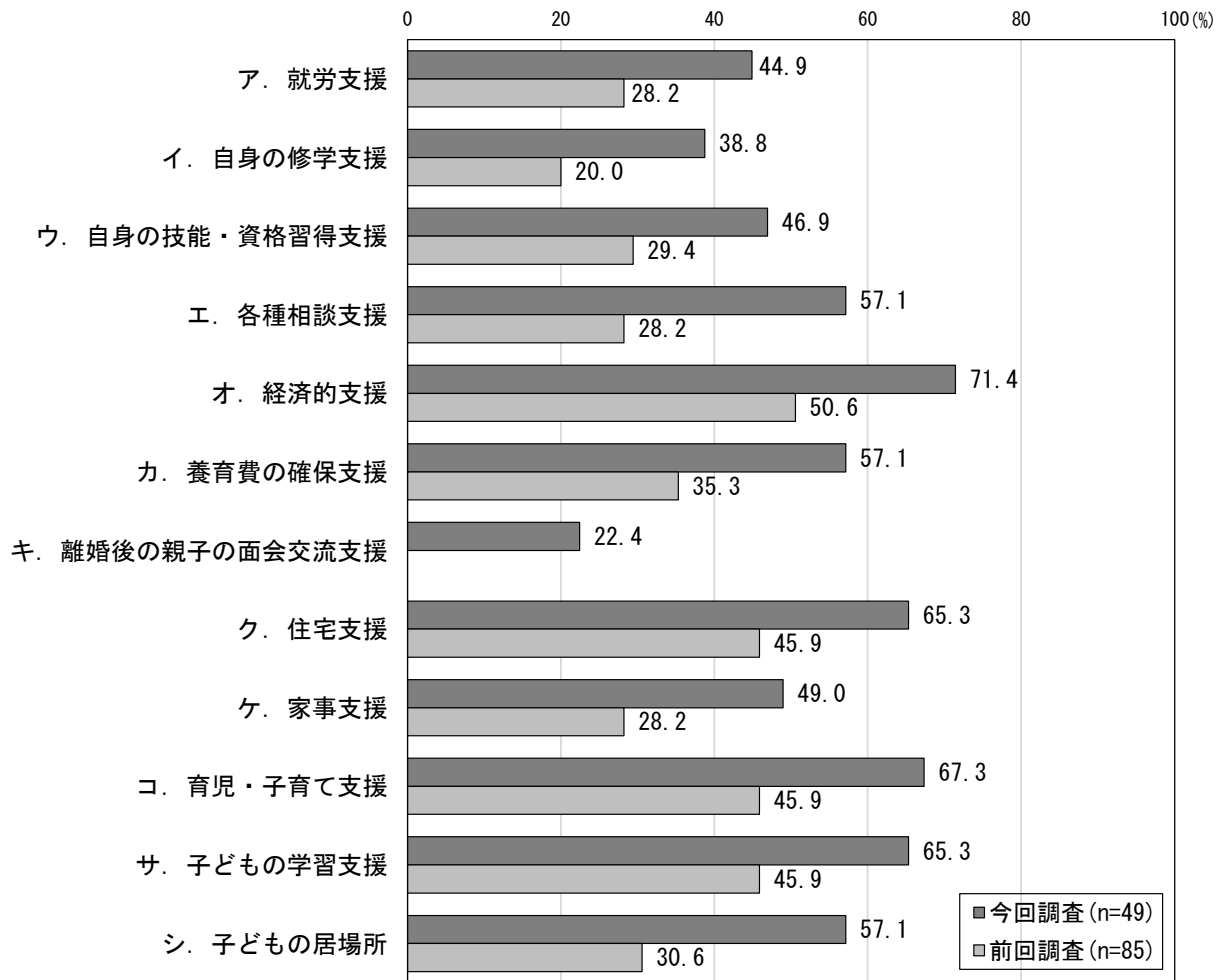


(9) ひとり親家庭への支援や施策

- 配偶関係では、「配偶者はいない」（ひとり親家庭）が4.7%で、前回調査に比べ1.9ポイント減少しています。
- ひとり親家庭に対する支援や施策の認知状況では、「すべて知らなかった」及び無回答を除くと、認知率は57.2%で、前回調査の62.3%に比べ5.1ポイント減少しています。知っている中では、「ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業」が5.3ポイント増加している以外は、同程度か減少しています。また、今回調査で新たに加えた「公正証書等作成費用補助金事業」については26.5%の認知率となっています。
- ひとり親家庭に対する支援や施策についての利用意向では、「利用したい」は今回調査で新たに加えた【キ. 離婚後の親子の面会交流支援】以外のすべての支援や施策で、前回調査に比べ15ポイント以上と大きく増加しています。特に【エ. 各種相談支援】（28.9ポイント）や【シ. 子どもの居場所（子ども食堂など）】（26.5ポイント）の増加幅が大きくなっています。



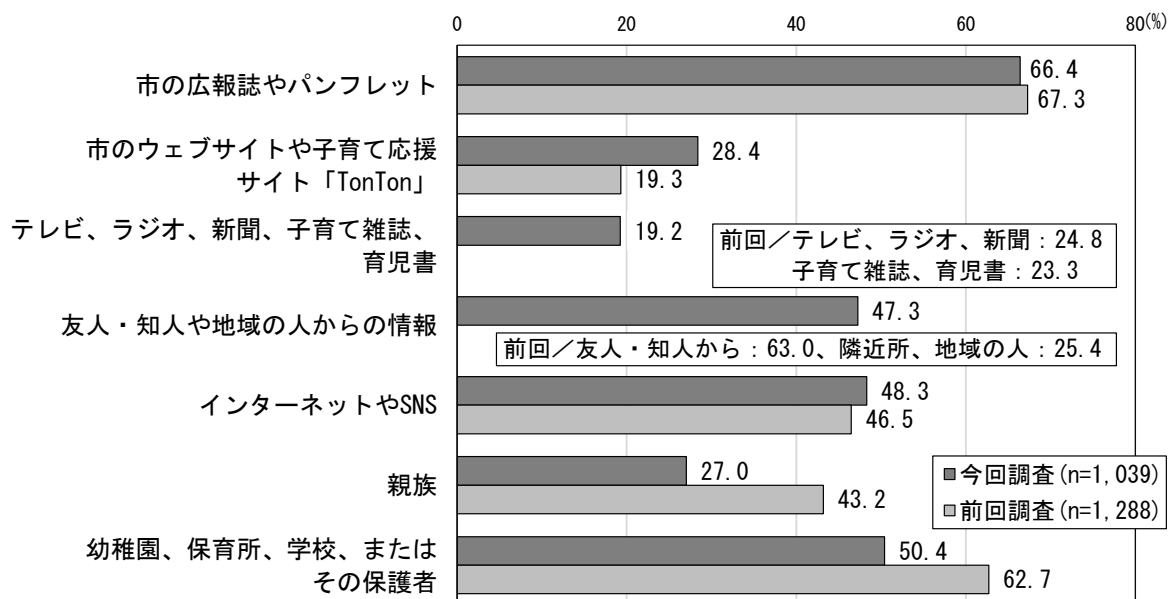
[ひとり親家庭に対する支援や施策の利用意向(利用したい率)]



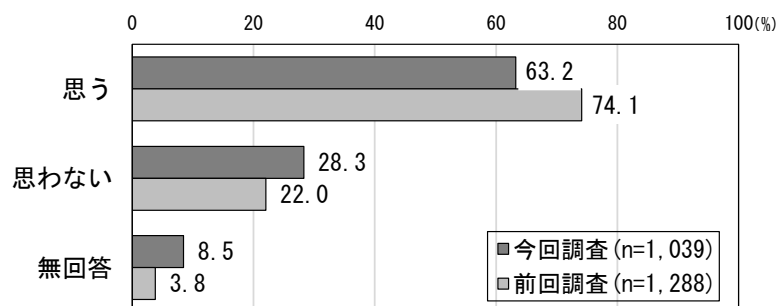
(10) 子育てに関する情報の入手先や富田林市の子育てのしやすさ

- 子育てに関する情報の入手先では、「情報の入手先がない、または情報の入手先や手段がわからない」及び無回答を除くと、92.8%が情報の入手先をあげていますが、前回調査の97.3%に比べ4.5ポイント減少しています。今回調査では入手先の項目の表現がいくつか変更しているため、単純に比較できませんが、同一表現の項目でみると、「市のウェブサイトや子育て応援サイト「TonTon」」、「インターネットやSNS」が増加し、「親族」や「幼稚園、保育所、学校、またはその保護者」が大きく減少しています。
- 富田林市は子育てしやすいまちだと思うかでは、「思う」が63.2%で、前回調査に比べ10.9ポイント減少し、一方、「思わない」が28.3%で、前回調査に比べ6.3ポイント増加しています。

[主な子育てに関する情報の入手先(上位)]



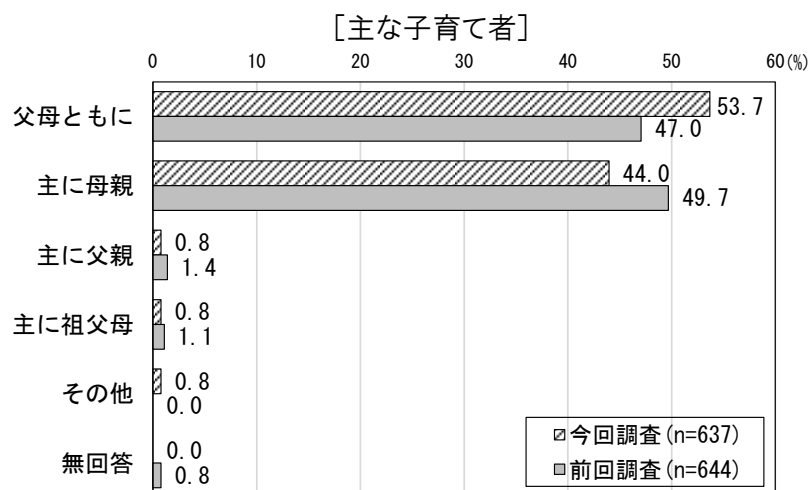
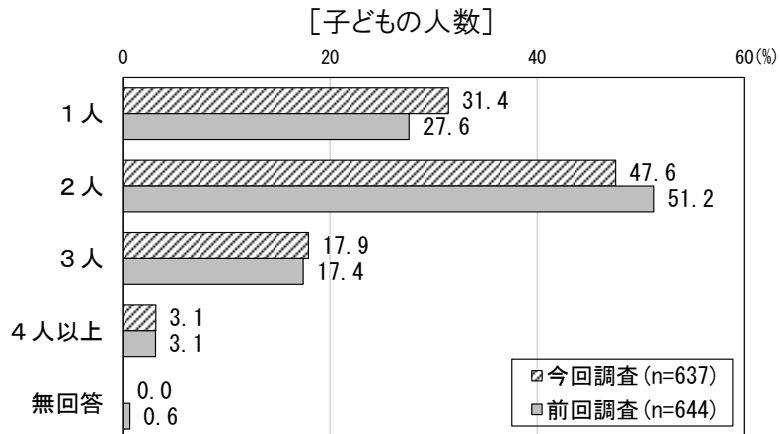
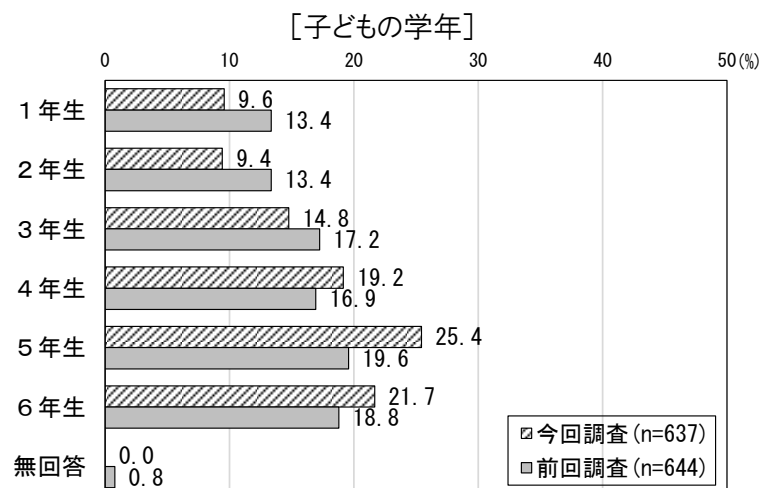
[富田林市は子育てしやすいまちだと思うか]



2. 小学生児童

(1) 子どもと家族の状況

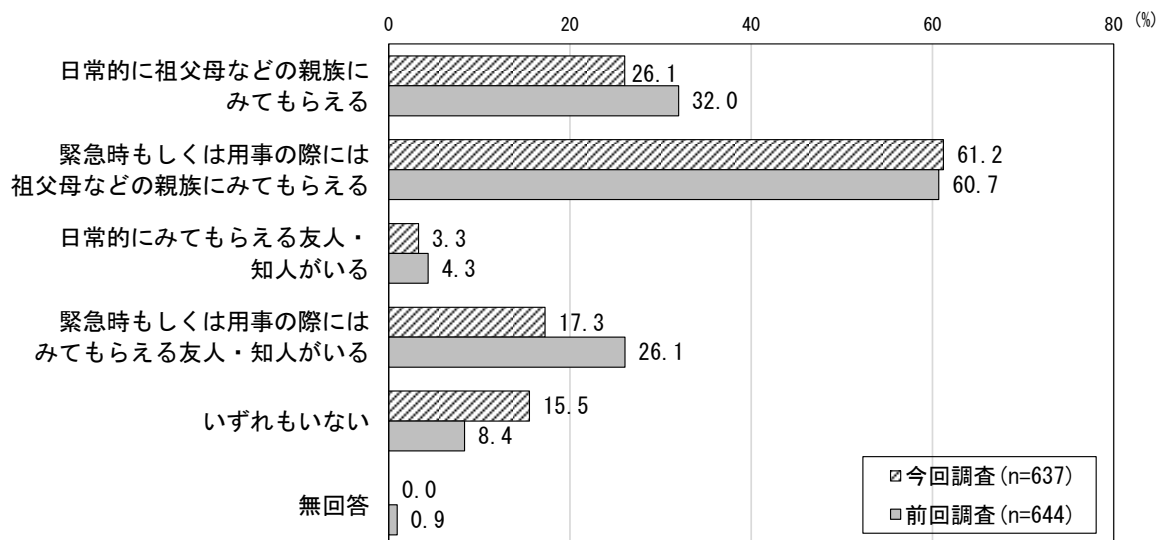
- 子どもの学年では、「1年生」から「3年生」が減少し、「4年生」から「6年生」が増加しています。
- 子どもの人数では、「2人」が減少し、一方、「1人」が増加しています。平均は今回調査が1.94人、前回調査が1.97人で、わずかに減少しています。
- 主な子育て者では、「父母ともに」が6.7ポイント増加し、一方、「主に母親」が5.7ポイント減少し、就学前児童と同様の結果になっています。



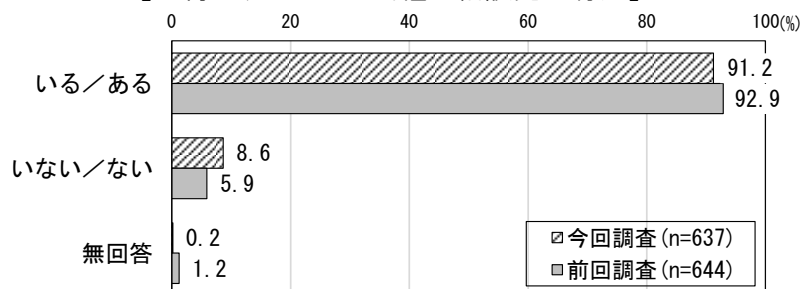
(2) 子どもの育ちをめぐる環境

- 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無では、就学前児童と同様に「いずれもない」が増加（7.1ポイント）し、「緊急時もしくは用事の際にはみてもらえる友人・知人がいる」や「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」が減少しています。
- 子育てする上での気軽な相談先の有無では、「いる／ある」が大差なく、「いない／ない」が2.7ポイント増加しています。
- 主な相談先では、「小学校の保護者」が15.1ポイントと大きく減少し、一方、「配偶者・パートナー」が4.3ポイント増加しています。

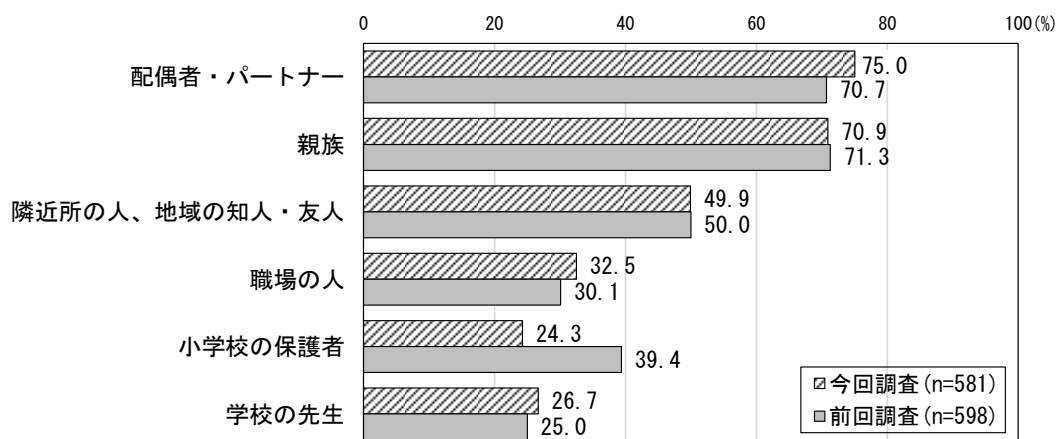
〔日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無〕



〔子育てする上での気軽な相談先の有無〕

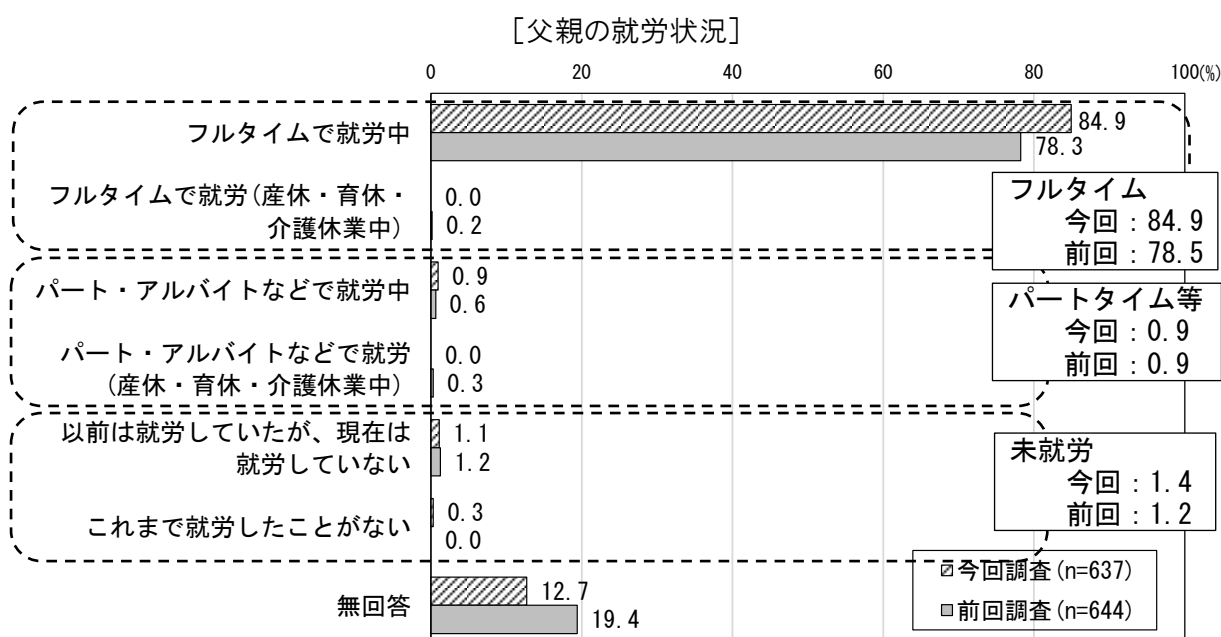
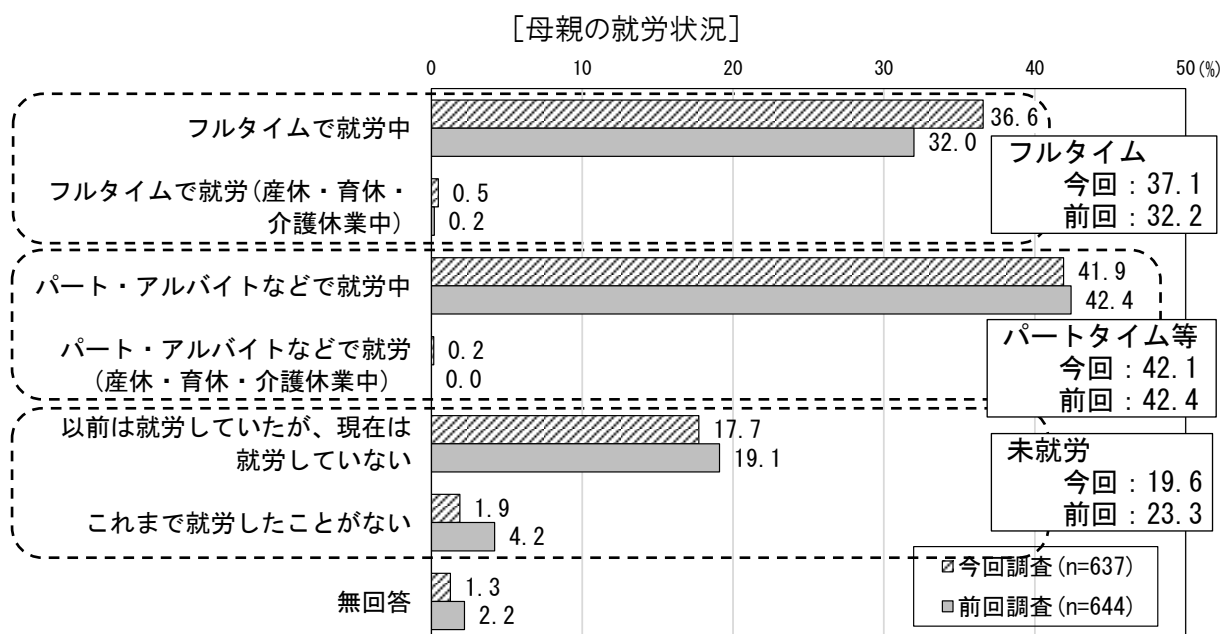


〔相談できる人や場所(上位)〕



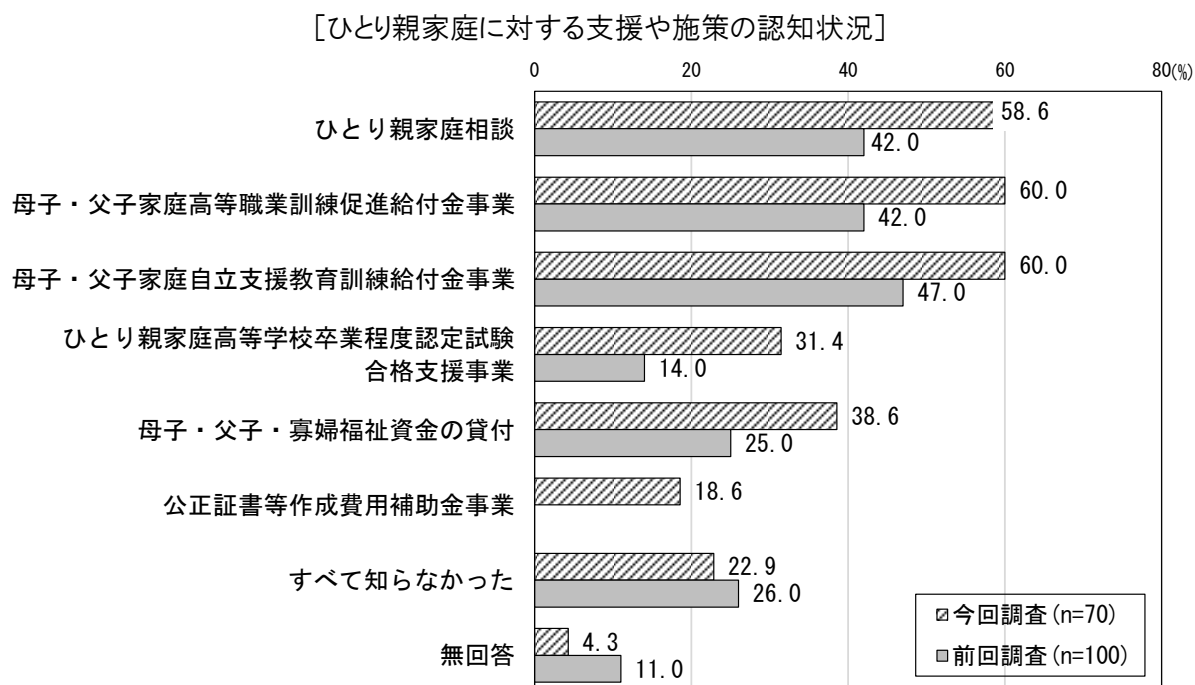
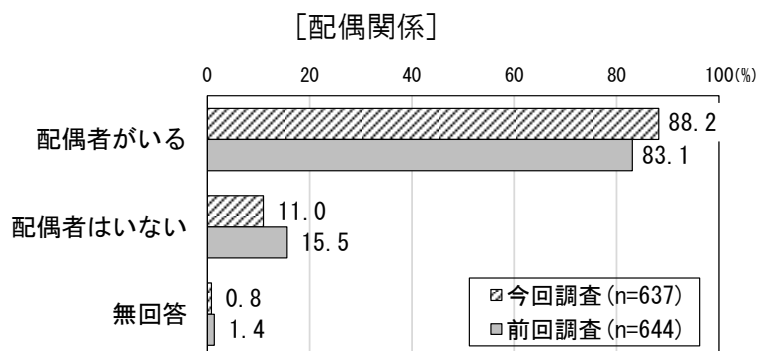
(3) 保護者の就労状況

- 母親の就労状況では、『フルタイム』（産休・育休・介護休業中を含む）が4.9ポイント増加し、『パートタイム等』（産休・育休・介護休業中を含む）が大差なく、就労率は今回調査が79.2%、前回調査が74.6%で、4.6ポイント増加しています。就労率は、就学前児童に比べ10.8ポイント増加しています。
- 父親の就労状況では、『フルタイム』が6.4ポイント増加し、『パートタイム等』が同率で、就労率は今回調査が85.8%、前回調査が79.4%で、6.4ポイント増加しています。今回は無回答（ひとり親家庭を含む）が6.7ポイント減少したことも影響があると思われます。また、前回調査では「フルタイムで就労（産休・育休・介護休業中）」や「パート・アルバイトなどで就労（産休・育休・介護休業中）」がそれぞれ0.2%、0.3%でしたが、今回調査では該当無しとなっています。

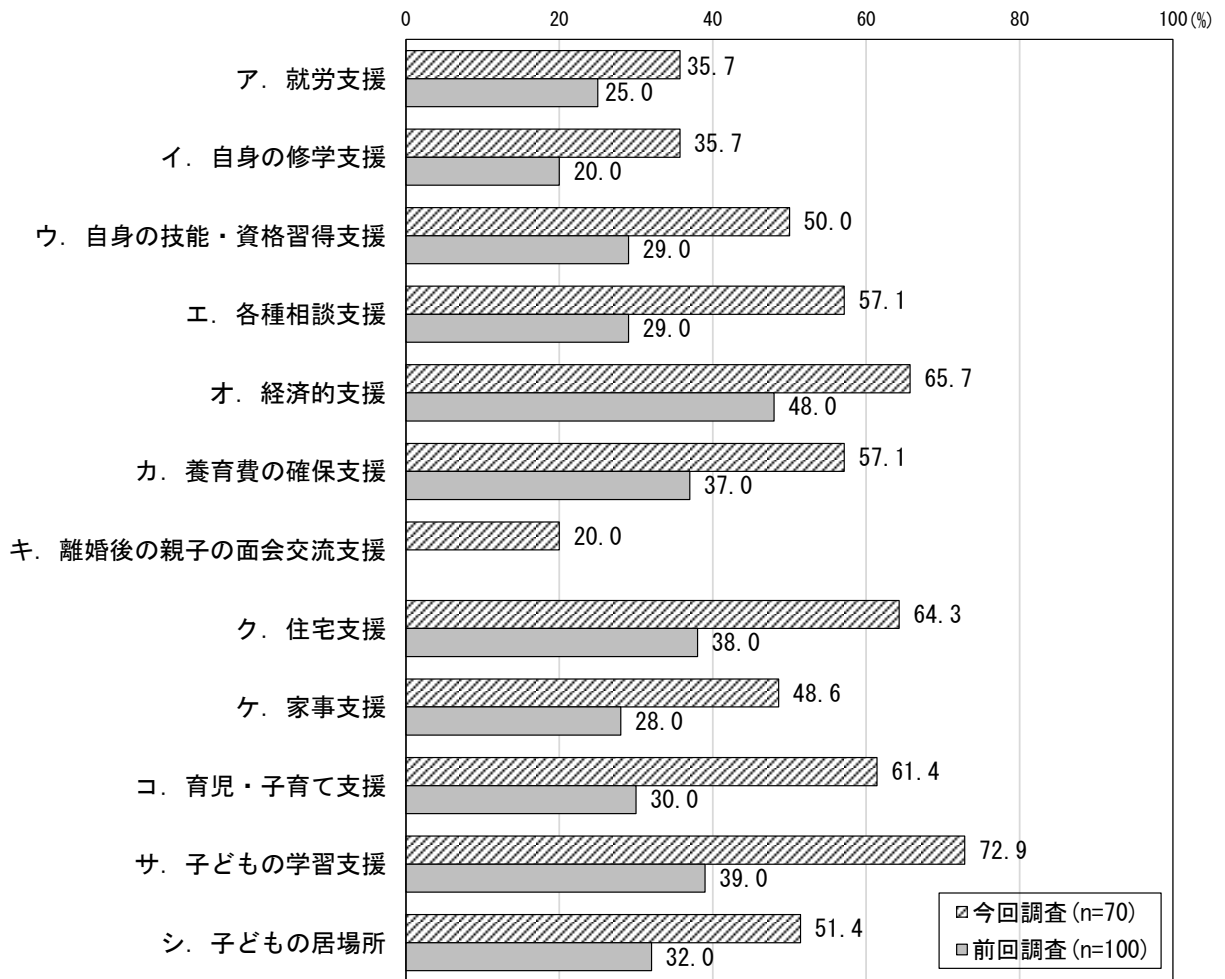


(4) ひとり親家庭への支援や施策

- 配偶関係では、「配偶者はいない」（ひとり親家庭）が11.0%で、前回調査に比べ4.5ポイント減少しています。
- ひとり親家庭に対する支援や施策の認知状況では、「すべて知らなかった」及び無回答を除くと、認知率は72.8%で、前回調査の63.0%に比べ9.8ポイント増加しています。すべての項目で認知率が増加していますが、特に「ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業」が17.4ポイントと増加幅が大きくなっています。また、今回新たに加えた「公正証書等作成費用補助金事業」については18.6%の認知率となっています。
- ひとり親家庭に対する支援や施策についての利用意向では、「利用したい」は今回新たに加えた【キ. 離婚後の親子の面会交流支援】以外のすべての支援や施策で、前回調査に比べ10ポイント以上と大きく増加しています。特に【サ. 子どもの学習支援】（33.9ポイント）や【コ. 育児・子育て支援】（31.4ポイント）の増加幅が大きくなっています。



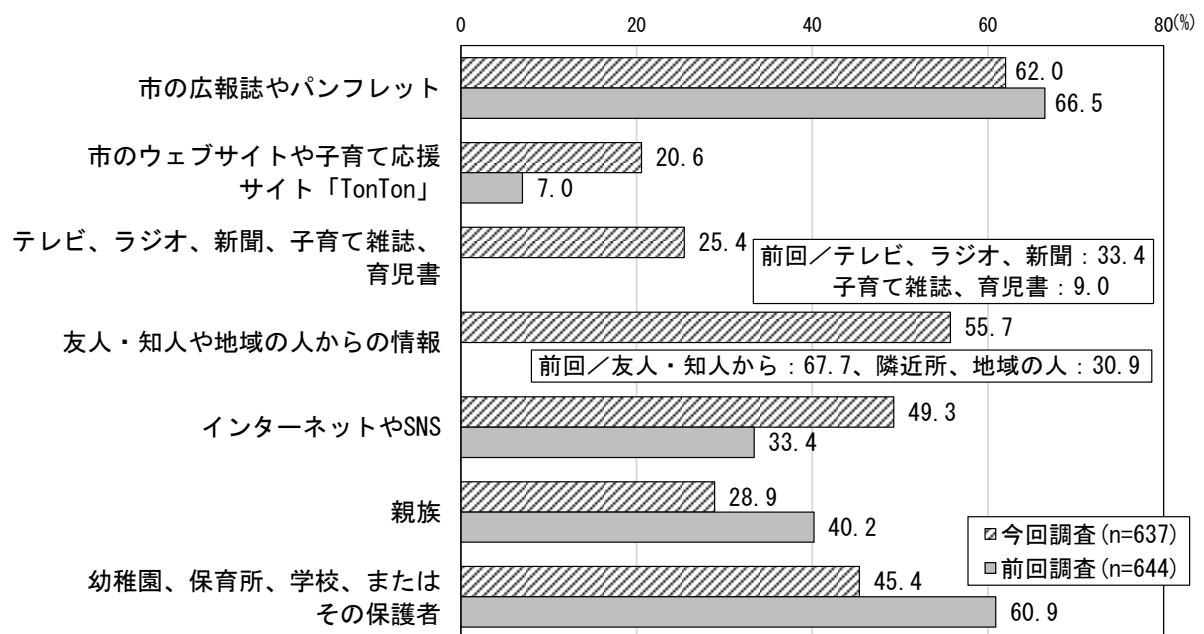
[ひとり親家庭に対する支援や施策の利用意向(利用したい率)]



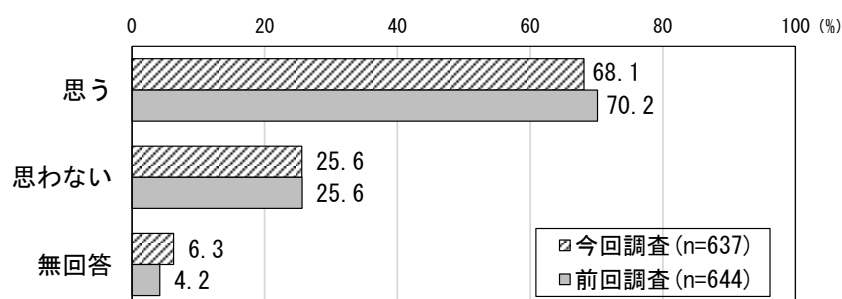
(5) 子育てに関する情報の入手先や富田林市の子育てのしやすさ

- 子育てに関する情報の入手先では、「情報の入手先がない、または情報の入手先や手段がわからない」及び無回答を除くと、93.2%が情報の入手先をあげていますが、前回調査の95.8%に比べ2.6ポイント減少しています。今回調査では入手先の項目の表現がいくつか変更しているため、単純に比較できませんが、同一表現の項目でみると、「市のウェブサイトや子育て応援サイト「TonTon」」や「インターネットやSNS」が大きく増加し、「親族」や「幼稚園、保育所、学校、またはその保護者」が大きく減少しています。
- 富田林市は子育てしやすいまちだと思うかでは、「思う」が68.1%で、前回調査と大差なく、「思わない」も25.6%で、前回調査と同率となっています。

[主な子育てに関する情報の入手先(上位)]



[富田林市は子育てしやすいまちだと思うか]



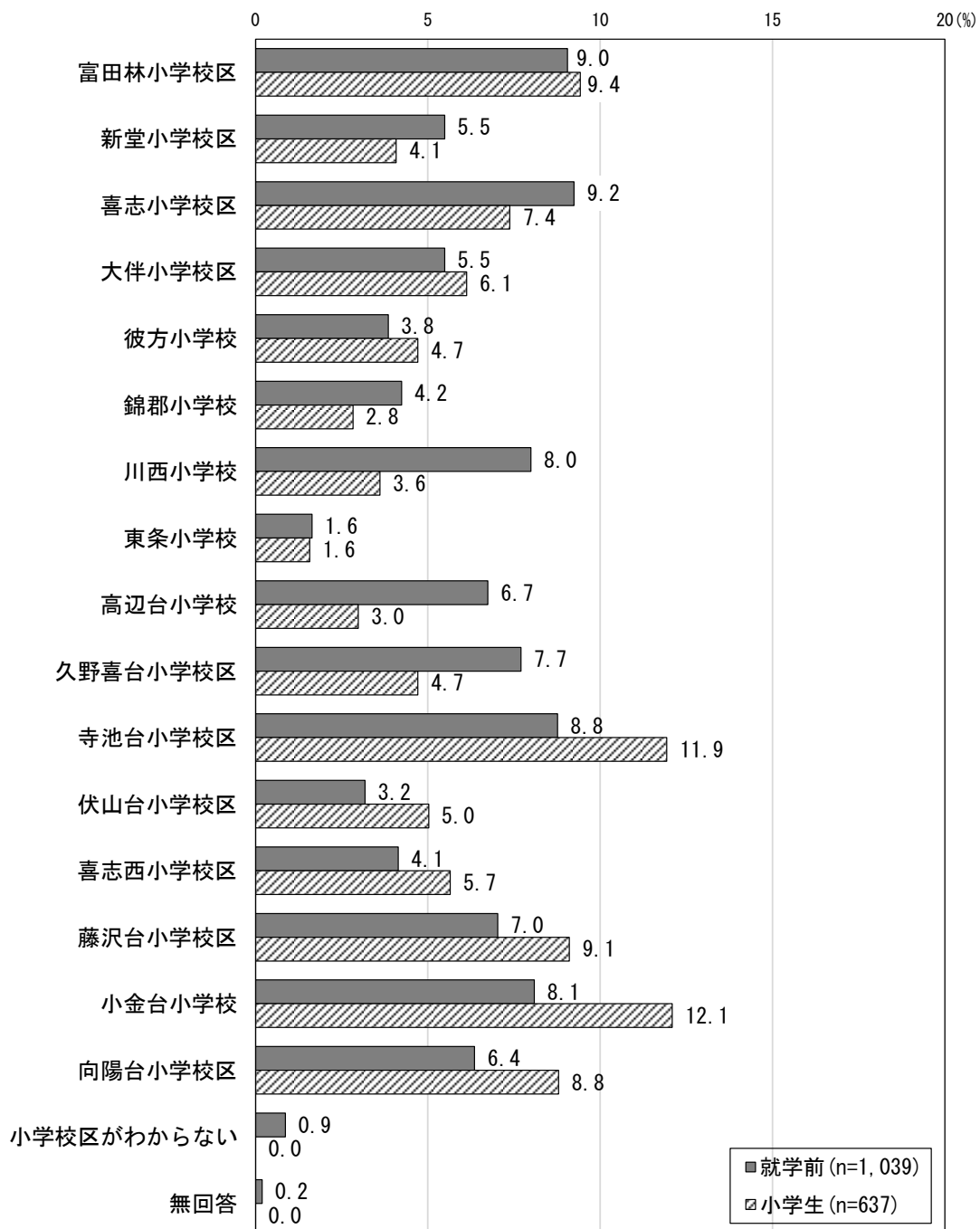
第3章 調査結果

1. 子どもと家族の状況

①居住地域

【就学前・小学生：問1】

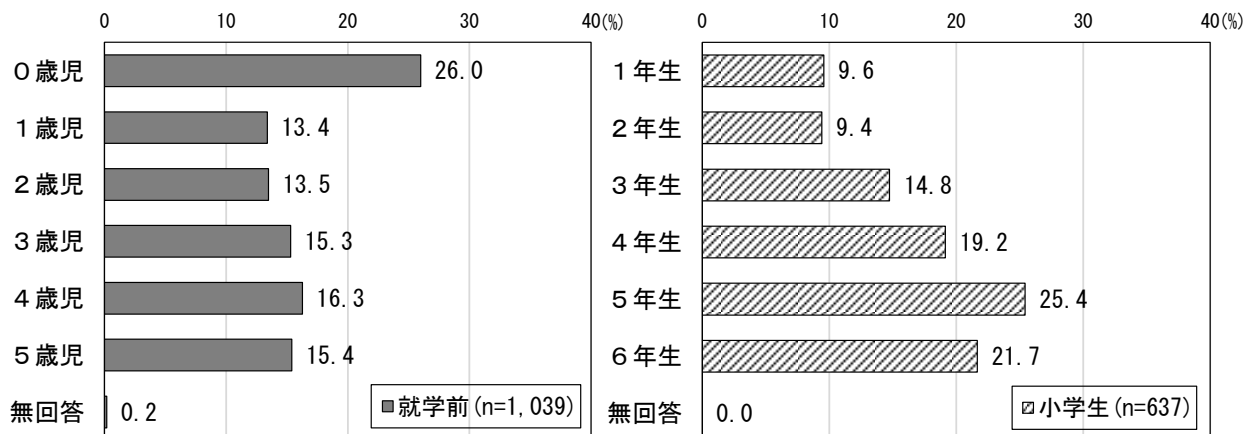
- 就学前は、「喜志小学校区」(9.2%)や「富田林小学校区」(9.0%)、「寺池台小学校区」(8.8%)が高く、小学生は、「小金台小学校区」(12.1%)や「寺池台小学校区」(11.9%)が高くなっています。また、両児童ともに「東条小学校区」(ともに1.6%)が最も低くなっています。



②子どもの年齢・学年

【就学前・小学生：問2】

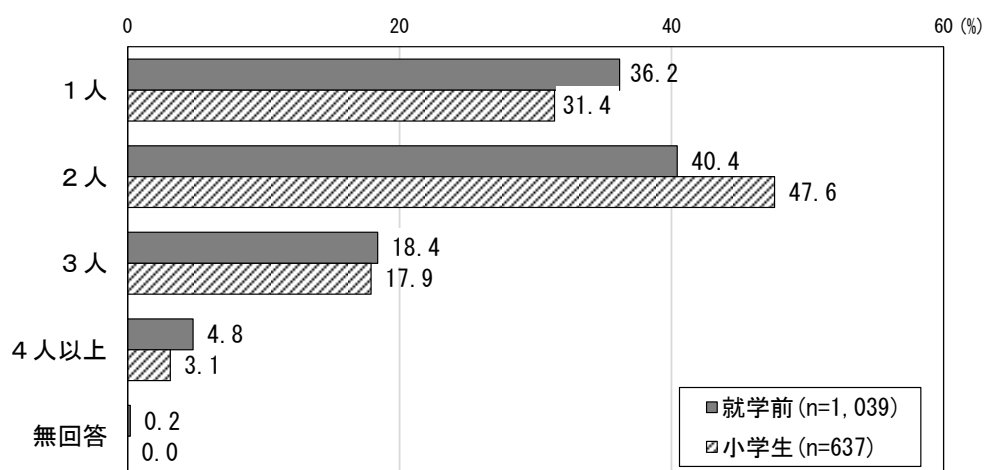
- 就学前は、「0歳児」（生年月日が令和5年4月2日以降及び令和4年4月2日～令和5年4月1日）が26.0%で最も高く、これ以外は大差ありません。また、『1～2歳児』が26.9%、『3～5歳児』が47.0%となっています。
- 小学生は、「5年生」が25.4%で最も高く、「1年生」（9.6%）及び「2年生」（9.4%）が低くなっています。また、『1～2年生』が19.0%、『3～4年生』が34.0%、『5～6年生』が47.1%となっています。



③子どもの人数

【就学前・小学生：問3】

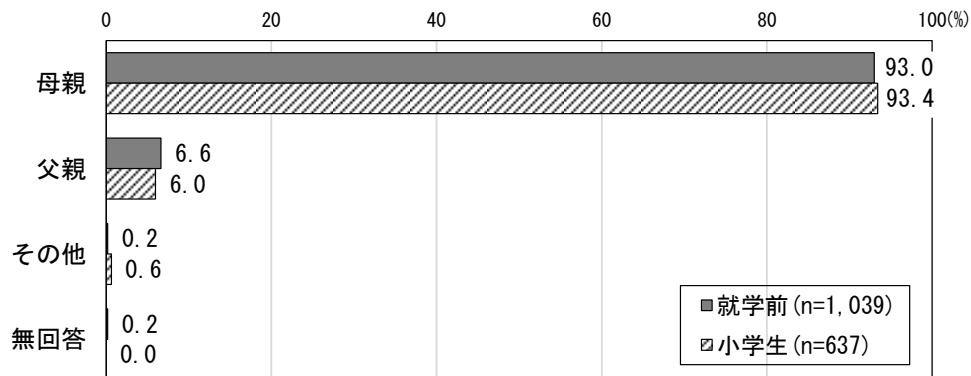
- 就学前及び小学生ともに「2人」が最も高く、就学前は40.4%、小学生は47.6%となっています。また、「4人以上」が就学前は4.8%、小学生は3.1%で、就学前が1.7ポイント高くなっています。平均は、就学前が1.95人、小学生が1.94人で、大差ありません。



④調査の回答者

【就学前・小学生：問4】

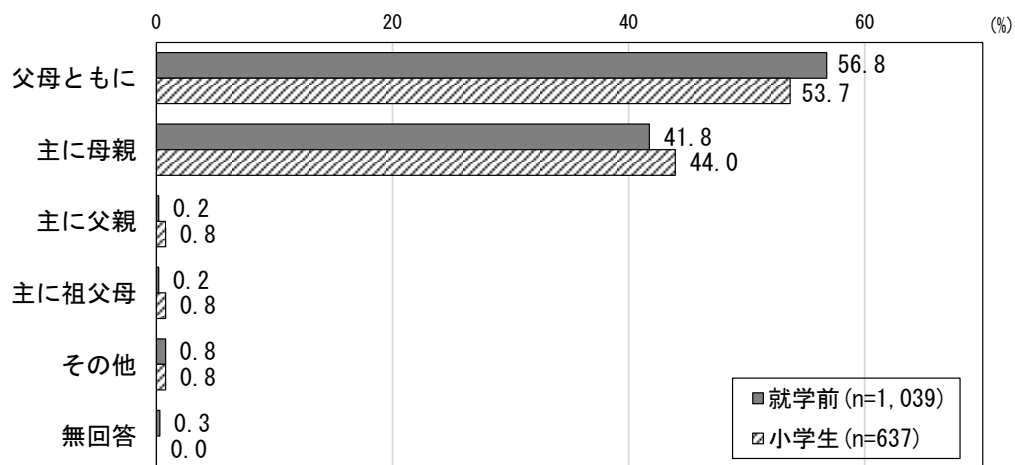
- 就学前及び小学生ともに「母親」が最も高く、就学前は93.0%。小学生は93.4%で、同程度となっています。



⑤主な子育て者

【就学前・小学生：問5】

- 就学前及び小学生ともに「父母ともに」が最も高く、就学前は56.8%。小学生は53.7%で、就学前が3.1ポイント高くなっています。

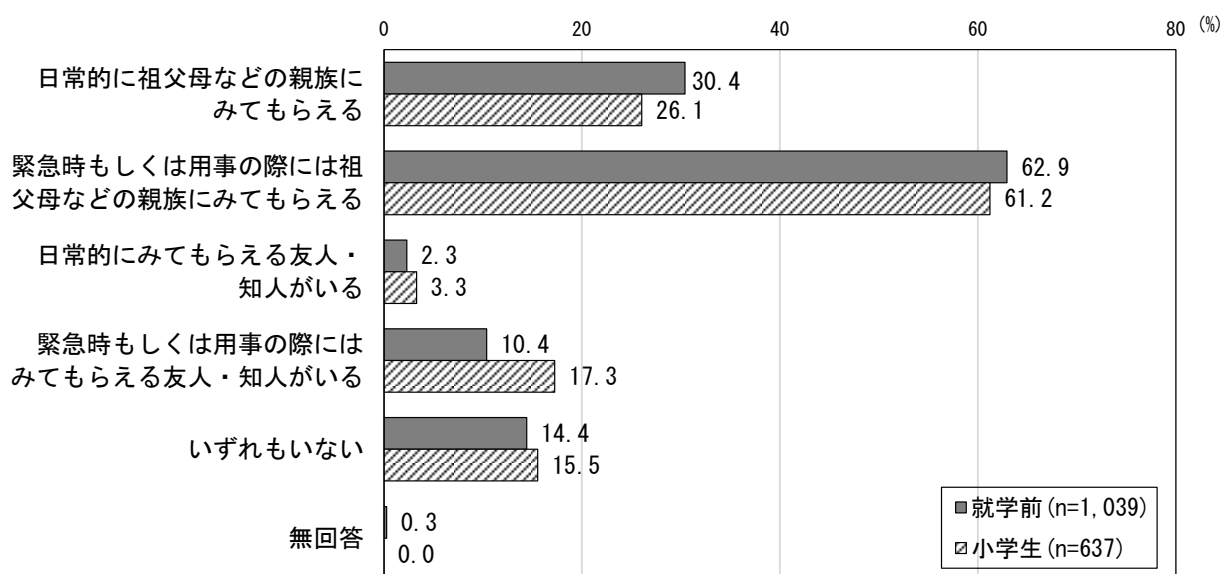


2. 子どもの育ちをめぐる環境

①日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無

【就学前・小学生：問6／MA】

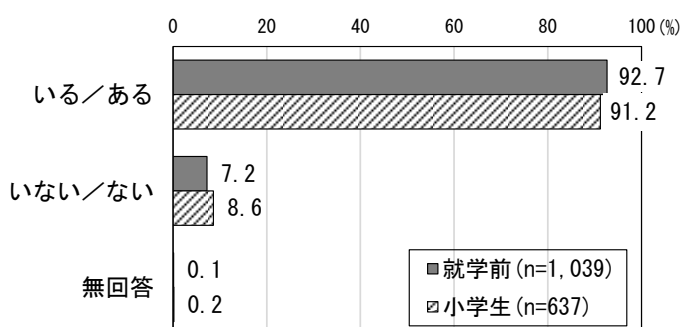
- 就学前及び小学生ともに「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる」が最も高く、就学前は62.9%、小学生は61.2%で、大差ありません。また、「いずれもない」が就学前は14.4%、小学生は15.5%となっています。



②子育てする上で、気軽に相談できる人や場所の有無

【就学前・小学生：問7】

- 就学前及び小学生ともに「いる／ある」が高く、就学前は92.7%。小学生は91.2%で、大差ありません。一方、「いない／ない」が就学前は7.2%、小学生は8.6%となっています。
- 「いない／ない」は、就学前では“3～5歳児”が若干高く、小学生では“5～6年生”が高くなっています。



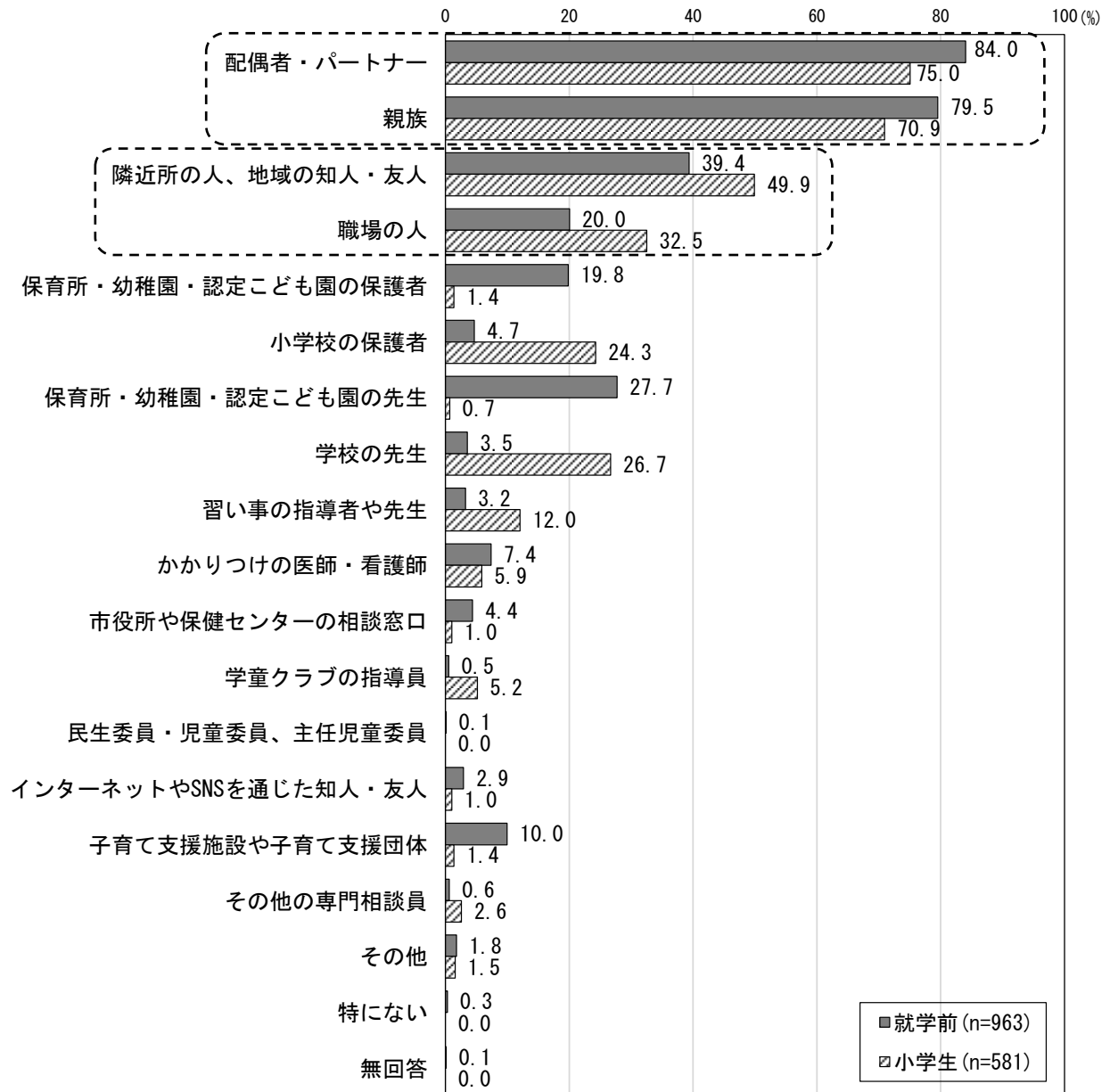
			問7 子育てをする上で、 気軽に相談できる人や場所 の有無		
		合計	いる／あ る	いない／ ない	無回答
全体		1039 100.0	963 92.7	75 7.2	1 0.1
問3 区分 年齢	0歳児	270 100.0	252 93.3	18 6.7	0 0.0
	1～2歳児	279 100.0	260 93.2	19 6.8	0 0.0
	3～5歳児	488 100.0	450 92.2	38 7.8	0 0.0

			問7 子育てする上で、気軽に相談できる人や場所の有無			
		合計	いる／ある	いない／ない	無回答	
全体		637 100.0	581 91.2	55 8.6	1 0.2	
3 問 区 2 分 学 ・ 年	1 ～ 2 年生	121 100.0	114 94.2	6 5.0	1 0.8	
		3 ～ 4 年生	216 100.0	199 92.1	17 7.9	0 0.0
	5 ～ 6 年生	300 100.0	268 89.3	32 10.7	0 0.0	

③気軽に相談できる人や場所(「いる／ある」の回答者)

【就学前・小学生:問8/MA】

- 就学前及び小学生ともに「配偶者・パートナー」が最も高く、次いで「親族」となっていて、両項目ともに就学前が高くなっています。一方、「隣近所の人、地域の知人・友人」や「職場の人」は小学生が高くなっています。

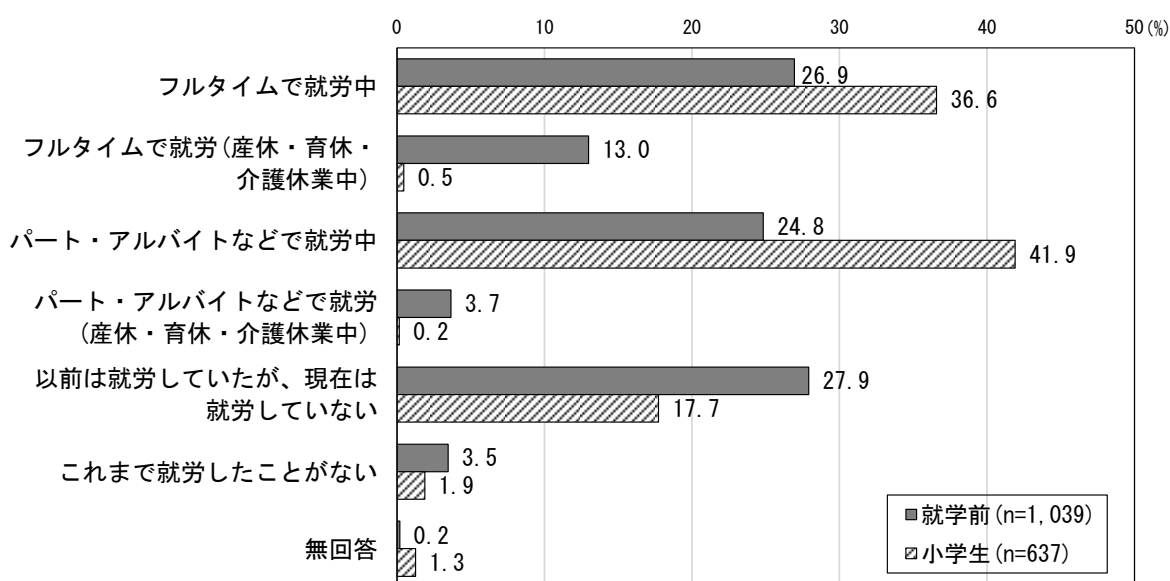


3. 保護者の就労状況

①母親の就労状況

【就学前・小学生：問9】

- 就学前は、『フルタイム』が39.9%で最も高く、小学生は、『パート・アルバイトなど』が42.1%で最も高くなっています。『フルタイム』と『パート・アルバイトなど』を合わせた就労率が、就学前は68.4%、小学生は79.2%で、小学生が10.8ポイント高くなっています。
- 就学前の年齢3区分別では、“0歳児”及び“1～2歳児”は『フルタイム』が、“3～5歳児”は『パート・アルバイトなど』が、それぞれ最も高くなっています。就労率は“1～2歳児”が若干低いものの大差ありません。
- 小学生の学年3区分別では、“1～2年生”は『フルタイム』が、“3～4年生”及び“5～6年生”は『パート・アルバイトなど』が、それぞれ最も高くなっています。就労率は“1～2年生”が若干低くなっています。



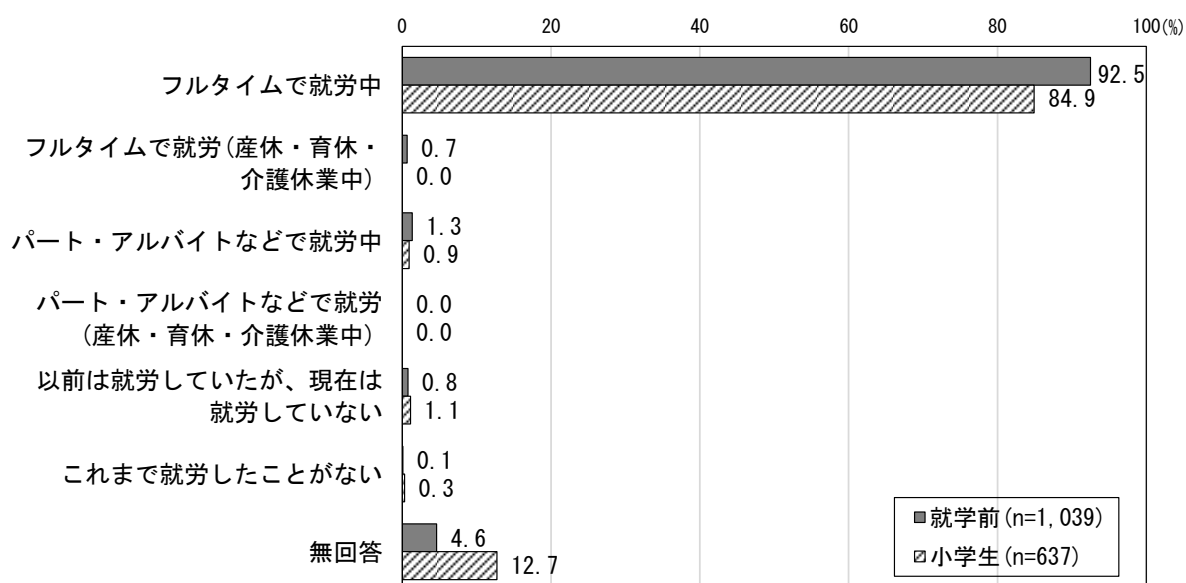
		合計	問9 母親の就労状況（統合）				就労率
			フルタイム	パート・アルバイトなど	未就労	無回答	
全体		1039	415	296	326	2	68.4
		100.0	39.9	28.5	31.4	0.2	
問32 年齢区分	0歳児	270	128	58	84	0	68.9
		100.0	47.4	21.5	31.1	0.0	
	1～2歳児	279	120	66	93	0	66.7
		100.0	43.0	23.7	33.3	0.0	
	3～5歳児	488	166	172	149	1	69.3
		100.0	34.0	35.2	30.5	0.2	

		合計	問9 母親の就労状況（統合）				就労率
			フルタイム	パート・アルバイトなど	未就労	無回答	
全体		637	236	268	125	8	79.2
		100.0	37.1	42.1	19.6	1.3	
問32 学年区分	1～2年生	121	50	43	28	0	76.9
		100.0	41.3	35.5	23.1	0.0	
	3～4年生	216	84	89	40	3	80.1
		100.0	38.9	41.2	18.5	1.4	
	5～6年生	300	102	136	57	5	79.3
		100.0	34.0	45.3	19.0	1.7	

②父親の就労状況

【就学前・小学生：問10】

- 就学前及び小学生ともに、『フルタイム』が最も高く、就学前は93.2%、小学生は84.9%となっています。就労状況の各率は、ひとり親家庭を含む全回答数に対する割合のため、小学生はひとり親家庭率（11.0%）が就学前（4.7%）に比べて高くなっている（項11①参照）ことも影響しています。また、就労率が、就学前は94.5%、小学生は85.8%となっています。
- 就学前の年齢3区分別では、各年齢区分で『フルタイム』が最も高くなっています。
- 小学生の学年3区分別でも、各学年区分で『フルタイム』が最も高くなっています。就労率は“1～2年生”が76.0%で最も低くなっていますが、ひとり親家庭率が19.0%と高いことも影響していると思われます。

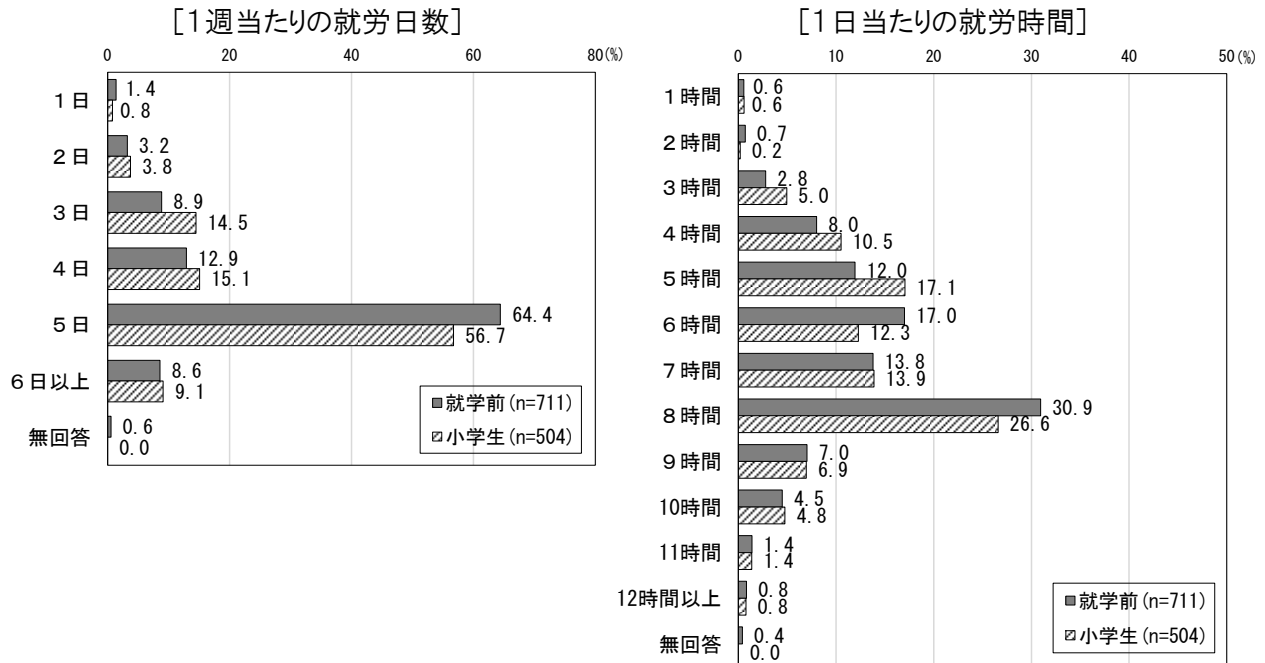


		合計	問10 父親の就労状況（統合）				就労率
			フルタイム	パート・アルバイトなど	未就労	無回答	
全体		1039	968	14	9	48	94.5
		100.0	93.2	1.3	0.9	4.6	
問3区分年齢	0歳児	270	256	6	0	8	97.0
		100.0	94.8	2.2	0.0	3.0	
	1～2歳児	279	262	5	4	8	
		100.0	93.9	1.8	1.4	2.9	
3～5歳児		488	450	3	5	30	92.8
		100.0	92.2	0.6	1.0	6.1	

		合計	問10 父親の就労状況（統合）				就労率
			フルタイム	パート・アルバイトなど	未就労	無回答	
全体		637	541	6	9	81	85.8
		100.0	84.9	0.9	1.4	12.7	
問3区分学年	1～2年生	121	92	0	0	29	76.0
		100.0	76.0	0.0	0.0	24.0	
	3～4年生	216	189	1	3	23	
		100.0	87.5	0.5	1.4	10.6	
5～6年生		300	260	5	6	29	88.3
		100.0	86.7	1.7	2.0	9.7	

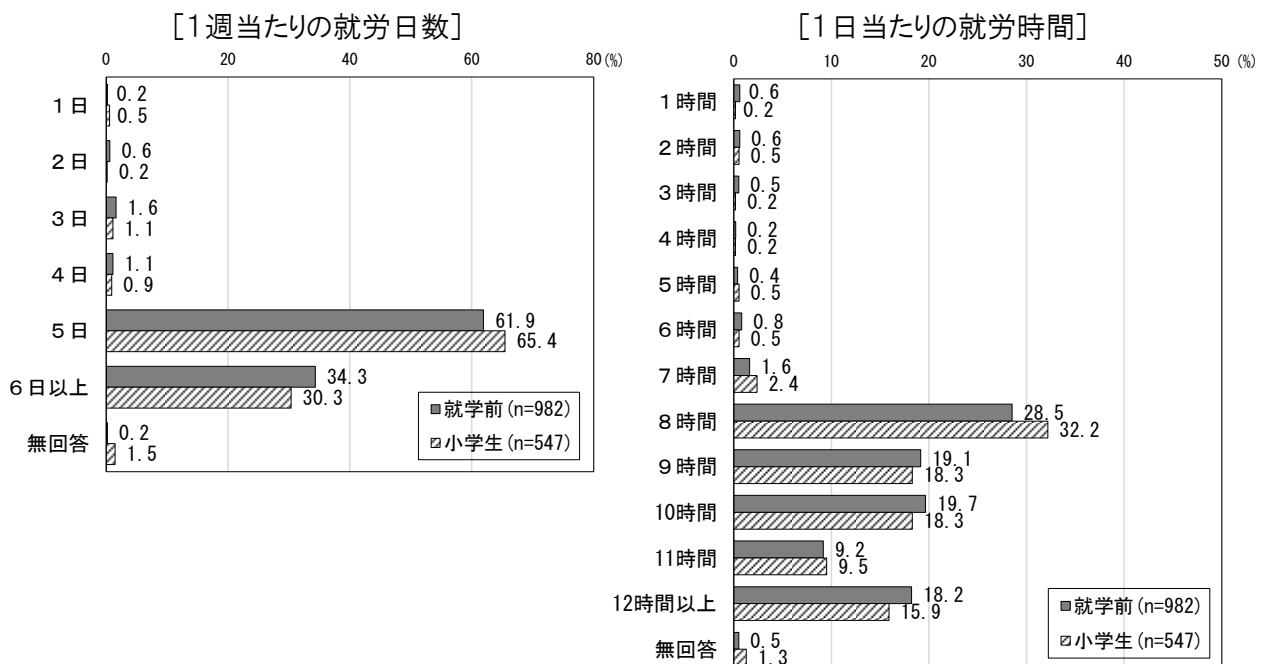
③母親の1週間当たりの就労日数、1日当たりの就労時間(就労者)【就学前・小学生:問9-1】

- 就学前及び小学生ともに、週「5日」、1日「8時間」が最も高くなっています。また、最大は就学前及び小学生ともに週「7日」(グラフ上は「6日以上」の区分)、1日「12時間」(グラフ上は「12時間以上」の区分)となっています。



④父親の1週間当たりの就労日数、1日当たりの就労時間(就労者)【就学前・小学生:問10-1】

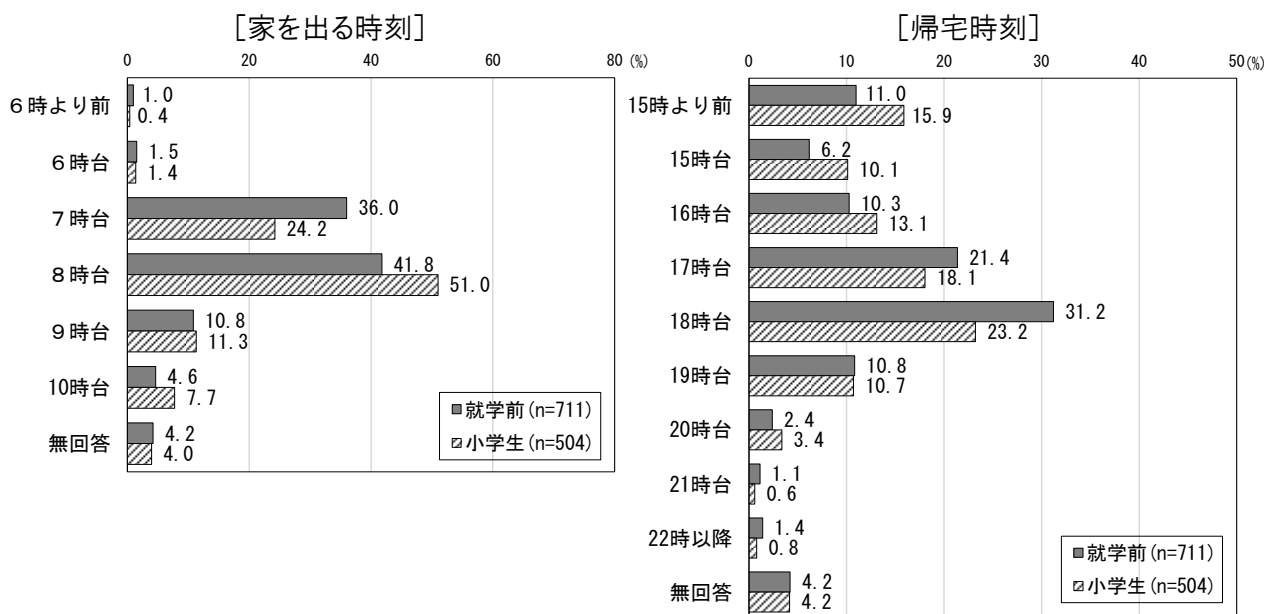
- 母親と同様に、就学前及び小学生ともに、週「5日」、1日「8時間」が最も高くなっています。また、最大は就学前及び小学生ともに週「7日」(グラフ上は「6日以上」の区分)、1日「12時間」(グラフ上は「12時間以上」の区分)となっています。



⑤母親の家を出る時刻、帰宅時刻(就労者)

【就学前・小学生:問9-1】

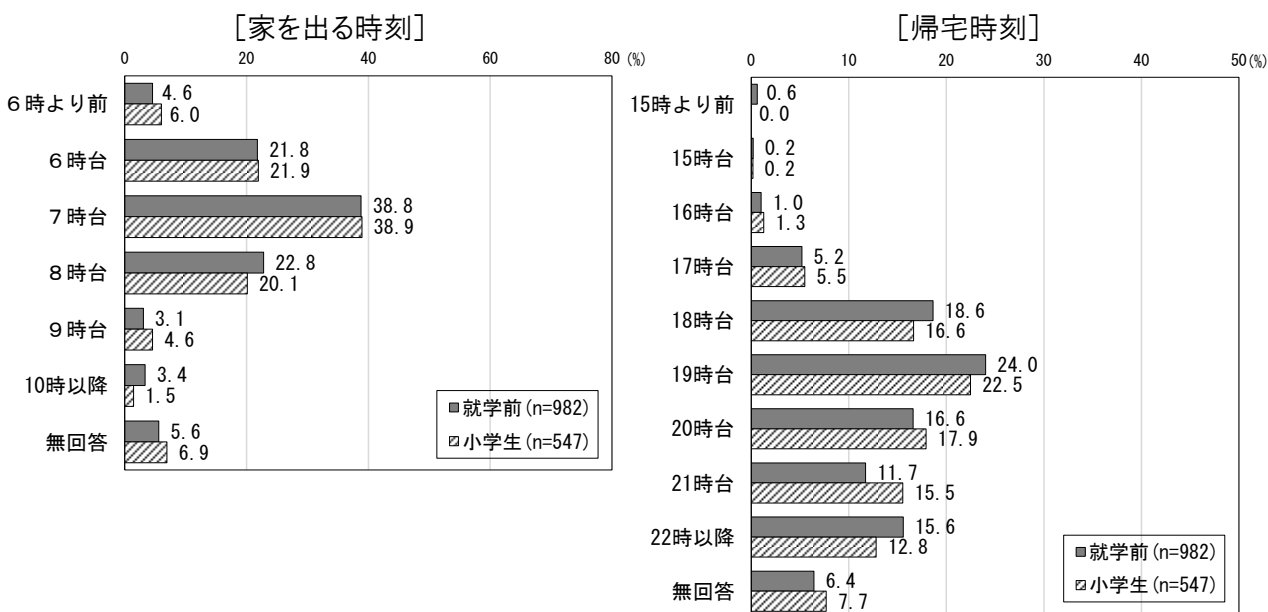
- 就学前及び小学生ともに、家を出る時刻は「8時台」が、帰宅時刻は「18時台」が最も高くなっています。また、グラフでは範囲をまとめて表記していますが、家を出る時刻で最も遅いのが就学前は「22時30分」、小学生は「21時30分」、帰宅時刻では就学前は「翌日の7時30分」、小学生は「翌日の5時30分」でした。



⑥父親の家を出る時刻、帰宅時刻(就労者)

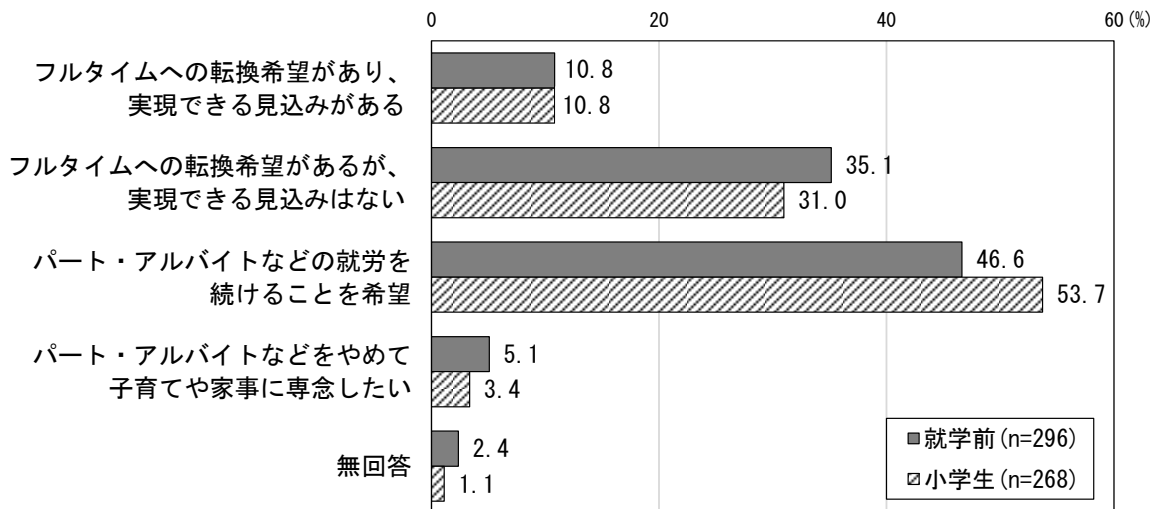
【就学前・小学生:問10-1】

- 就学前及び小学生ともに、家を出る時刻は母親より1時間早い「7時台」が、帰宅時刻は1時間遅い「19時台」が最も高くなっています。また、グラフでは範囲をまとめて表記していますが、家を出る時刻で最も遅いのが就学前は「23時」、小学生は「21時」、帰宅時刻では就学前は「翌日の11時30分」、小学生は「翌日の14時」でした。



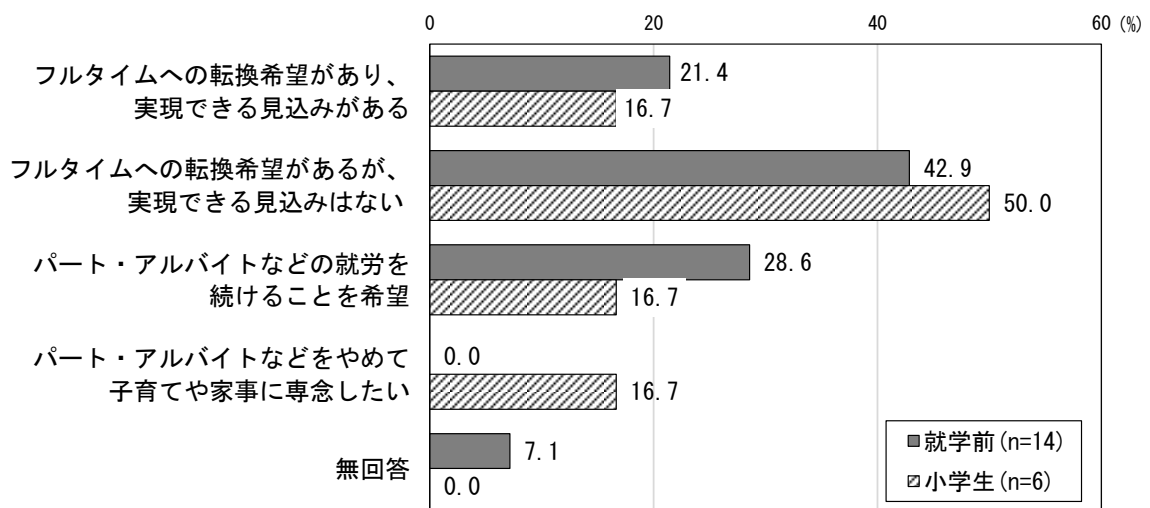
⑦母親のパート・アルバイトなど就労者のフルタイムへの転換希望 【就学前・小学生:問11(1)】

- 就学前及び小学生ともに、「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望」が最も高く、就学前は46.6%、小学生は53.7%となっています。また、『フルタイムへの転換希望がある』が合わせて就学前は45.9%、小学生は41.8%で、そのうち「実現できる見込みがある」が就学前、小学生ともに10.8%となっています。



⑧父親のパート・アルバイトなど就労者のフルタイムへの転換希望 【就学前・小学生:問11(2)】

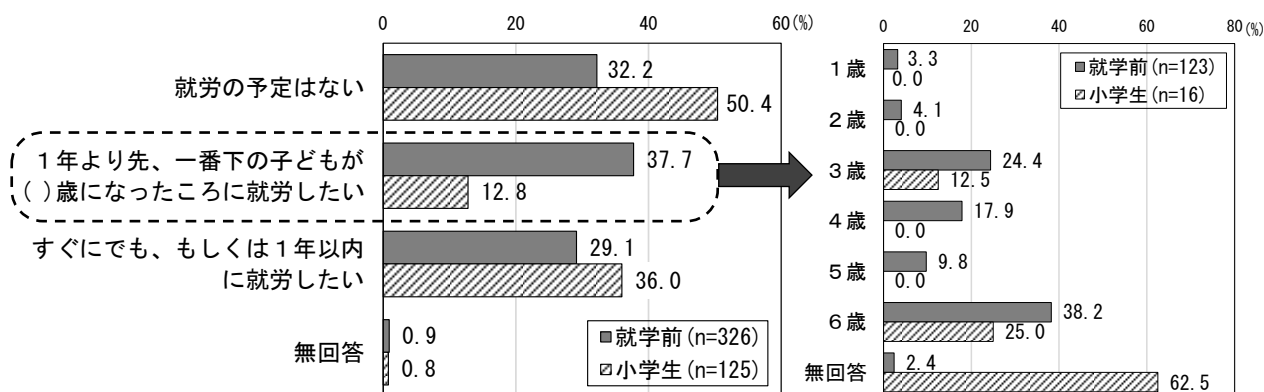
- 就学前及び小学生ともに該当者が少なく、一概には言えませんが、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みはない」が最も高く、『フルタイムへの転換希望がある』が合わせて就学前は64.3%、小学生は66.7%となっています。



⑨現在、未就労の母親の就労希望

【就学前・小学生：問12(1)】

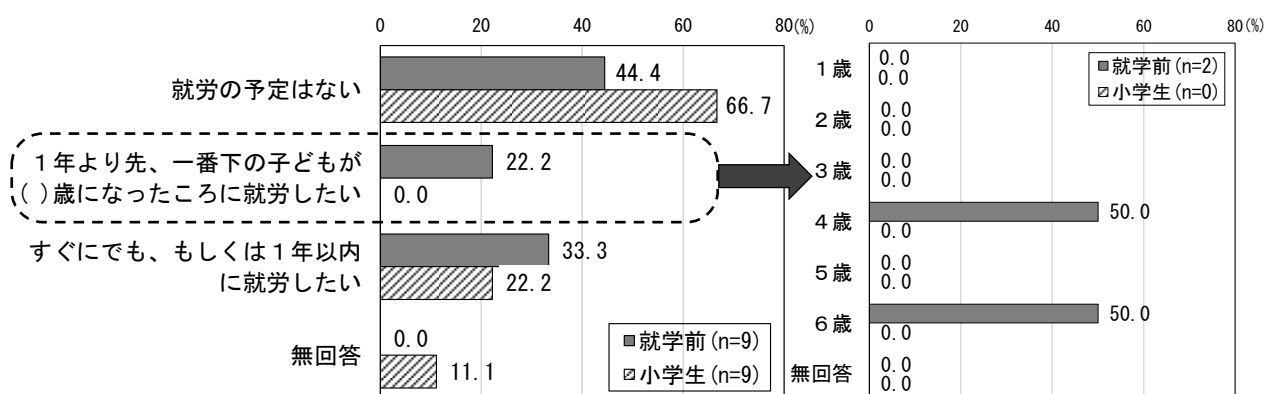
- 「1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい」と「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を合わせた『就労したい』が、就学前は66.8%、小学生は48.8%で、就学前が高くなっています。
- 一番下の子どもの年齢については、就学前及び小学生ともに「6歳」が最も高くなっています。



⑩現在、未就労の父親の就労希望

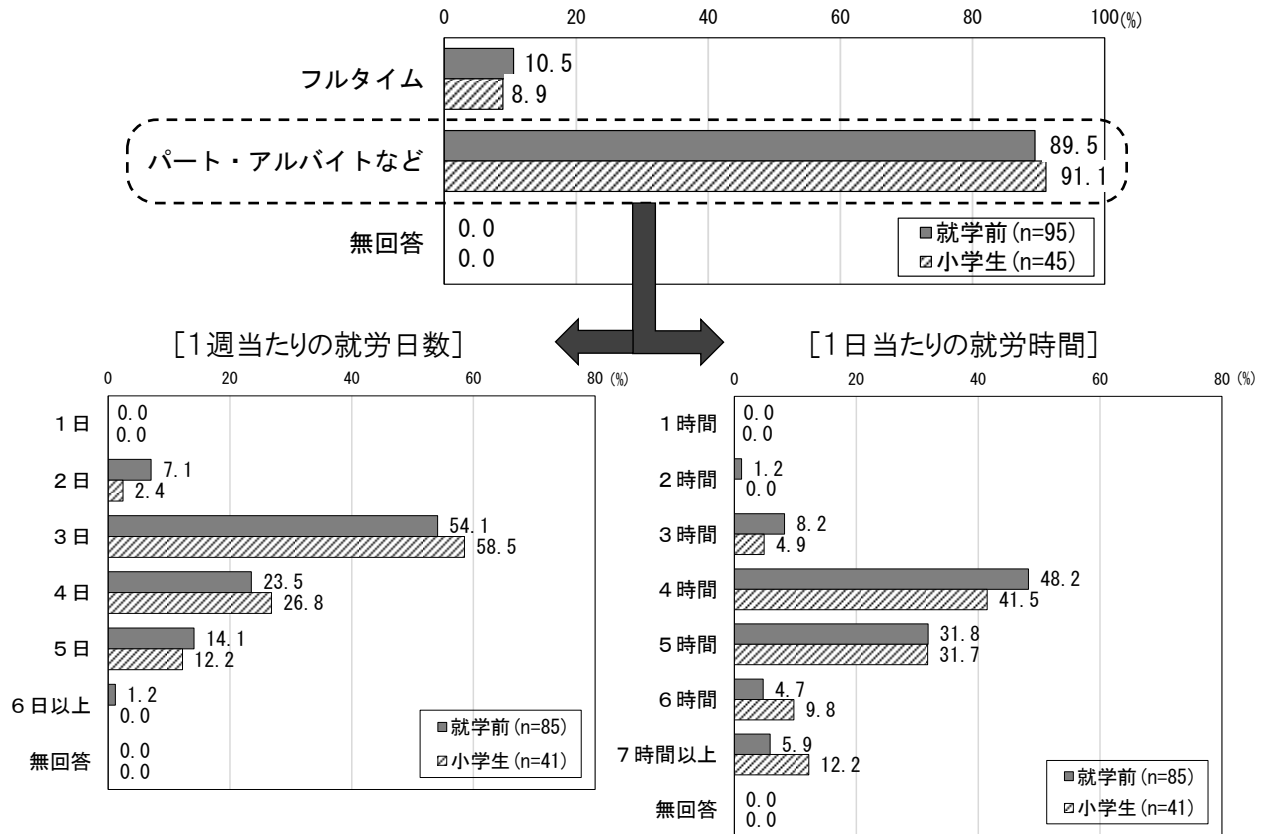
【就学前・小学生：問12(2)】

- 就学前及び小学生ともに該当者が少なく、一概には言えませんが、「1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい」と「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を合わせた『就労したい』が、就学前は55.5%、小学生は22.2%で、就学前が高くなっています。
- 一番下の子どもの年齢については、回答数が少ないため、グラフのみ参考掲載します。



⑪すぐにでも、もしくは1年以内就労希望の母親の希望就労形態 【就学前・小学生：問12(1)】

- 就学前及び小学生ともに「パート・アルバイトなど」がおよそ9割と高くなっています。
- 「パート・アルバイトなど」では、就学前及び小学生ともに週「3日」、1日「4時間」が最も高くなっています。



⑫すぐにでも、もしくは1年以内就労希望の父親の希望就労形態 【就学前・小学生：問12(2)】

- すぐにでも、もしくは1年以内就労希望の父親は、就学前が3人、小学生が2人と少なく、それぞれ「フルタイム」希望となっています。

《保護者の就労状況等に基づく家庭類型》

子ども・子育て支援事業計画では、就学前児童について子育て支援サービスや事業の「量の見込み」を算出するに当たり、「家庭類型」別のニーズに基づき推計を行います。

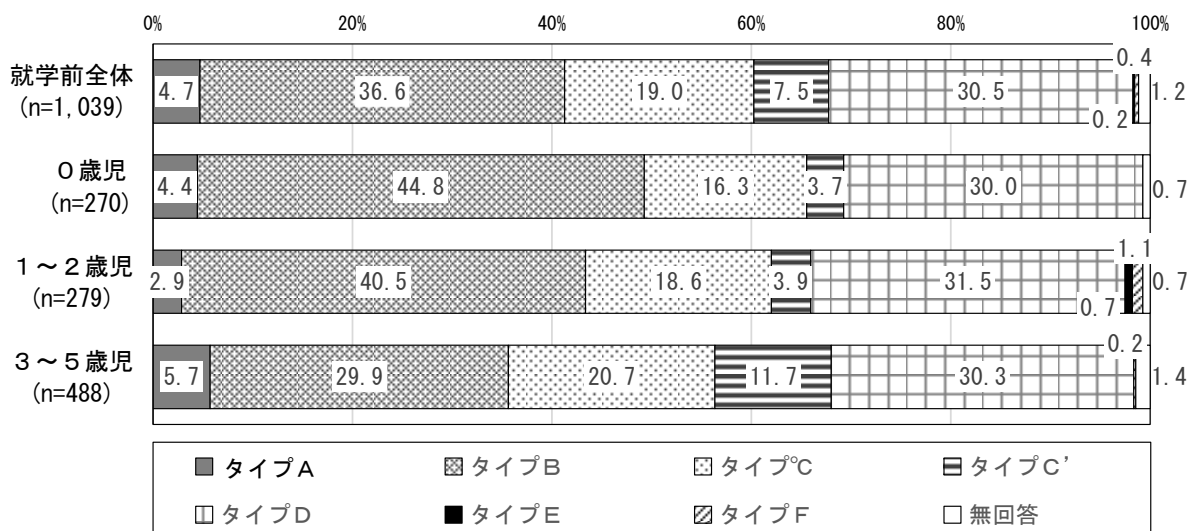
「家庭類型」は、アンケート調査結果から、子どもの父母の有無、就労状況を基に分類しています。なお、「産休・育休・介護休業中」であっても、フルタイムやパートタイムで就労中であると定義しています。

[家庭類型の定義]

タイプA	ひとり親家庭
タイプB	夫婦ともにフルタイムの家庭
タイプC	夫婦どちらかがフルタイム、またはパートタイム（月120時間以上＋64時間～120時間の一部）の家庭
タイプC'	夫婦どちらかがフルタイム、またはパートタイム（月に64時間未満＋64時間～120時間の一部）の家庭
タイプD	専業主婦（夫）の家庭
タイプE	夫婦ともパートタイム（双方月120時間以上＋64時間～120時間の一部）の家庭
タイプE'	夫婦ともパートタイム（どちらかが64時間未満＋64時間～120時間の一部）の家庭
タイプF	夫婦ともに未就労の家庭

- 就学前全体では、夫婦ともフルタイムの「タイプB」が36.6%で最も高く、次いで専業主婦（夫）の「タイプD」（30.5%）が続きます。今回の調査では、夫婦ともパートタイムの「タイプE'」は該当無しとなっています。
- 子どもの年齢3区分別では、「タイプB」が“0歳児”は44.8%で最も高く、“1～2歳児”は40.5%、“3～5歳児”は29.9%で、子どもの年齢が上がるにしたがい低下しています。

[子どもの年齢3区分別家庭類型]

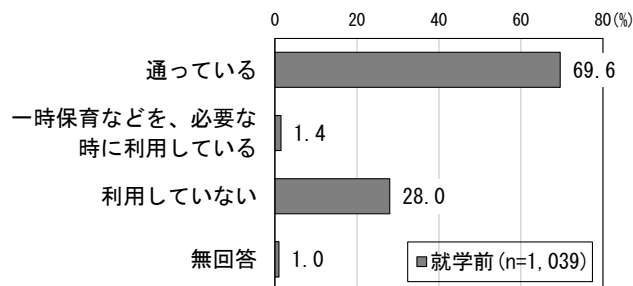


4. 平日の保育所、幼稚園、認定こども園などの利用状況

①平日の保育所、幼稚園、認定こども園などの利用の有無

【就学前：問13】

- 「通っている」が69.6%、「一時保育などを、必要な時に利用している」が1.4%で、合せて『利用している』が71.0%となっています。
- 子どもの年齢3区分別では、『利用している』が、“0歳児”は28.9%、“1～2歳児”は64.9%、“3～5歳児”は98.0%となっています。

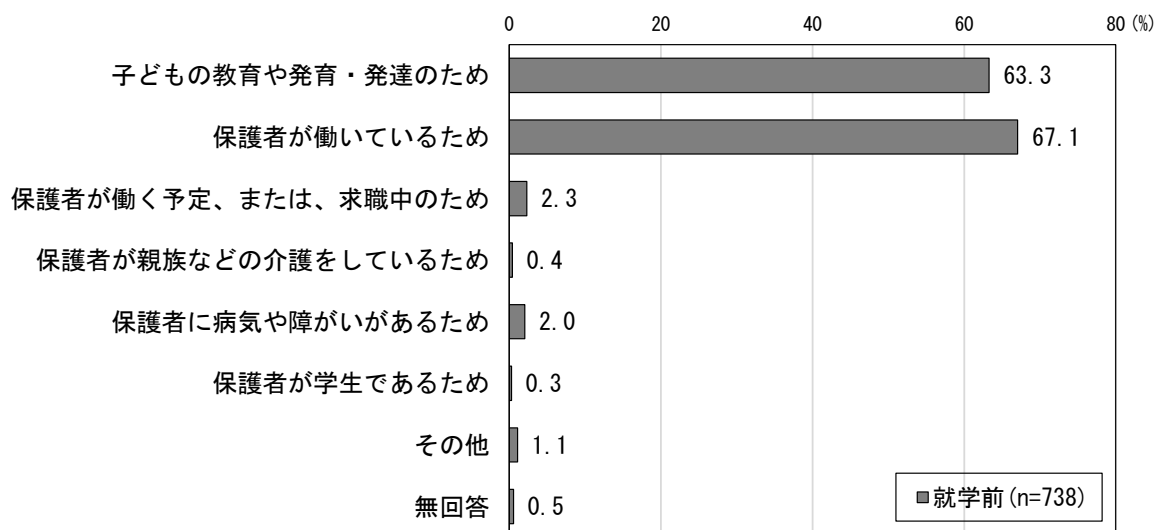


		合計	問13 平日に保育所、幼稚園、認定こども園などに通っているか				統合
			通っている	一時保育などを、必要な時に利用している	利用していない	無回答	利用している
全体		1039	723	15	291	10	
			100.0	69.6	1.4	28.0	1.0
問 3 区 分 年 齢	0歳児	270	70	8	190	2	
			100.0	25.9	3.0	70.4	0.7
	1～2歳児	279	175	6	96	2	
			100.0	62.7	2.2	34.4	0.7
3～5歳児		488	477	1	5	5	
			100.0	97.7	0.2	1.0	1.0

②平日に利用している理由(利用者)

【就学前：問13-1/MA】

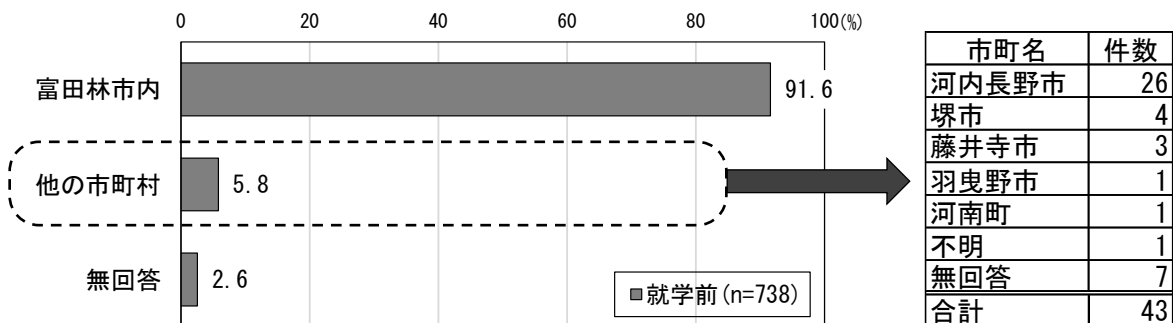
- 平日に『利用している』と回答した方の利用理由については、「保護者が働いているため」(67.1%)や「子どもの教育や発育・発達のため」(63.3%)が高く、これ以外は3%を割っています。



③利用している主な施設やサービスの場所(利用者)

【就学前:問13-2】

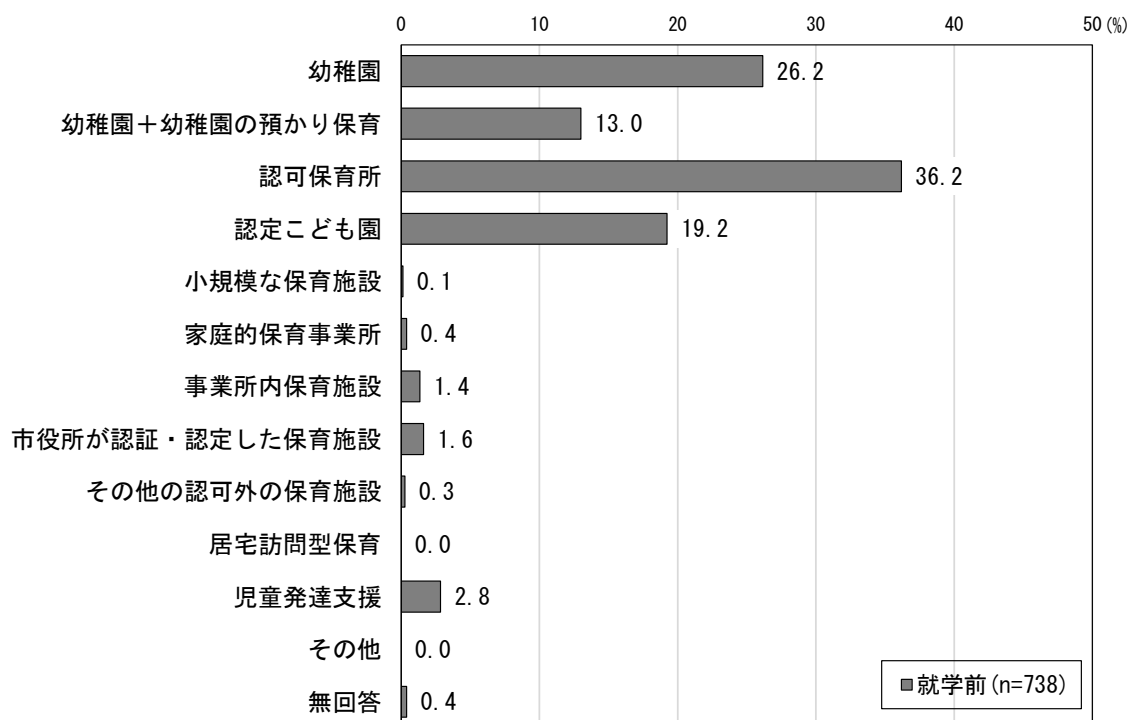
- 「富田林市内」が91.6%、「他の市町村」が5.8%となっています。「他の市町村」は、43件中「河内長野市」が26件で最も多くなっています。



④利用している主な施設やサービス(利用者)

【就学前:問13-3】

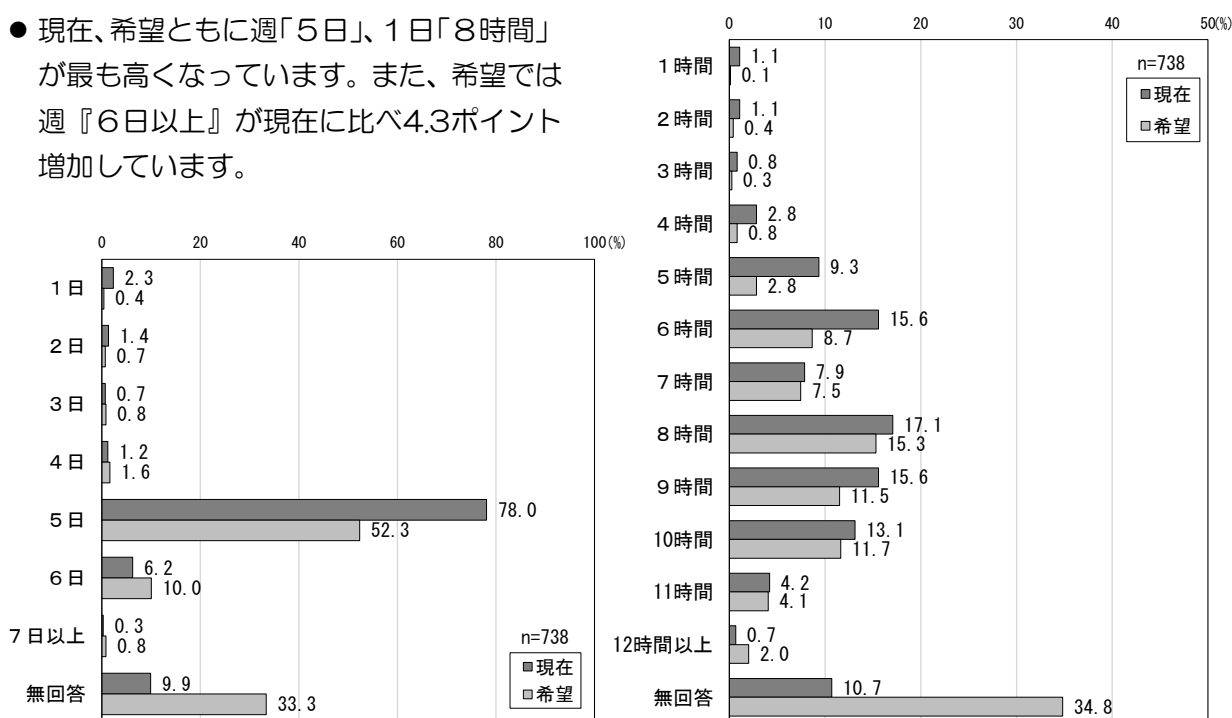
- 「幼稚園」と「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」を合わせた『幼稚園』が39.2%、「認可保育所」が36.2%、「認定こども園」が19.2%などとなっています。
- 年齢3区分別では、「0歳児」及び「1～2歳児」は「認可保育所」が、「3～5歳児」は『幼稚園』が、それぞれ最も高くなっています。



年齢3区分	回答者数	幼稚園 (統合)	認可保育 所	認定こど も園
0歳児	78	5.1	51.3	28.2
1～2歳児	181	12.7	45.3	33.1
3～5歳児	478	54.6	30.3	12.6

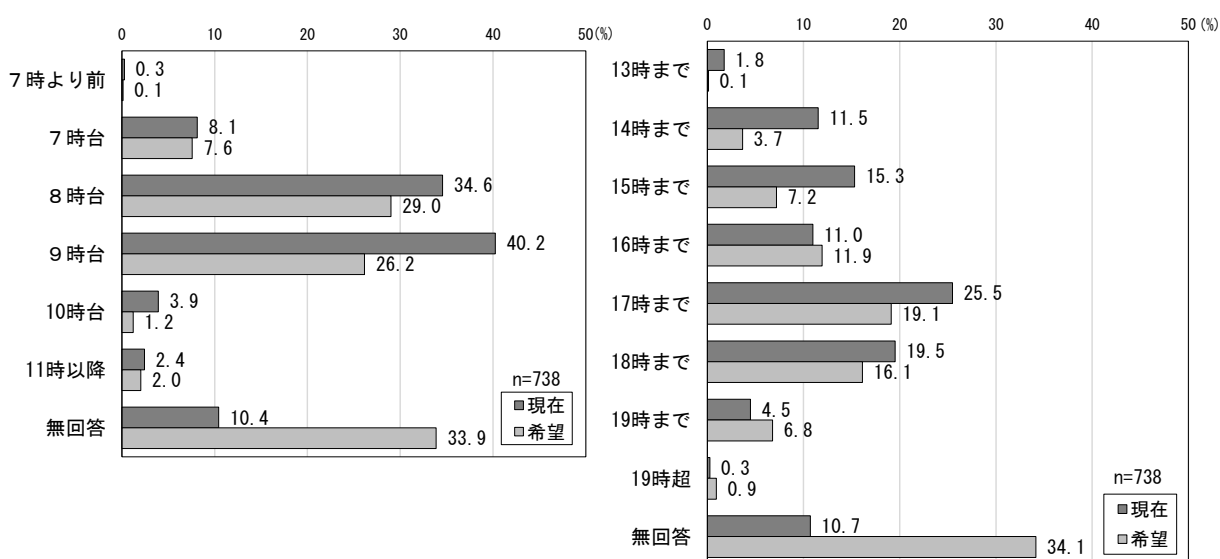
⑤1週当たりの利用日数、1日当たりの利用時間の現状と希望(利用者)【就学前:問13-4(1)・(2)】

- 現在、希望ともに週「5日」、1日「8時間」が最も高くなっています。また、希望では週『6日以上』が現在に比べ4.3ポイント増加しています。



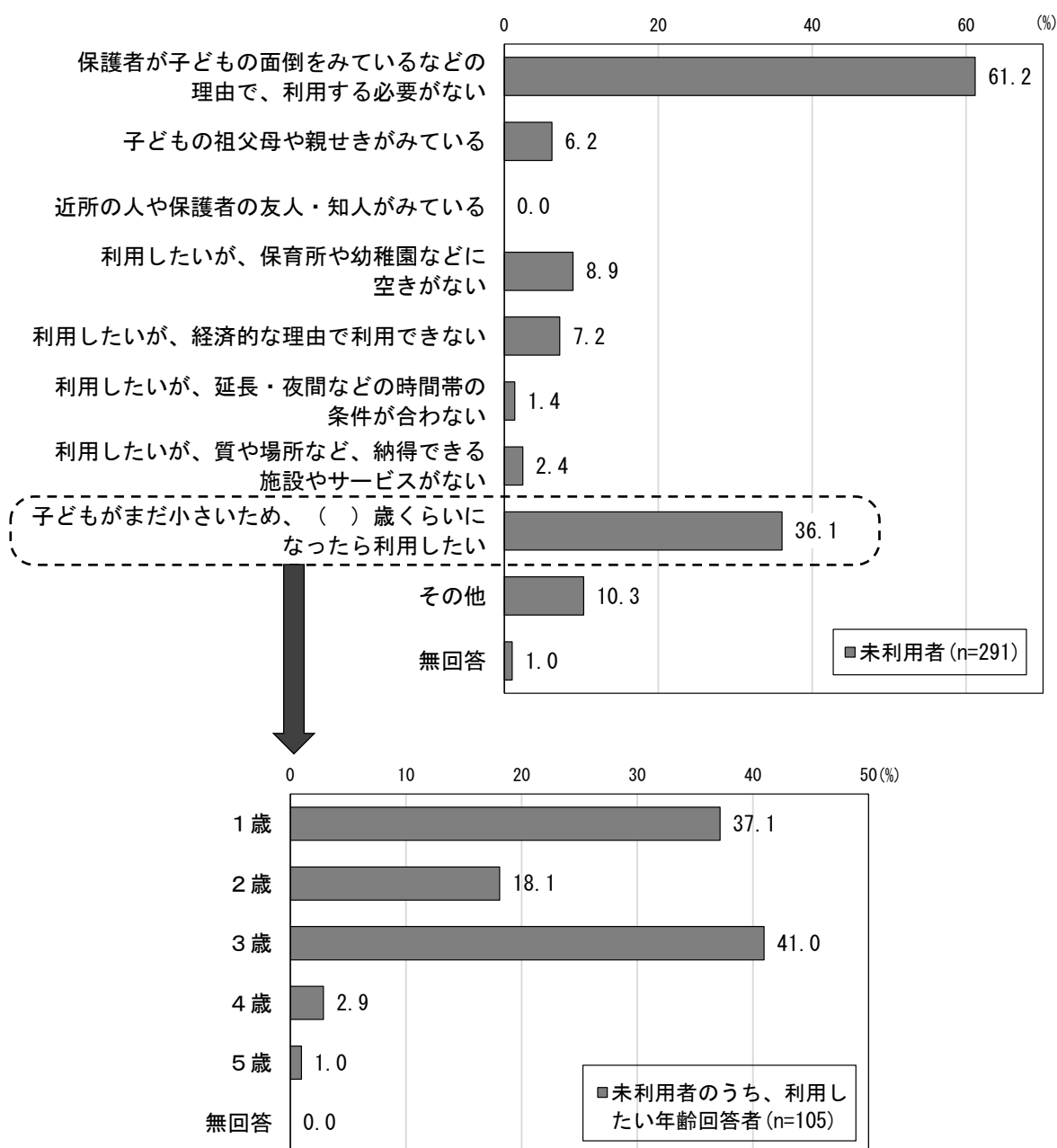
⑥利用開始時刻、利用終了時刻の現状と希望(利用者)【就学前:問13-4(1)・(2)】

- 利用開始時刻では、現在は「9時台」が最も高く、希望は「8時台」が最も高くなっています。利用終了時刻では、現在、希望ともに「17時まで」が最も高くなっています。また、利用終了時刻では「19時まで」及び「19時超」が現在はそれぞれ4.5%、0.3%ですが、希望はそれぞれ6.8%、0.9%と増加しています。



⑦保育所、幼稚園、認定こども園などを利用していない理由(未利用者)【就学前:問13-5/MA】

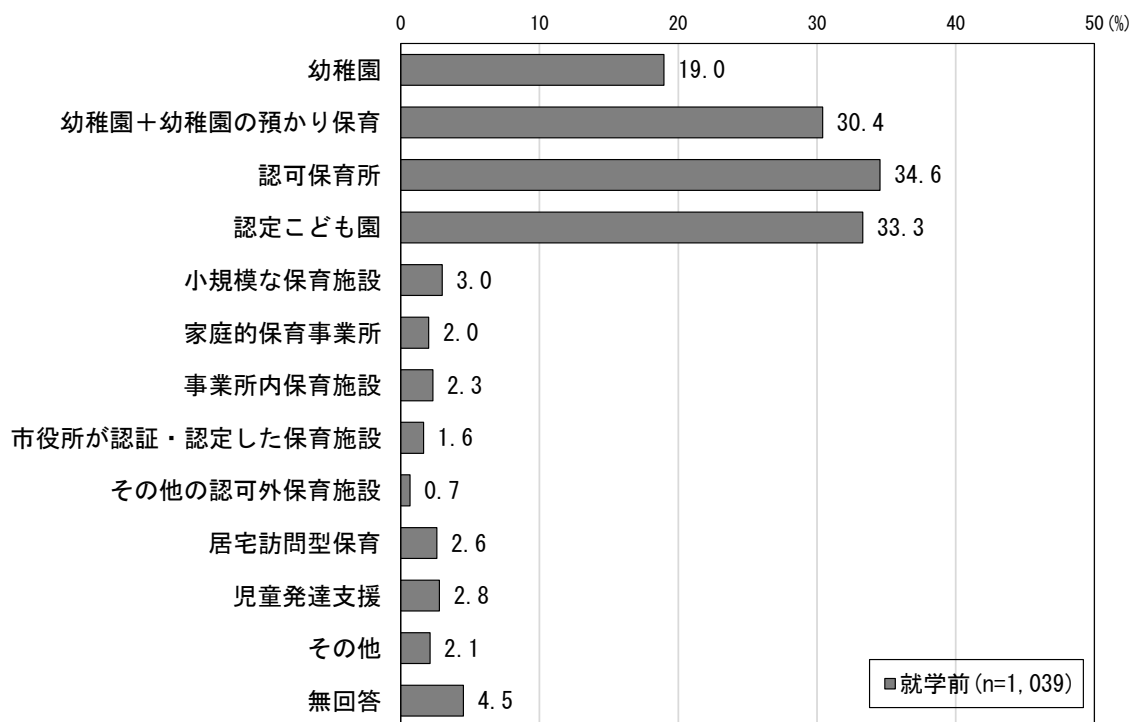
- 平日に「利用していない」と回答した方の理由については、「保護者が子どもの面倒をみているなどの理由で、利用する必要がない」が61.2%で最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため、()歳くらいになったら利用したい」が36.1%で続きます。
- 「子どもがまだ小さいため、()歳くらいになったら利用したい」の年齢については、「3歳」が41.0%、「1歳」が37.1%などとなっています。



⑧今後の利用意向(全回答者)

【就学前:問14/MA】

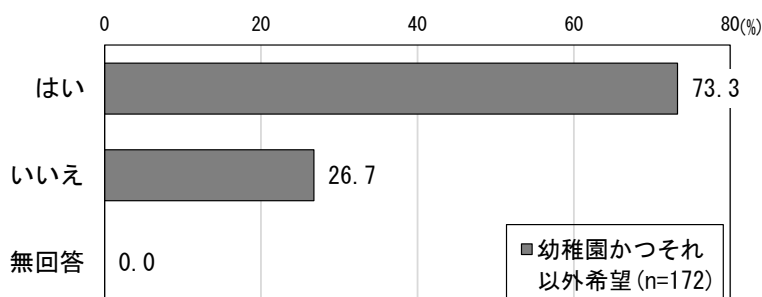
- 「幼稚園」と「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」を合わせた『幼稚園』が49.4%、「認可保育所」が34.6%、「認定こども園」が33.3%などで、「認定こども園」が現在に比べ14.1ポイント、『幼稚園』が10.2ポイント増加し、「認可保育所」が1.6ポイント減少しています（項4④参照）。
- 年齢3区分別では、“0歳児”は「認可保育所」が、“1～2歳児”及び“3～5歳児”は『幼稚園』が、それぞれ最も高くなっています。



年齢3区分	回答者数	幼稚園 (統合)	認可保育 所	認定こど も園
0歳児	270	37.4	51.5	45.2
1～2歳児	279	49.5	31.5	37.3
3～5歳児	488	55.9	27.0	24.6

⑨特に幼稚園の利用を強く希望するか(幼稚園かつ、それ以外の選択者) 【就学前:問14-1】

- 問14で『幼稚園』かつ、それ以外を希望する方に、特に『幼稚園』の利用を強く希望するかをたずねたところ、「はい」が73.3%、「いいえ」が26.7%となっています。

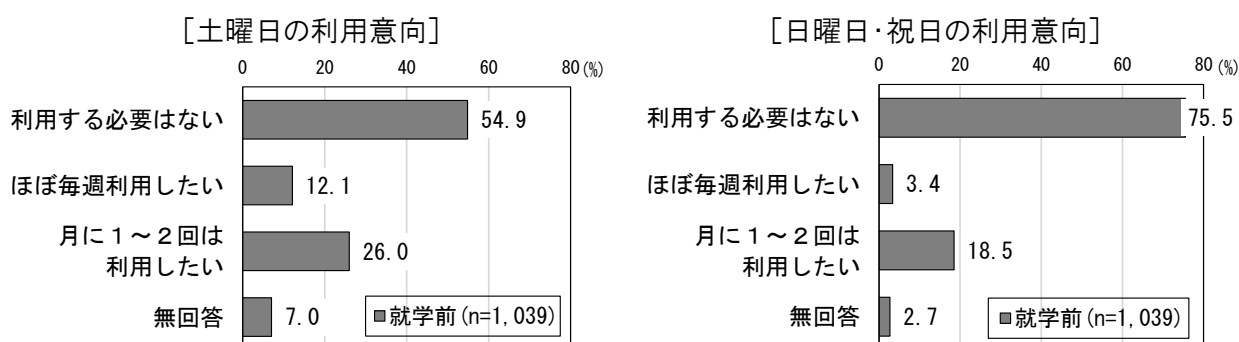


5. 土曜日、日曜日・祝日、長期休業中に子どもを預かる施設やサービスの利用意向

①土曜日、日曜日・祝日の利用希望

【就学前：問15(1)・(2)】

- 土曜日の利用意向については、「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」を合わせた『利用したい』が38.1%となっています。
- 日曜日・祝日の利用意向については、『利用したい』が21.9%となっています。
- 年齢3区分別では、土曜日について『利用したい』が最も高いのは“0歳児”で、44.8%となっています。日曜日については『利用したい』が“0歳児”（25.2%）と“1～2歳児”（25.8%）が同程度で、“3～5歳児”（17.6%）に比べ高くなっています。

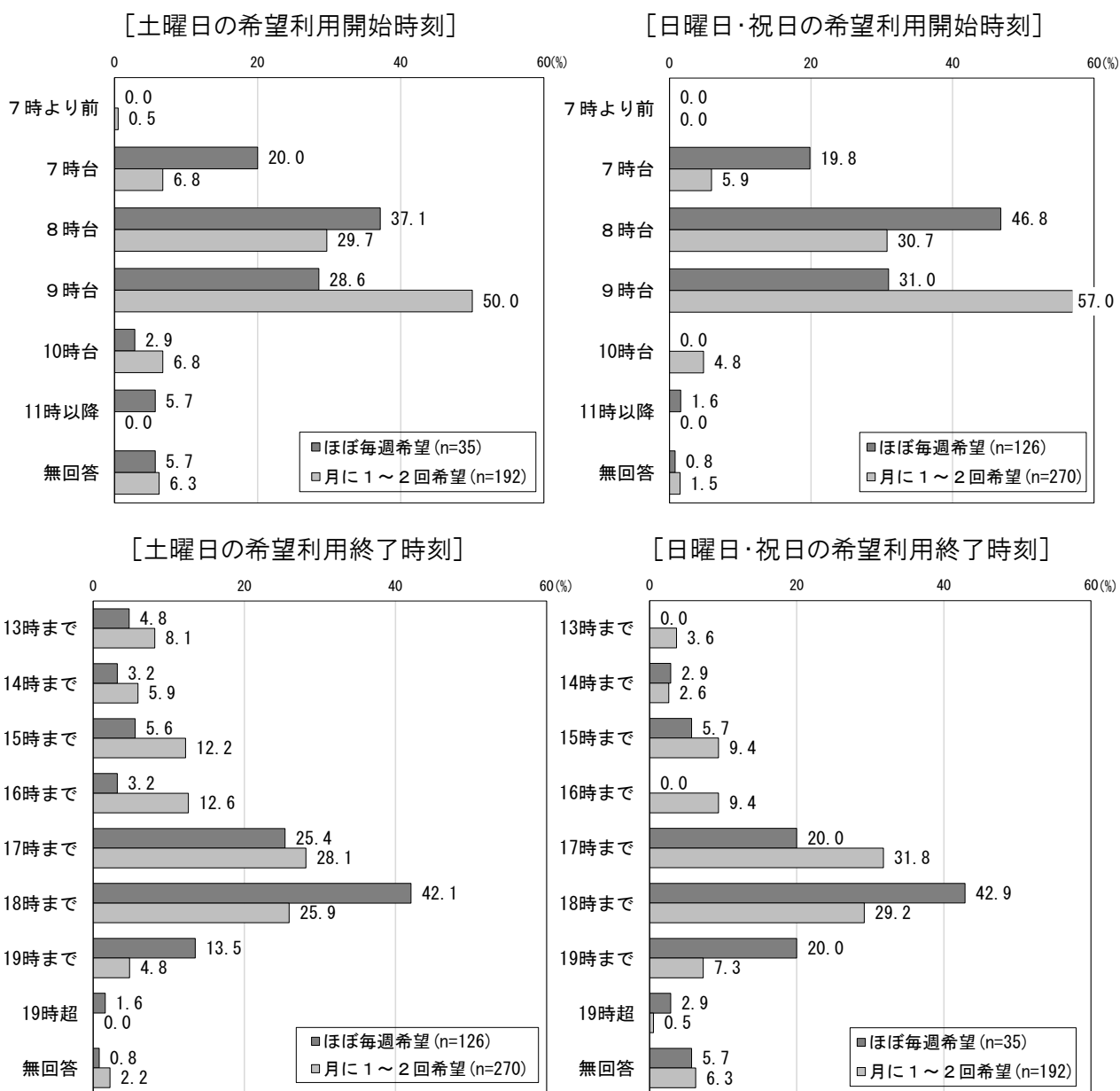


	合計	問15(1) 子どもを預かる施設やサービスの土曜日の利用希望				統合	問15(2) 子どもを預かる施設やサービスの日曜日・祝日の利用希望				統合
		利用する必要はない	ほぼ毎週利用したい	月に1～2回は利用したい	無回答		利用する必要はない	ほぼ毎週利用したい	月に1～2回は利用したい	無回答	
全体	1039	570	126	270	73		784	35	192	28	
	100.0	54.9	12.1	26.0	7.0	38.1	75.5	3.4	18.5	2.7	21.9
問3 2区 分年 齢	0歳児	270	144	39	82	5	198	15	53	4	
		100.0	53.3	14.4	30.4	1.9	73.3	5.6	19.6	1.5	25.2
	1～2歳児	279	151	34	75	19	198	10	62	9	
		100.0	54.1	12.2	26.9	6.8	71.0	3.6	22.2	3.2	25.8
3～5歳児	488	275	53	113	47		388	10	76	14	
	100.0	56.4	10.9	23.2	9.6	34.1	79.5	2.0	15.6	2.9	17.6

②利用開始時刻と利用終了時刻の希望(利用希望者)

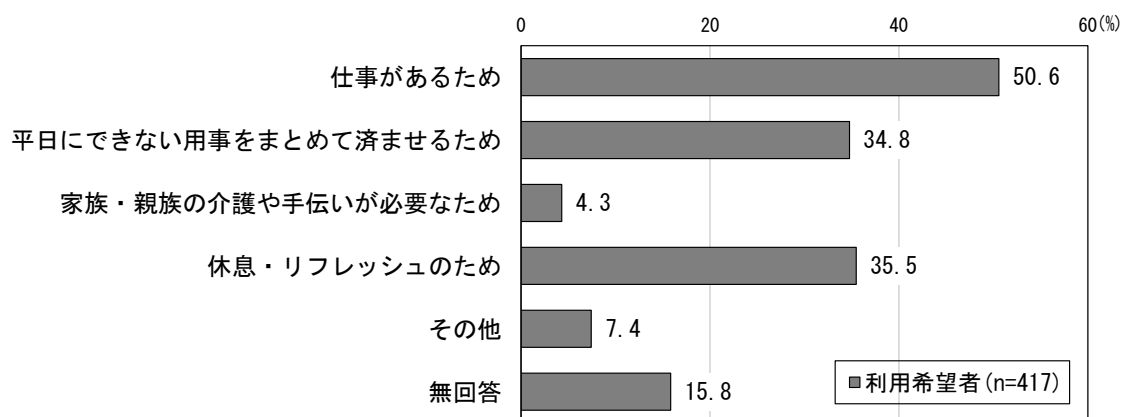
【就学前：問15(1)・(2)】

- 土曜日の開始時刻についての希望は、“ほぼ毎週利用したい”は「8時台」が、“月に1～2回は利用したい”は「9時台」が、それぞれ最も高くなっています。
- 日曜日・祝日の開始時刻についての希望は、土曜日と同様に“ほぼ毎週利用したい”は「8時台」が、“月に1～2回は利用したい”は「9時台」が、それぞれ最も高くなっています。
- 土曜日、日曜日・祝日ともに、“ほぼ毎週利用したい”は「7時台」が2割程度となっています。
- 土曜日の終了時刻についての希望は、“ほぼ毎週利用したい”は「18時まで」が、“月に1～2回は利用したい”は「17時まで」が、それぞれ最も高くなっています。
- 日曜日・祝日の終了時刻についての希望は、“ほぼ毎週利用したい”は「18時まで」が、“月に1～2回は利用したい”は「17時まで」が、それぞれ最も高くなっています。



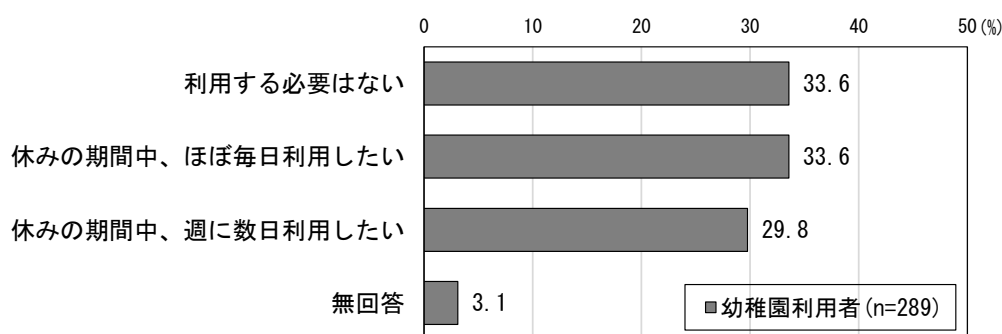
③土曜日、もしくは日曜日・祝日に利用したい理由(利用希望者) 【就学前:問15-1/MA】

- 「仕事があるため」が50.6%で最も高くなっています。



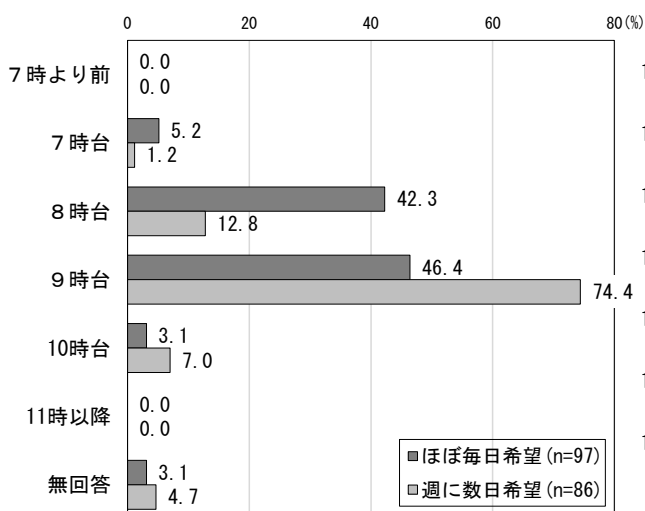
④長期休業中に子どもを預かる施設やサービスの利用希望（幼稚園利用者）【就学前：問16】

- 『幼稚園』利用者の長期休業中の利用意向については、「ほぼ毎日利用したい」と「週に数日利用したい」を合わせた『利用したい』が63.4%となっています。
- 年齢3区分別では、『利用したい』が高いのは“1～2歳児”（65.2%）や“3～5歳児”（63.6%）となっています。（“0歳児”は回答数が4人と少ない。）
- 開始時刻についての希望は、“ほぼ毎日利用したい”及び“週に数日利用したい”ともに「9時台」が、それぞれ最も高くなっています。
- 終了時刻についての希望は、“ほぼ毎日利用したい”は「17時まで」が、“週に数日利用したい”は「15時まで」が、それぞれ最も高くなっています。

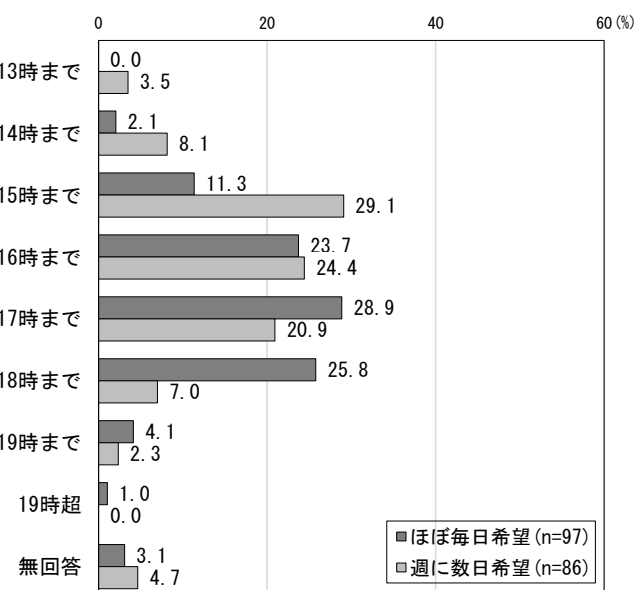


	合計	問16 長期休業中に子どもを預かる施設やサービスの定期的な利用希望				統合
		利用する必要はない	休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	休みの期間中、週に数日利用したい	無回答	
全体	289 100.0	97 33.6	97 33.6	86 29.8	9 3.1	63.4
問3区分年齢	0歳児	4 100.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0
	1～2歳児	23 100.0	6 26.1	9 39.1	6 26.1	2 8.7
	3～5歳児	261 100.0	88 33.7	87 33.3	79 30.3	7 2.7

[長期休業中の希望利用開始時刻]



[長期休業中の希望利用終了時刻]

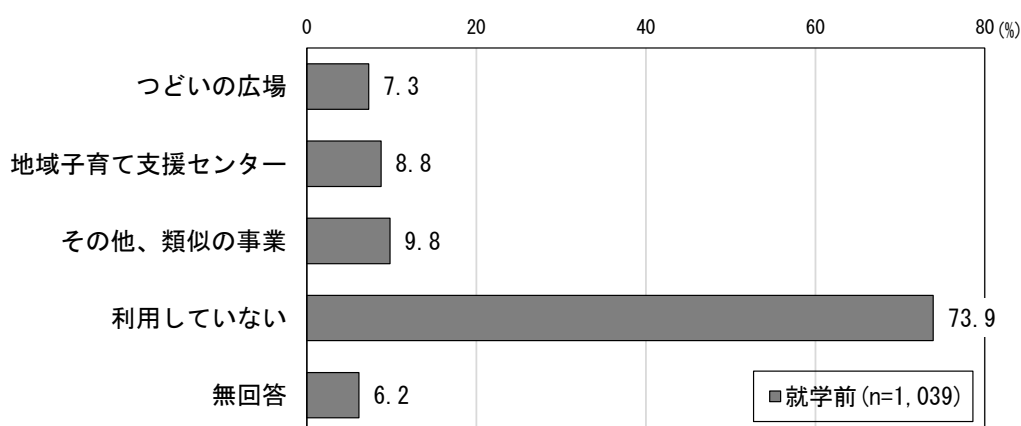


6. 地域子育て支援拠点事業などの利用状況や利用意向

①現在の利用状況

【就学前：問17／MA】

- 就学前児童全体での利用率は19.9%で、「その他、類似の事業」（9.8%）をはじめ、3項目ともに10%を割っています。自由記載欄への記載事項によると、「その他、類似の事業」は、保育所や幼稚園の園庭開放が多くなっています。
- 年齢3区分別では、利用率が“0歳児”は35.9%で最も高く、“1～2歳児”は30.1%、“3～5歳児”は5.3%となっています。
- 事業別1か月当たりの利用回数では、どの事業も「1回」が高くなっています。



		合計	問17 地域子育て支援拠点事業などの利用状況					利用率
			つどいの 広場	地域子育 て支援セ ンター	その他、 類似の事 業	利用して いない	無回答	
全体		1039 100.0	76 7.3	91 8.8	102 9.8	768 73.9	64 6.2	19.9
問 3 2 区 分 年 齢	0歳児	270 100.0	34 12.6	39 14.4	44 16.3	158 58.5	15 5.6	35.9
	1～2歳児	279 100.0	30 10.8	41 14.7	49 17.6	174 62.4	21 7.5	30.1
	3～5歳児	488 100.0	12 2.5	11 2.3	9 1.8	436 89.3	26 5.3	5.3

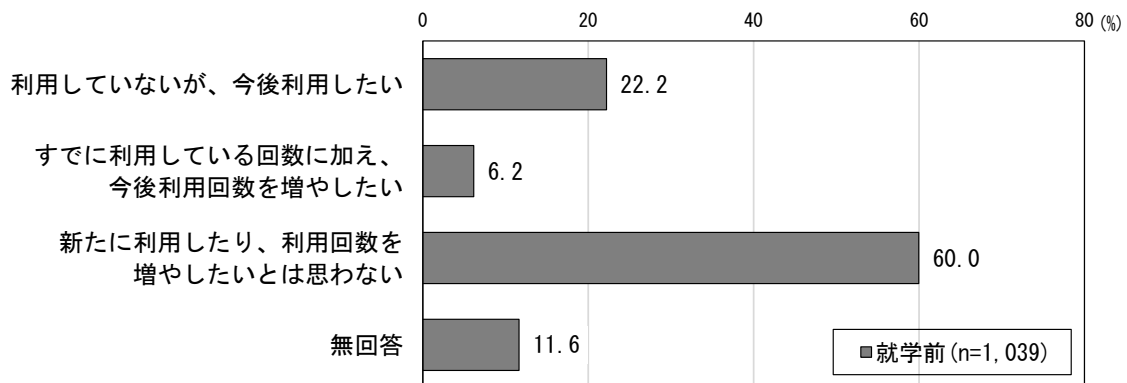
[事業別1か月当たりの利用回数別比率と最大利用回数・1人平均利用回数]

事業名	回答数	利用回数別比率 (%)							最大利用回数	1人平均利用回数
		1回	2回	3回	4回	5回	6～9回	10回以上		
つどいの広場	76	38.2	17.1	7.9	7.9	1.3	10.5	9.2	12	3.9
地域子育て支援センター	91	30.8	11.0	7.7	17.6	9.9	3.3	7.7	20	3.3
その他、類似の事業	102	24.5	6.9	4.9	12.7	7.8	13.7	13.7	30	5.7

②地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向

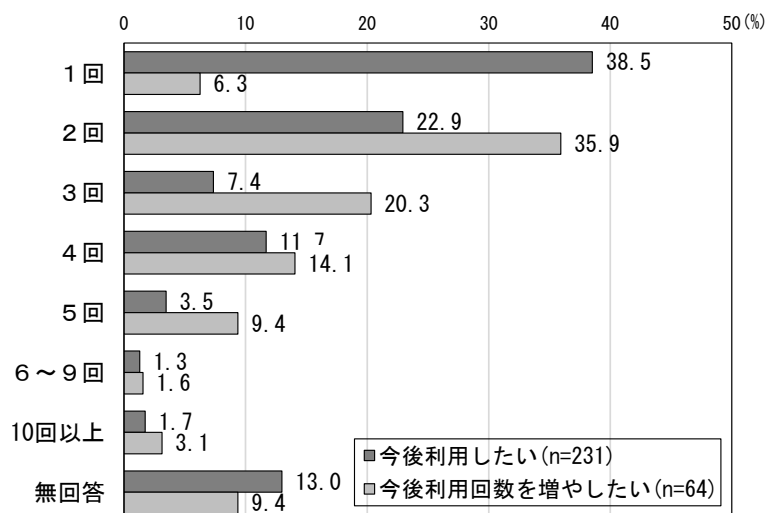
【就学前：問18】

- 「新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない」が60.0%で最も高くなっています。
『利用したい』が合わせて28.4%で、そのうち「利用していないが、今後利用したい」が22.2%となっています。
- 年齢3区分別では、『利用したい』が“0歳児”は46.7%で最も高く、現在の利用率に比べて10.8ポイント増加しています。
- 利用希望回数については、“今後利用したい”は「1回」が、“今後利用回数を増やしたい”は「2回」が、それぞれ最も高くなっています。



		合計	問18 地域子育て支援拠点事業の利用希望				統合
			利用していないが、今後利用したい	すでに利用している回数に加え、今後利用回数を増やしたい	新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない	無回答	利用したい
全体		1039	231	64	623	121	
		100.0	22.2	6.2	60.0	11.6	28.4
問3 2区 分 年 齢	0歳児	270	96	30	120	24	
		100.0	35.6	11.1	44.4	8.9	46.7
	1～2歳児	279	61	24	156	38	
		100.0	21.9	8.6	55.9	13.6	30.5
	3～5歳児	488	74	10	347	57	
		100.0	15.2	2.0	71.1	11.7	17.2

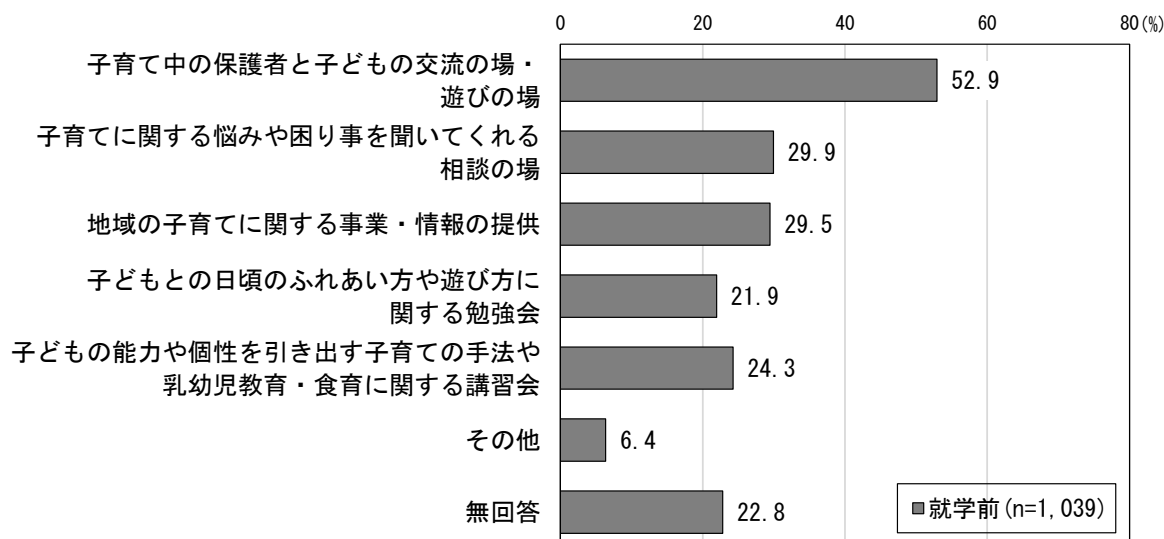
[利用希望別1か月当たりの利用希望回数]



③地域子育て支援拠点事業について、利用したいサービス

【就学前：問19／MA】

- 「子育て中の保護者と子どもの交流の場・遊びの場」が52.9%で最も高く、次いで「子育てに関する悩みや困り事を聞いてくれる相談の場」（29.9%）、「地域の子育てに関する事業・情報の提供」（29.5%）と続きます。
- 年齢3区分別では、各年齢区分で「子育て中の保護者と子どもの交流の場・遊びの場」が最も高く、特に“0歳児”は62.2%で最も高くなっています。これ以外と「その他」を除く各事業でも“0歳児”がそれぞれ最も高くなっています。



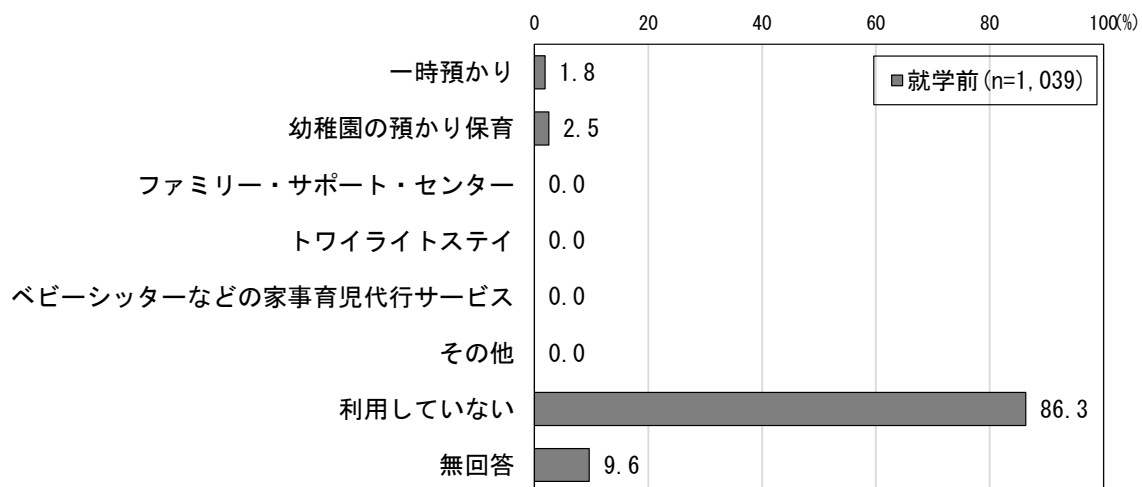
		合計	問19 地域子育て支援拠点事業について、利用したいサービス						
			子育て中の保護者と子どもの交流の場・遊びの場	子育てに関する悩みや困り事を聞いてくれる相談の場	地域の子育てに関する事業・情報の提供	子どもとの日頃のふれあい方や遊び方に関する勉強会	子どもの能力や個性を引き出す子育ての手法や乳幼児教育・食育に関する講習会	その他	無回答
全体		1039 100.0	550 52.9	311 29.9	306 29.5	228 21.9	252 24.3	66 6.4	237 22.8
問 3 区 分 年 齢	0歳児	270 100.0	168 62.2	94 34.8	88 32.6	83 30.7	88 32.6	15 5.6	40 14.8
	1～2歳児	279 100.0	161 57.7	87 31.2	84 30.1	67 24.0	70 25.1	19 6.8	52 18.6
	3～5歳児	488 100.0	221 45.3	130 26.6	133 27.3	78 16.0	94 19.3	32 6.6	144 29.5

7. 保育所や幼稚園などの不規則な利用状況

①子どもを預かるサービスの不規則な利用状況

【就学前：問20／MA】

- 「利用していない」及び無回答が全体の95.9%を占め、利用率は4.1%と低くなっています。利用サービスの中では、「幼稚園の預かり保育」が2.5%、「一時預かり」が1.8%となっています。
- 年齢3区分別では、利用率は“3～5歳児”が4.7%で最も高く、“1～2歳児”が3.6%、“0歳児”が3.3%となっています。
- 1年間当たりの利用日数は、【一時預かり】は「2日」及び「3日」がともに21.1%で最も高く、【幼稚園の預かり保育】は「10日以上」が57.7%で最も高くなっています。両サービスともに最大が80日となっています。



		問20 子どもを預かるサービスの不規則の利用状況								利用率
合計		一時預かり	幼稚園の預かり保育	ファミリー・サポート・センター	トワイライトステイ	ベビーシッターなどの家事育児代行サービス	その他	利用していない	無回答	
全体		1039 100.0	19 1.8	26 2.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	897 86.3	100 9.6	4.1
問23 区分年齢	0歳児	270 100.0	8 3.0	1 0.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	237 87.8	24 8.9	3.3
	1～2歳児	279 100.0	8 2.9	3 1.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	242 86.7	27 9.7	3.6
	3～5歳児	488 100.0	3 0.6	22 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	417 85.5	48 9.8	4.7

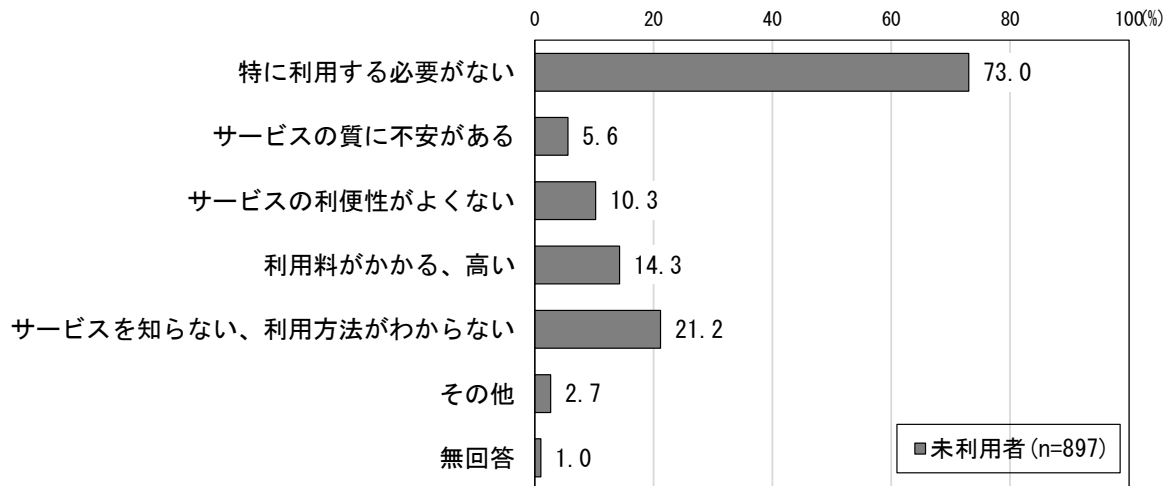
〔サービス別1年間当たりの利用日数別比率と最大利用日数・1人平均利用日数〕

サービス名	回答数	利用日数別比率(%)							最大利用日数	1人平均利用日数
		1日	2日	3日	4日	5日	6～9日	10日以上		
一時預かり	19	10.5	21.1	21.1	10.5	10.5	10.5	15.8	80	8.4
幼稚園の預かり保育	26	7.7	7.7	15.4	7.7	0.0	3.8	57.7	80	18.8

②利用していない理由(未利用者)

【就学前：問20-1／MA】

- 子どもを預かるサービスを不定期に「利用していない」理由としては、「特に利用する必要がない」が73.0%で最も高く、次いで「サービスを知らない、利用方法がわからない」が21.2%と続きます。
- 年齢3区分別では、各年齢区分で「特に利用する必要がない」が最も高くなっています。また、「サービスを知らない、利用方法がわからない」が“0歳児”は19.8%、“1～2歳児”は21.5%、“3～5歳児”は21.6%で、“0歳児”が若干低いものの、大差ありません。

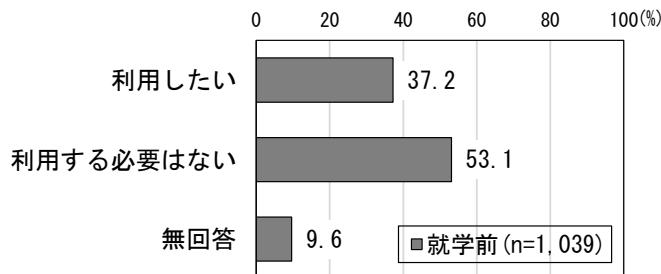


		合計	問20－1 利用していない理由						
			特に利用 する必要 がない	サービスの 質に不 安がある	サービスの 利便性 がよくな い	利用料が かかる、 高い	サービス を知らない、利用 方法がわ からない	その他	無回答
全体		897 100.0	655 73.0	50 5.6	92 10.3	128 14.3	190 21.2	24 2.7	9 1.0
問 3 区 分 年 齢	0歳児	237 100.0	172 72.6	10 4.2	28 11.8	26 11.0	47 19.8	9 3.8	4 1.7
		1～2歳児	242 100.0	179 74.0	18 7.4	24 9.9	37 15.3	52 21.5	9 3.7
	3～5歳児		417 100.0	303 72.7	22 5.3	40 9.6	65 15.6	90 21.6	6 1.4

③子どもを一時的に預かるサービスの利用意向(全回答者)

【就学前:問21】

- 一時的な預かりサービスについて、「利用したい」が37.2%、「利用する必要はない」が53.1%となっています。
- 年齢3区分別では、「利用したい」が“0歳児”は38.1%、“1～2歳児”は36.9%、“3～5歳児”は37.1%で、“0歳児”が若干高いものの、大差ありません。

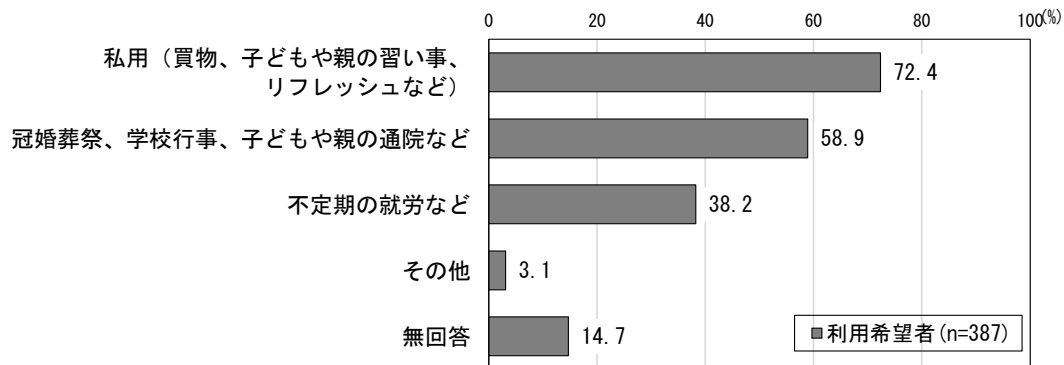


		問21 一時的な預かりサービスの利用希望			
		合計	利用したい	利用する必要はない	無回答
全体		1039	387	552	100
		100.0	37.2	53.1	9.6
問21 3区 分年 齢	0歳児	270	103	141	26
		100.0	38.1	52.2	9.6
	1～2歳児	279	103	149	27
		100.0	36.9	53.4	9.7
	3～5歳児	488	181	261	46
		100.0	37.1	53.5	9.4

④利用理由と年間当たりの利用希望日数(利用希望者)

【就学前:問21/MA】

- 利用を希望する理由としては、「私用」が72.4%で最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など」(58.9%)、「不定期の就労など」(38.2%)と続きます。
- 1年間当たりの利用希望日数については、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など」は「5日」が、これ以外は「10日以上」が高くなっています。また、【不定期の就労】では最大300日の希望となっています。



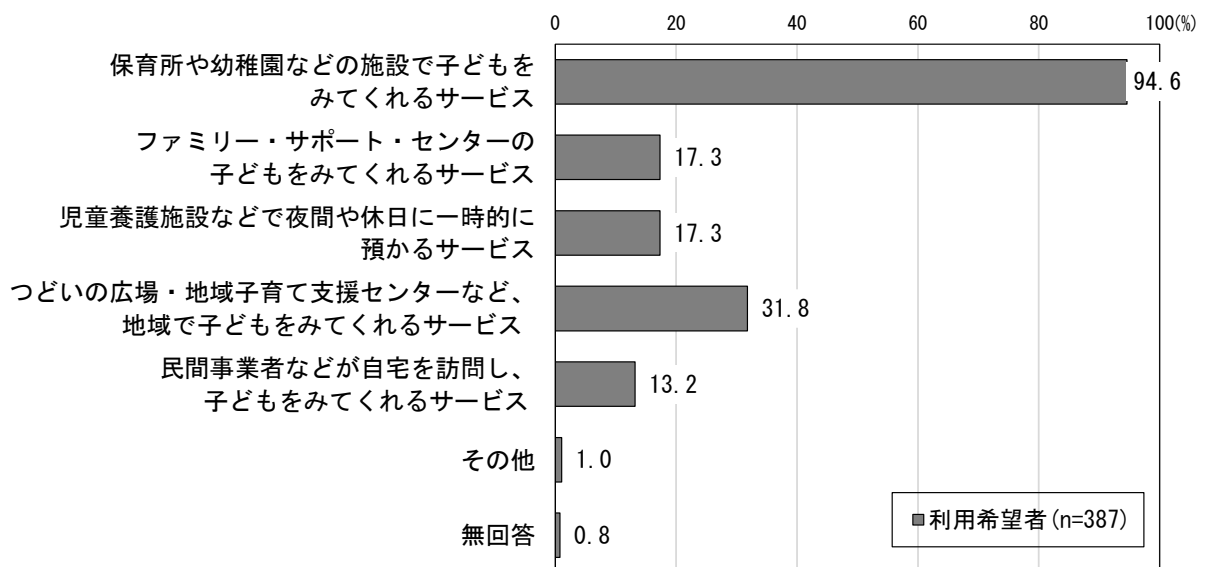
[利用したい理由別1年間当たりの利用希望日数別比率と最大希望日数・1人平均希望日数]

利用したい理由	回答数	利用希望日数別比率 (%)							最大希望日数	1人平均希望日数
		1日	2日	3日	4日	5日	6～9日	10日以上		
私用	280	6.4	7.1	11.1	1.4	18.9	5.4	49.6	100	12.1
冠婚葬祭など	228	11.8	9.6	18.9	3.9	26.3	5.7	23.7	50	6.4
不定期の就労など	148	2.7	6.8	10.8	3.4	18.2	1.4	56.8	300	21.7
その他	12	25.0	0.0	16.7	8.3	0.0	0.0	50.0	100	21.9
	回答数	1～4日	5～9日	10～14日	15～19日	20～24日	25～29日	30日以上	最大	1人平均
1年間の合計	387	13.4	14.0	13.4	13.7	7.2	3.6	19.9	350	21.5

⑤希望する子どもを一時的に預かるサービス(利用希望者)

【就学前:問21-1】

- 一時的な預かりサービスの利用を希望する方が希望する子育て支援サービスについては、「保育所や幼稚園などの施設で子どもをみてくれるサービス」が94.6%で特に高く、次いで「つどいの広場・地域子育て支援センターなど、地域で子どもをみてくれるサービス」(31.8%)と続きます。
- 年齢3区分別では、各年齢区分で「保育所や幼稚園などの施設で子どもをみてくれるサービス」が9割を超えて最も高くなっています。また、“0歳児”は概ねどのサービスも他の年齢区分に比べて高くなっています。



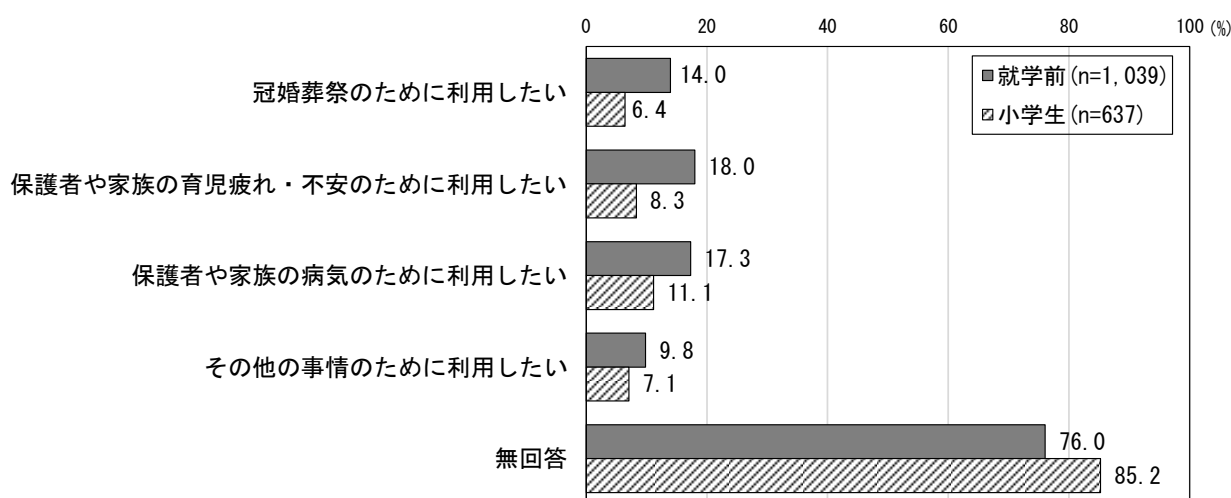
		問21-1 希望する子育て支援サービス						
合計		保育所や幼稚園などの施設で子どもをみてくれるサービス	ファミリー・サポート・センターの子どもをみてくれるサービス	児童養護施設などで夜間や休日に一時的に預かるサービス	つどいの広場・地域子育て支援センターなど、地域で子どもをみてくれるサービス	民間事業者などが自宅を訪問し、子どもをみてくれるサービス	その他	無回答
全体		387 100.0	366 94.6	67 17.3	67 17.3	123 31.8	51 13.2	4 1.0
問21-1 3区分年齢	0歳児	103 100.0	102 99.0	19 18.4	25 24.3	38 36.9	18 17.5	0 0.0
	1～2歳児	103 100.0	94 91.3	15 14.6	18 17.5	36 35.0	14 13.6	1 1.0
	3～5歳児	181 100.0	170 93.9	33 18.2	24 13.3	49 27.1	19 10.5	3 1.7

8. 宿泊を伴う一時預かりの利用意向

①短期入所生活援助事業の利用希望

【就学前：問22／MA、小学生：問15／MA】

- 無回答を除くと、利用希望率は就学前が24.0%、小学生が14.8%となっています。利用したい理由としては、就学前は「保護者や家族の育児疲れ・不安のために利用したい」（18.0%）が、小学生は「保護者や家族の病気ののために利用したい」（11.1%）が、それぞれ最も高くなっています。
- 利用したい理由別の1年間当たりの利用希望泊数については、どの理由も就学前及び小学生ともに「1日」が最も高くなっています。



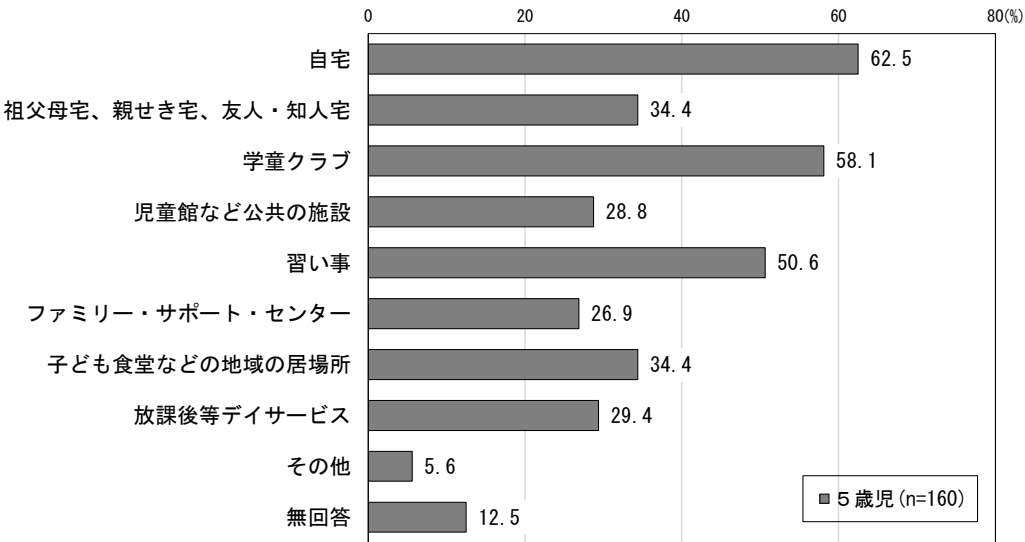
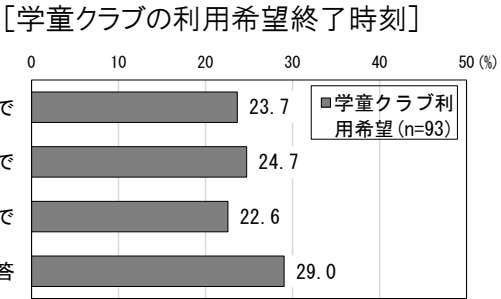
[利用したい理由別1年間当たりの利用希望泊数別比率と最大希望泊数・1人平均希望泊数]

区分	利用したい理由	回答数	利用希望泊数別比率(%)							最大希望泊数	1人平均希望泊数
			1日	2日	3日	4日	5日	6～9日	10日以上		
就学前	冠婚葬祭	145	57.2	24.1	9.0	2.1	4.8	2.8	0.0	7	1.8
	保護者や家族の育児疲れ・不安	187	40.1	19.3	9.6	0.5	10.7	4.3	15.5	50	4.3
	保護者や家族の病気	180	35.0	12.8	14.4	1.1	15.6	8.9	12.2	250	6.2
	その他	102	56.9	8.8	7.8	2.0	14.7	2.9	6.9	24	2.9
小学生	冠婚葬祭	41	58.5	31.7	9.8	0.0	0.0	0.0	0.0	3	1.5
	保護者や家族の育児疲れ・不安	53	39.6	20.8	17.0	0.0	3.8	7.5	11.3	40	3.9
	保護者や家族の病気	71	31.0	15.5	15.5	1.4	16.9	14.1	5.6	30	4.0
	その他	45	51.1	24.4	8.9	2.2	4.4	4.4	4.4	12	2.4

9. 新1年生の放課後の過ごし方の意向(現在のイメージ)

①小学校低学年時に放課後の時間を過ごさせたい場所 【就学前:問23/MA】

- 「自宅」が62.5%で最も高く、次いで「学童クラブ」(58.1%)、「習い事」(50.6%)と続きます。また、「子ども食堂などの地域の居場所」が34.4%、「放課後等デイサービス」が29.4%となっています。
- 過ごさせたい場所別の平日の放課後の週(月)当たり利用希望日数については、【自宅】及び【学童クラブ】は「5日以上」が、【習い事】は「2日」が、これら以外は「1日」が、それぞれ最も高くなっています。
- 【学童クラブ】の利用希望終了時刻は、「18時まで」が24.7%で若干高いものの、「17時まで」や「19時まで」と大差ありません。



[低学年時に過ごさせたい場所別平日の放課後週(月)当たりの利用希望日数別比率と最大希望日数・1人平均希望日数]

過ごさせたい場所 (平日の放課後週当たり)	回答数	利用希望日数別比率 (%)					最大希望 日数	1人平均 希望日数
		1日	2日	3日	4日	5日 以上		
自宅	100	12.0	5.0	19.0	15.0	49.0	8	4.3
祖父母等宅、	55	50.9	25.5	12.7	3.6	7.3	6	2.0
学童クラブ	93	26.9	3.2	7.5	10.8	51.6	7	4.1
児童館など	46	80.4	10.9	4.3	0.0	4.3	6	1.4
習い事	81	21.0	32.1	29.6	12.3	4.9	6	2.5
ファミリー・サポート・ センター	43	95.3	2.3	2.3	0.0	0.0	3	1.1
放課後等デイサービス	47	85.1	4.3	2.1	4.3	4.3	7	1.5
その他	9	66.7	11.1	11.1	0.0	11.1	6	1.9

過ごさせたい場所 (平日の放課後月当たり)	回答数	1日	2日	3日	4日	5日 以上	最大	1人 平均
子ども食堂など	55	56.4	12.7	5.5	12.7	12.7	15	2.4

②小学校高学年時に放課後過ごさせたい場所

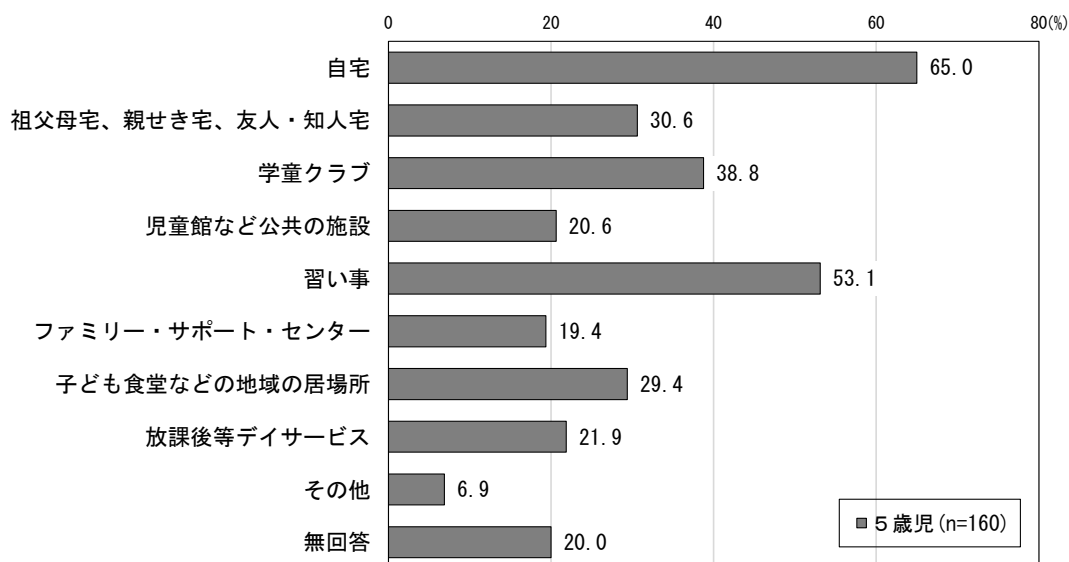
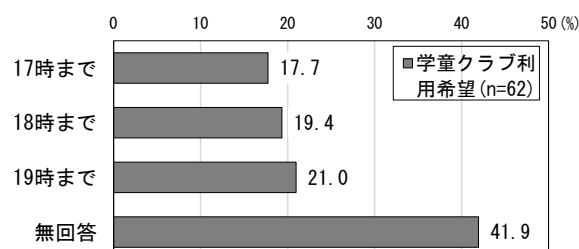
【就学前:問24/MA】

- 「自宅」が65.0%で最も高く、次いで「習い事」(53.1%)、「学童クラブ」(38.8%)と続き、「学童クラブ」が低学年時の希望に比べて19.3ポイント減少しています。また、「子ども食堂などの地域の居場所」が29.4%、「放課後等デイサービス」が21.9%となっています。

- 高学年時に過ごさせたい場所別の平日の放課後の週(月)当たり利用希望日数については、【自宅】は「5日以上」が、【習い事】は「3日」が、これら以外は「1日」が、それぞれ最も高くなっています。

- 【学童クラブ】の利用希望終了時刻は、「19時まで」が21.0%で最も高くなっています。

〔学童クラブの利用希望終了時刻〕

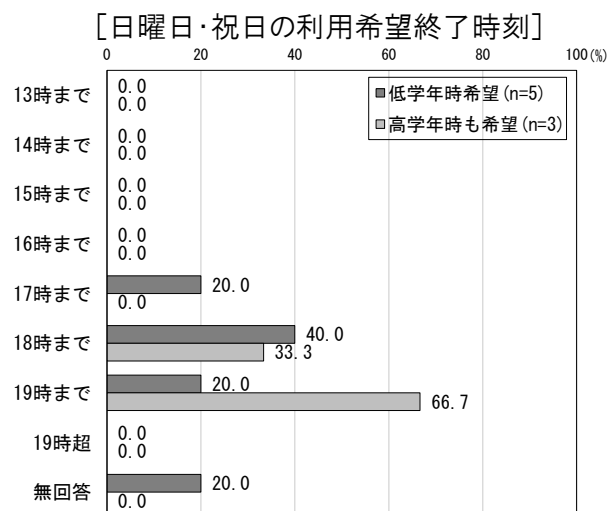
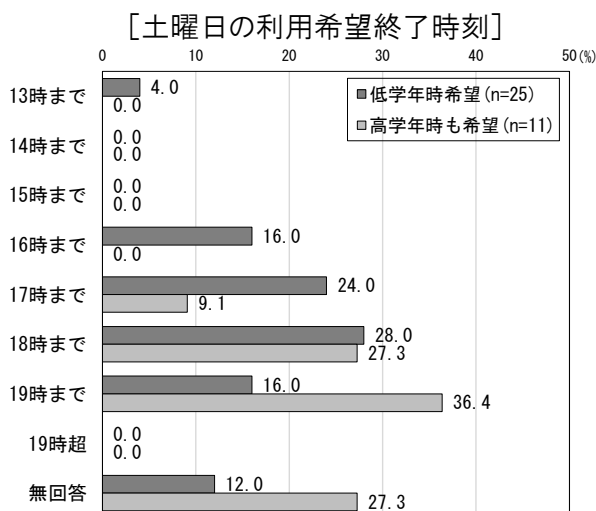
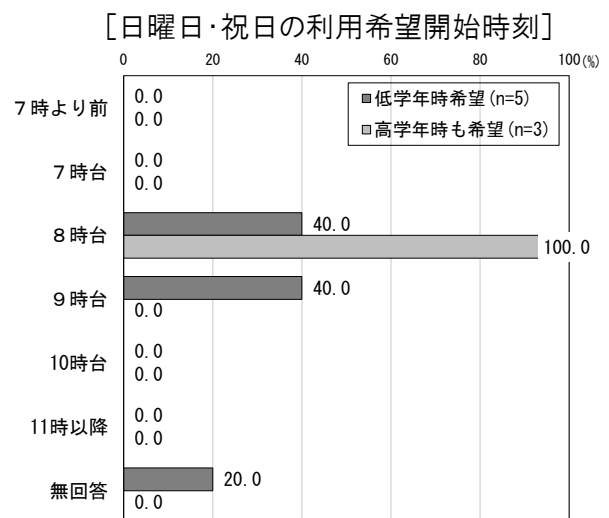
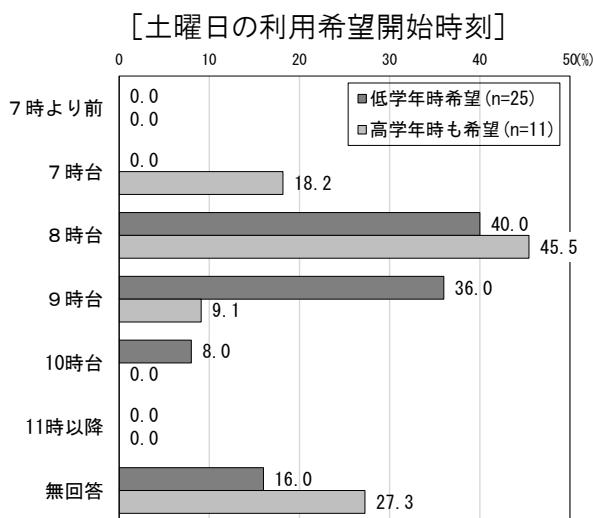
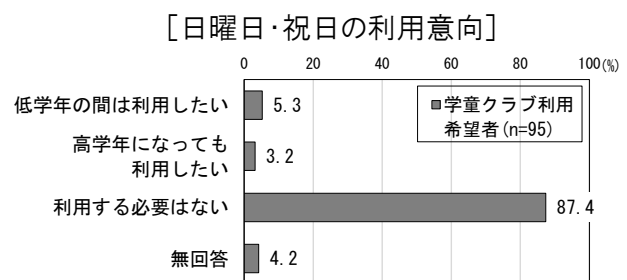
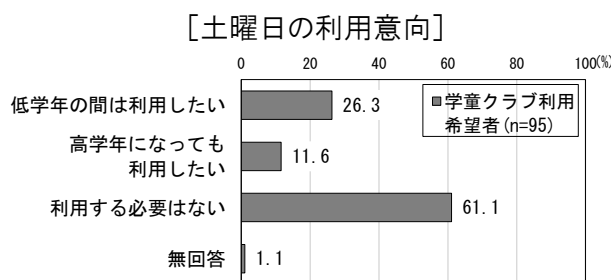


〔高学年時に過ごさせたい場所別平日の放課後週(月)当たりの利用希望日数別比率と最大希望日数・1人平均希望日数〕

過ごさせたい場所 (平日の放課後週当たり)	回答数	利用希望日数別比率 (%)					最大希望日数	1人平均希望日数
		1日	2日	3日	4日	5日以上		
自宅	104	5.8	8.7	11.5	19.2	54.8	8	4.7
祖父母等宅、	49	40.8	26.5	16.3	8.2	8.2	6	2.2
学童クラブ	62	41.9	1.6	11.3	17.7	27.4	7	3.2
児童館など	33	84.8	3.0	3.0	0.0	9.1	6	1.5
習い事	85	8.2	17.6	37.6	27.1	9.4	6	3.1
ファミリー・サポート・センター	31	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1	1.0
放課後等デイサービス	35	85.7	5.7	2.9	0.0	5.7	6	1.4
その他	11	72.7	9.1	9.1	0.0	9.1	6	1.7
子ども食堂など	47	57.4	10.6	10.6	10.6	10.6	15	2.6

③土曜日、日曜日・祝日の「学童クラブ」の利用希望（「学童クラブ」の回答者）【就学前：問25】

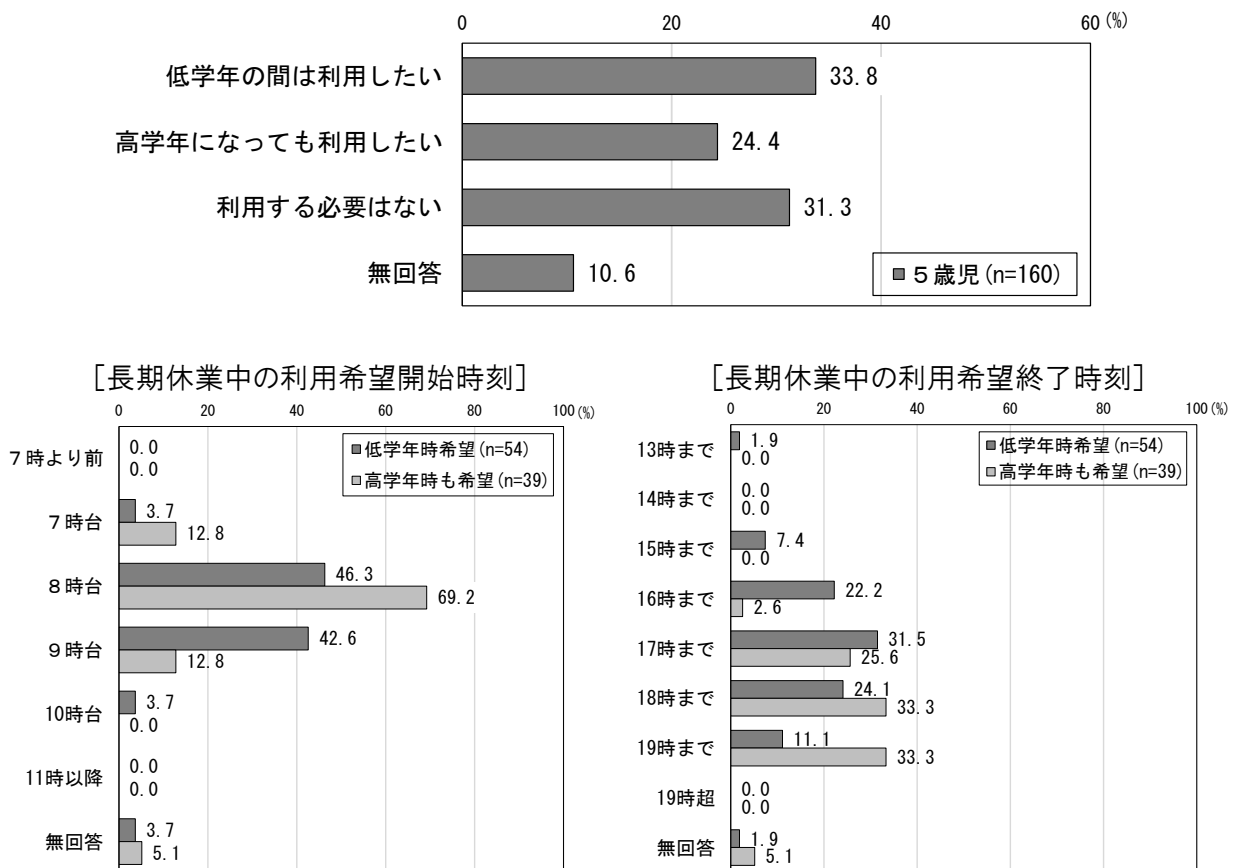
- 放課後過ごさせたい場所で、低学年時または高学年時に「学童クラブ」を回答した方の土曜日の利用意向については、「低学年の間は利用したい」が26.3%、「高学年になっても利用したい」が11.6%となっています。
- 日曜日・祝日の利用意向については、「低学年の間は利用したい」が5.3%、「高学年になっても利用したい」が3.2%となっています。
- 土曜日の利用希望開始時刻は、“低学年時希望”及び“高学年時も希望”ともに「8時台」が、利用希望終了時刻は、“低学年時希望”は「18時まで」が、“高学年時も希望”は「19時まで」が、それぞれ最も高くなっています。
- 日曜日・祝日の利用希望開始時刻は、“低学年時希望”及び“高学年時も希望”の回答数がそれぞれ5人、3人と少ないため、グラフは参考にとどめます。



④長期休業中の「学童クラブ」の利用希望(新1年生)

【就学前:問26】

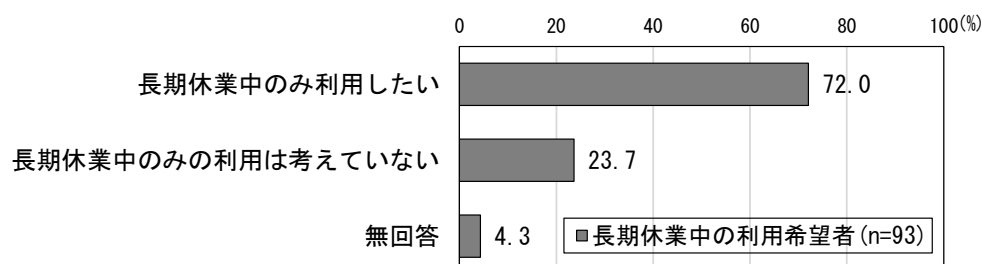
- 令和6年4月に小学校に入学する5歳児について、長期休業中の「学童クラブ」の利用意向をみると、「低学年の間は利用したい」が33.8%、「高学年になっても利用したい」が24.4%となっています。
- 利用希望開始時刻は、“低学年時希望”及び“高学年時も希望”ともに「8時台」が、利用希望終了時刻は、“低学年時希望”は「17時まで」が、“高学年時も希望”は「18時まで」及び「19時まで」が、それぞれ最も高くなっています。



⑤長期休業中のみの利用希望(利用希望者)

【就学前:問26-1】

- 長期休業中の「学童クラブ」の利用希望者の長期休業中についての利用意向をみると、「長期休業中のみ利用したい」が72.0%、「長期休業中のみの利用は考えていない」が23.7%となっています。



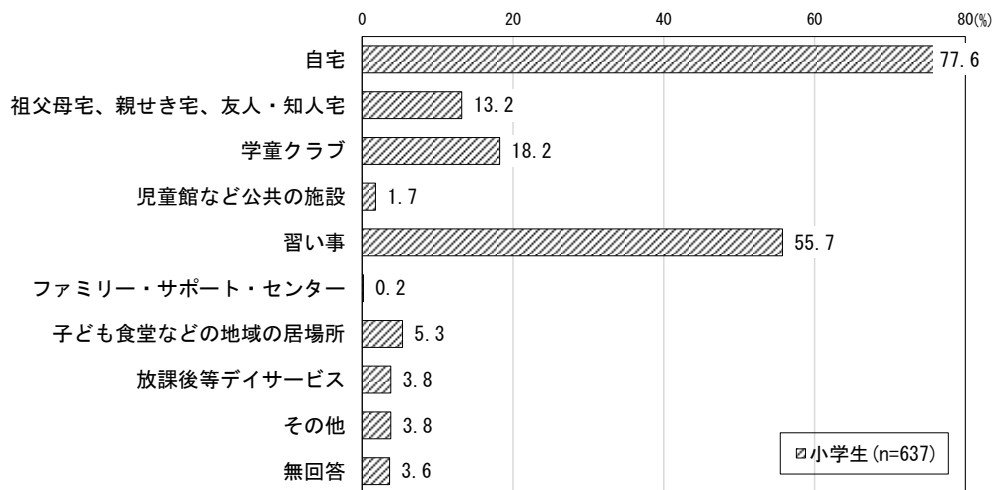
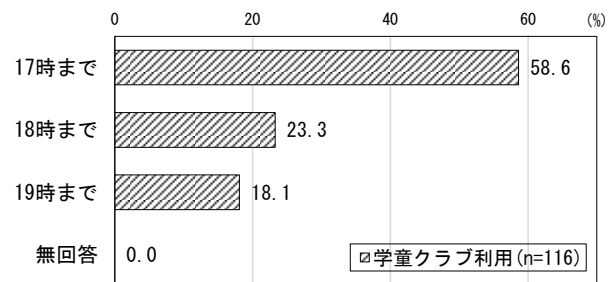
10. 小学生の放課後の過ごし方の現状と意向

①放課後過ごしている場所

【小学生：問13／MA】

- 「自宅」が77.6%で最も高く、次いで「習い事」(55.7%)、「学童クラブ」(18.2%)と続きます。また、「子ども食堂などの地域の居場所」が5.3%、「放課後等デイサービス」が3.8%となっています。
- 過ごしている場所別の平日の放課後の週（月）当たり利用日数については、【自宅】及び【学童クラブ】は「5日以上」が、【習い事】は「2日」が、【その他】は「3日」が、これら以外は「1日」が、それぞれ最も高くなっています。
- 【学童クラブ】の利用終了時刻は、「17時まで」が58.6%で最も高くなっています。

[学童クラブの利用終了時刻]



[過ごしている場所別平日の放課後週(月)当たりの利用日数別比率と
最大利用日数・1人平均利用日数]

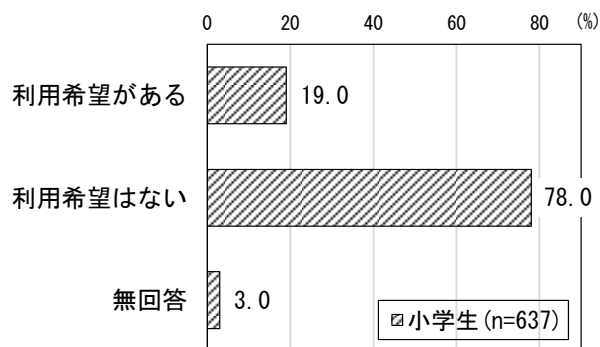
過ごしている場所 (平日の放課後週当たり)	回答数	利用日数別比率 (%)					最大利 用日数	1人平 均利用 日数
		1日	2日	3日	4日	5日 以上		
自宅	494	7.9	14.2	11.1	10.7	56.1	7	4.5
祖父母等宅、	84	45.2	14.3	20.2	8.3	11.9	7	2.4
学童クラブ	116	2.6	10.3	17.2	19.0	50.9	7	4.1
児童館など	11	36.4	27.3	9.1	18.2	9.1	5	2.4
習い事	355	23.4	33.0	19.7	12.7	11.3	7	2.6
ファミリー・サポート・ センター	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1	1.0
放課後等デイサービス	24	29.2	25.0	8.3	12.5	20.8	6	2.7
その他	24	8.3	25.0	29.2	16.7	16.7	6	3.1

過ごしている場所 (平日の放課後月当たり)	回答数	1日	2日	3日	4日	5日 以上	最大	1人 平均
子ども食堂など	34	70.6	5.9	0.0	2.9	17.6	20	3.4

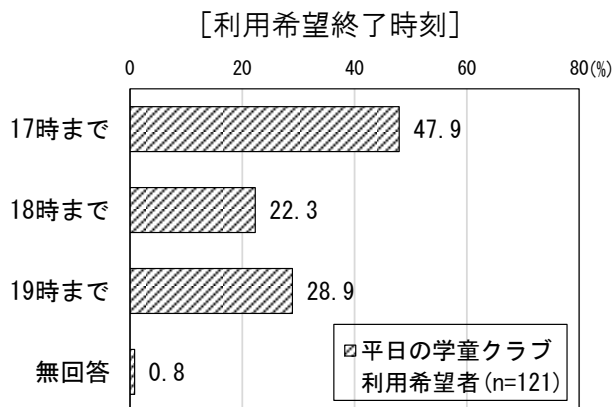
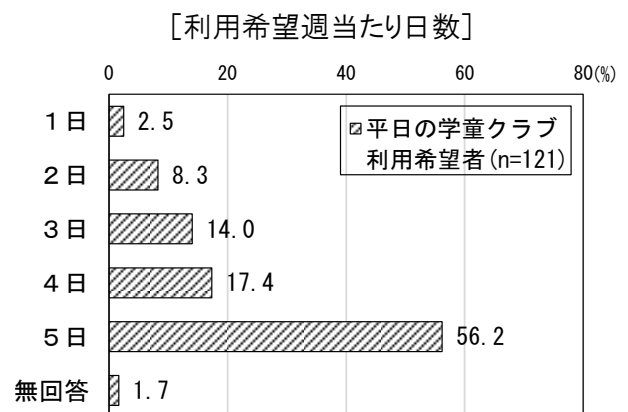
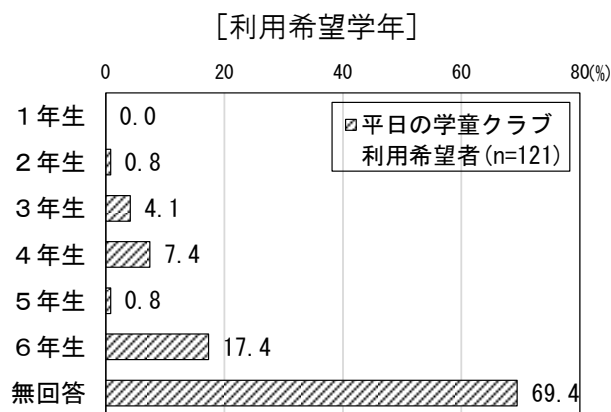
②「学童クラブ」の平日の利用希望

【小学生：問14-1】

- 「利用希望がある」が19.0%となっています。
- 学年3区分別では、「利用希望がある」が“1～2年生”は50.4%で最も高く、“3～4年生”は20.4%、“5～6年生”は5.3%となっています。
- 利用希望者が何年生まで利用を希望するかについては無回答が多く、その中で「6年生」までが17.4%で最も高くなっています。
- 週当たりの利用希望日数については「5日」が、利用希望終了時刻は「17時まで」が、それぞれ最も高くなっています。



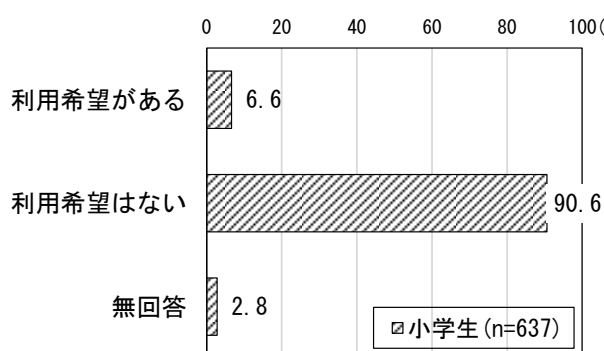
		合計	問14－1 学童クラブの平日の利用希望		
			利用希望 がある	利用希望 はない	無回答
全体		637 100.0	121 19.0	497 78.0	19 3.0
3 区 分 学 年	問2 1～2年生	121 100.0	61 50.4	55 45.5	5 4.1
		216 100.0	44 20.4	164 75.9	8 3.7
	5～6年生	300 100.0	16 5.3	278 92.7	6 2.0



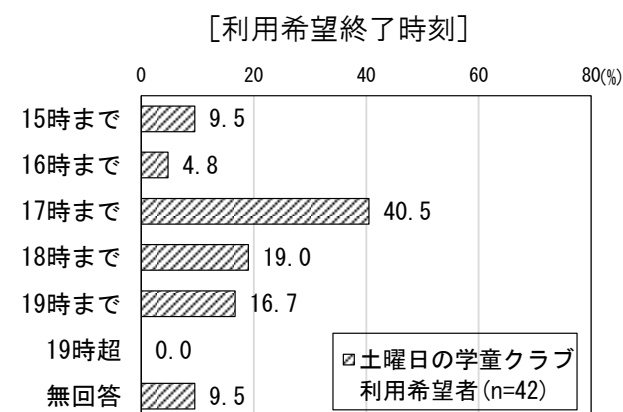
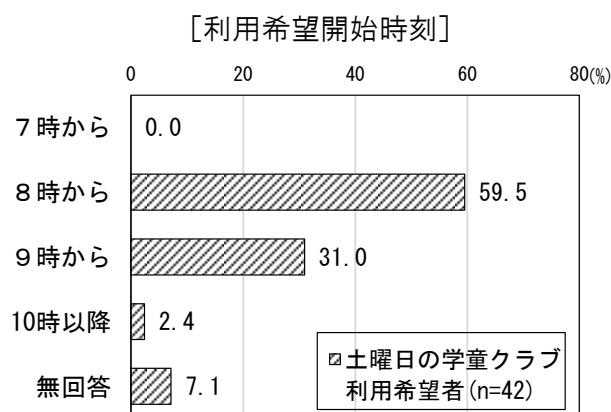
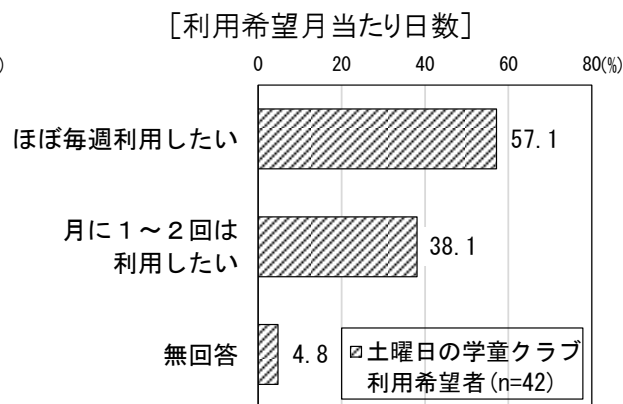
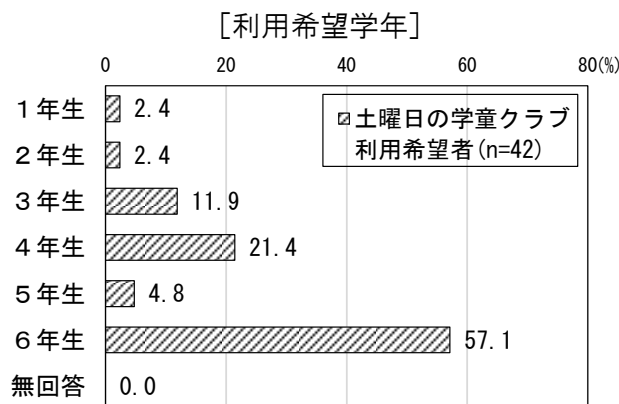
③「学童クラブ」の土曜日の利用希望

【小学生：問14-2】

- 「利用希望がある」が6.6%となっています。
- 学年3区分別では、「利用希望がある」が“1～2年生”は14.9%で最も高く、“3～4年生”は7.9%、“5～6年生”は2.3%となっています。
- 利用希望者が何年生まで利用を希望するかについては、「6年生」までが57.1%で最も高くなっています。
- 月当たりの利用希望日数については、「ほぼ毎週利用したい」が57.1%、「月に1～2回は利用したい」が38.1%となっています。
- 利用希望開始時刻は「8時から」が、利用希望終了時刻は「17時まで」が、それぞれ最も高くなっています。



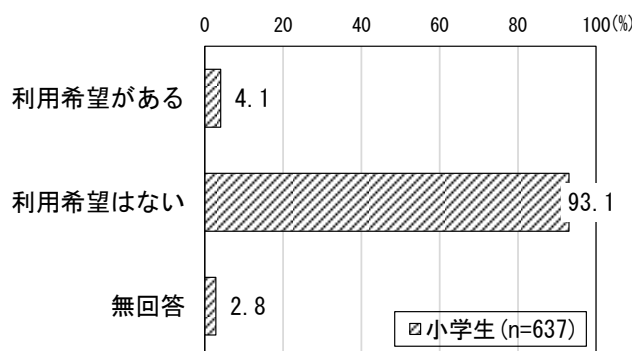
		問14-2 学童クラブの土曜日の利用希望		
		合計	利用希望 がある	利用希望 はない
全体		637	42	577
		100.0	6.6	90.6
問 3 区 分 学 年	1～2年生	121	18	99
		100.0	14.9	81.8
	3～4年生	216	17	190
		100.0	7.9	88.0
	5～6年生	300	7	288
		100.0	2.3	96.0



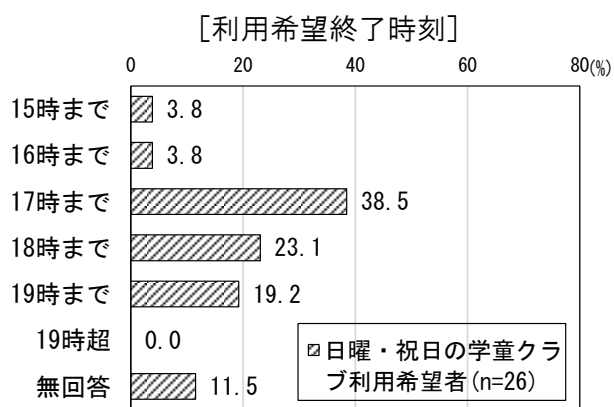
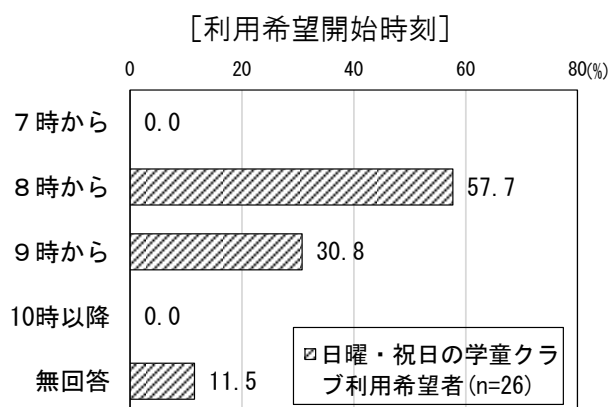
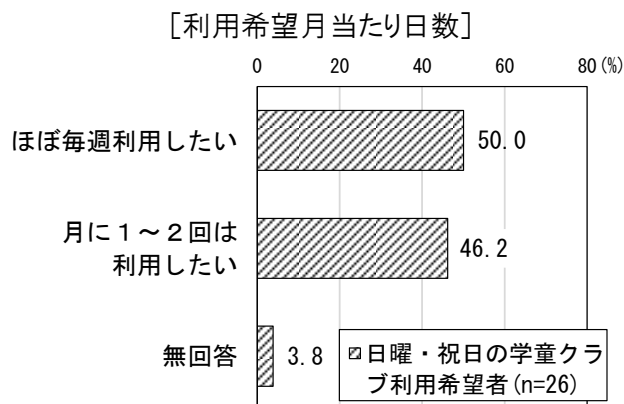
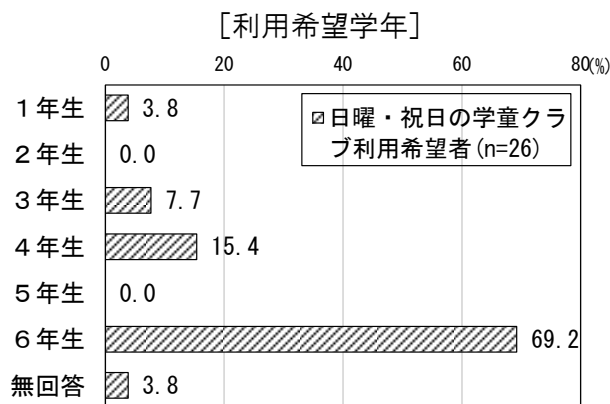
④「学童クラブ」の日曜日・祝日の利用希望

【小学生：問14-3】

- 「利用希望がある」が4.1%となっています。
- 学年3区分別では、「利用希望がある」が“1～2年生”は9.9%で最も高く、“3～4年生”は3.7%、“5～6年生”は2.0%となっています。
- 利用希望者が何年生まで利用を希望するかについては、「6年生」までが69.2%で最も高くなっています。
- 月当たりの利用希望日数については、「ほぼ毎週利用したい」が50.0%、「月に1～2回は利用したい」が46.2%となっています。
- 利用希望開始時刻は「8時から」が、利用希望終了時刻は「17時まで」が、それぞれ最も高くなっています。



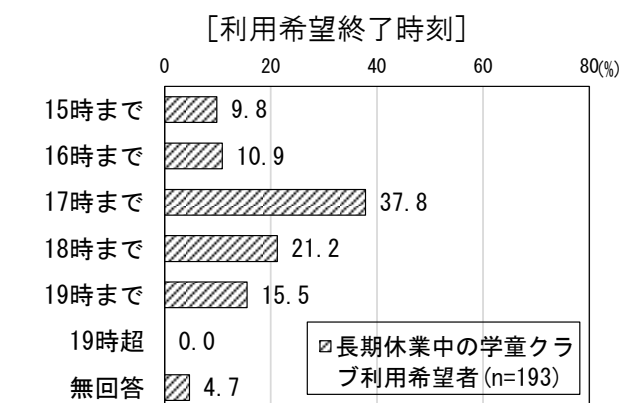
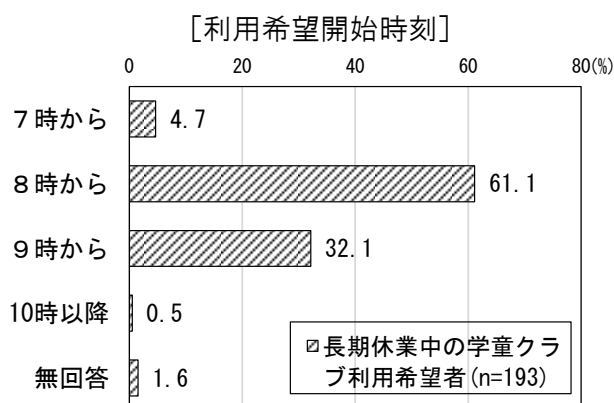
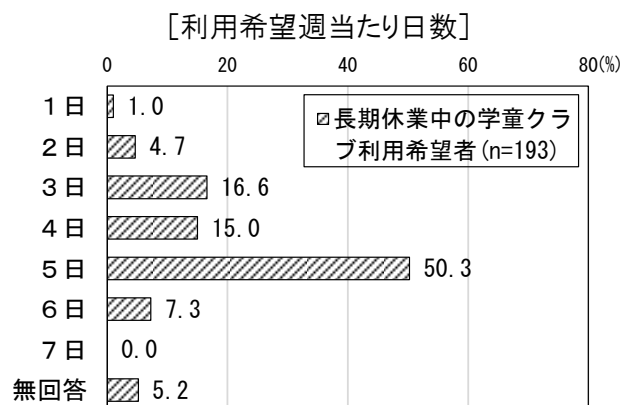
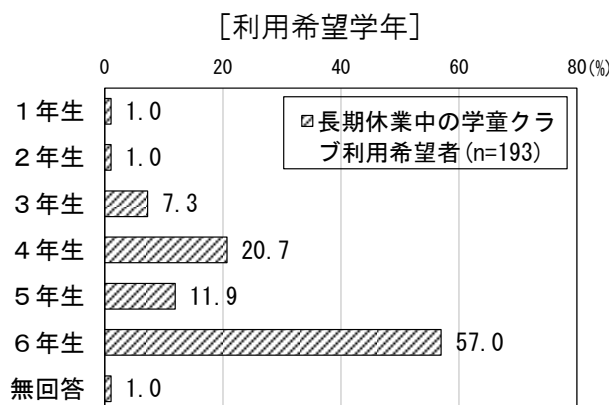
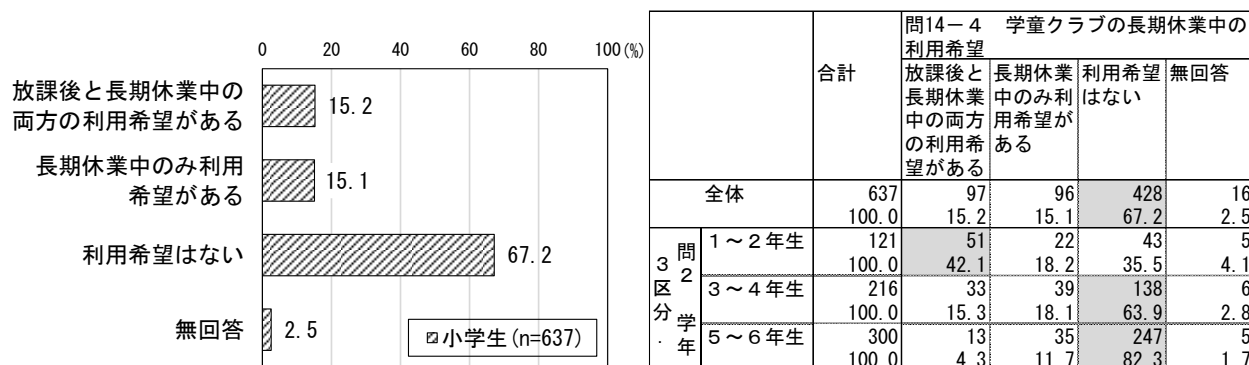
		問14-3 学童クラブの日曜日・祝日の利用希望		
		合計	利用希望がある	利用希望はない
問32区分学年	全体	637	26	593
		100.0	4.1	93.1
	1～2年生	121	12	103
		100.0	9.9	85.1
	3～4年生	216	8	201
		100.0	3.7	93.1
	5～6年生	300	6	289
		100.0	2.0	96.3



⑤「学童クラブ」の長期休業中の利用希望

【小学生：問14-4】

- 「放課後と長期休業中の両方の利用希望がある」が15.2%、「長期休業中のみ利用希望がある」が15.1%と同程度で、合わせて『利用希望がある』が30.3%となっています。
- 学年3区分別では、『利用希望がある』が“1～2年生”は60.3%で最も高く、“3～4年生”は33.4%、“5～6年生”は16.0%となっています。そのうち、「放課後と長期休業中の両方の利用希望がある」が“1～2年生”は42.1%と高くなっています。
- 利用希望者が何年生まで利用を希望するかについては、「6年生」までが57.0%で最も高くなっています。
- 週当たりの利用希望日数については、「5日」が50.3%で最も高くなっています。
- 利用希望開始時刻は「8時から」が、利用希望終了時刻は「17時まで」が、それぞれ最も高くなっています。

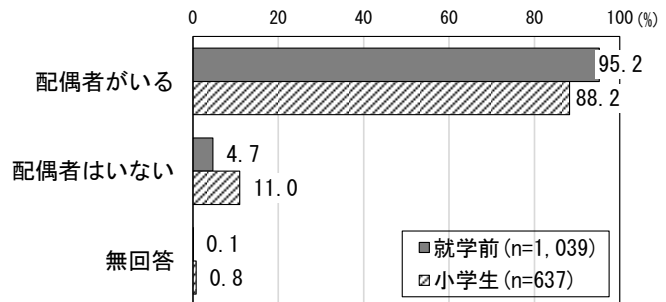


11. ひとり親家庭への支援や施策

①配偶関係

【就学前:問27、小学生:問16】

- 「配偶者はいない」が就学前は4.7%、小学生は11.0%となっています。
- 「配偶者はいない」が就学前の年齢3区分別では、“3～5歳”が5.7%で最も高く、小学生の学年3区分別では、“1～2年生”が19.0%で最も高くなっています。



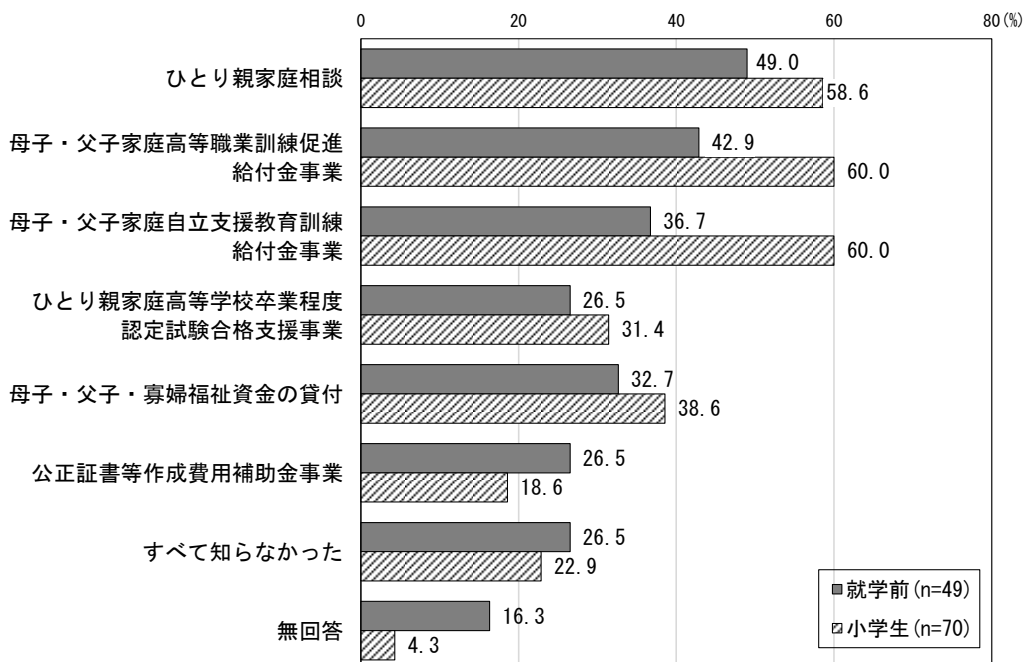
		合計	問27 配偶者の有無		
			配偶者がいる	配偶者はいない	無回答
全体		1039	989	49	1
		100.0	95.2	4.7	0.1
問27 3区分年齢	0歳児	270	258	12	0
		100.0	95.6	4.4	0.0
	1～2歳児	279	271	8	0
		100.0	97.1	2.9	0.0
	3～5歳児	488	460	28	0
		100.0	94.3	5.7	0.0

		合計	問16 配偶者の有無		
			配偶者がいる	配偶者はいない	無回答
全体		637	562	70	5
		100.0	88.2	11.0	0.8
問16 3区分学年	1～2年生	121	94	23	4
		100.0	77.7	19.0	3.3
	3～4年生	216	194	22	0
		100.0	89.8	10.2	0.0
	5～6年生	300	274	25	1
		100.0	91.3	8.3	0.3

②ひとり親家庭への支援や施策の認知状況

【就学前:問28／MA、小学生:問17／MA】

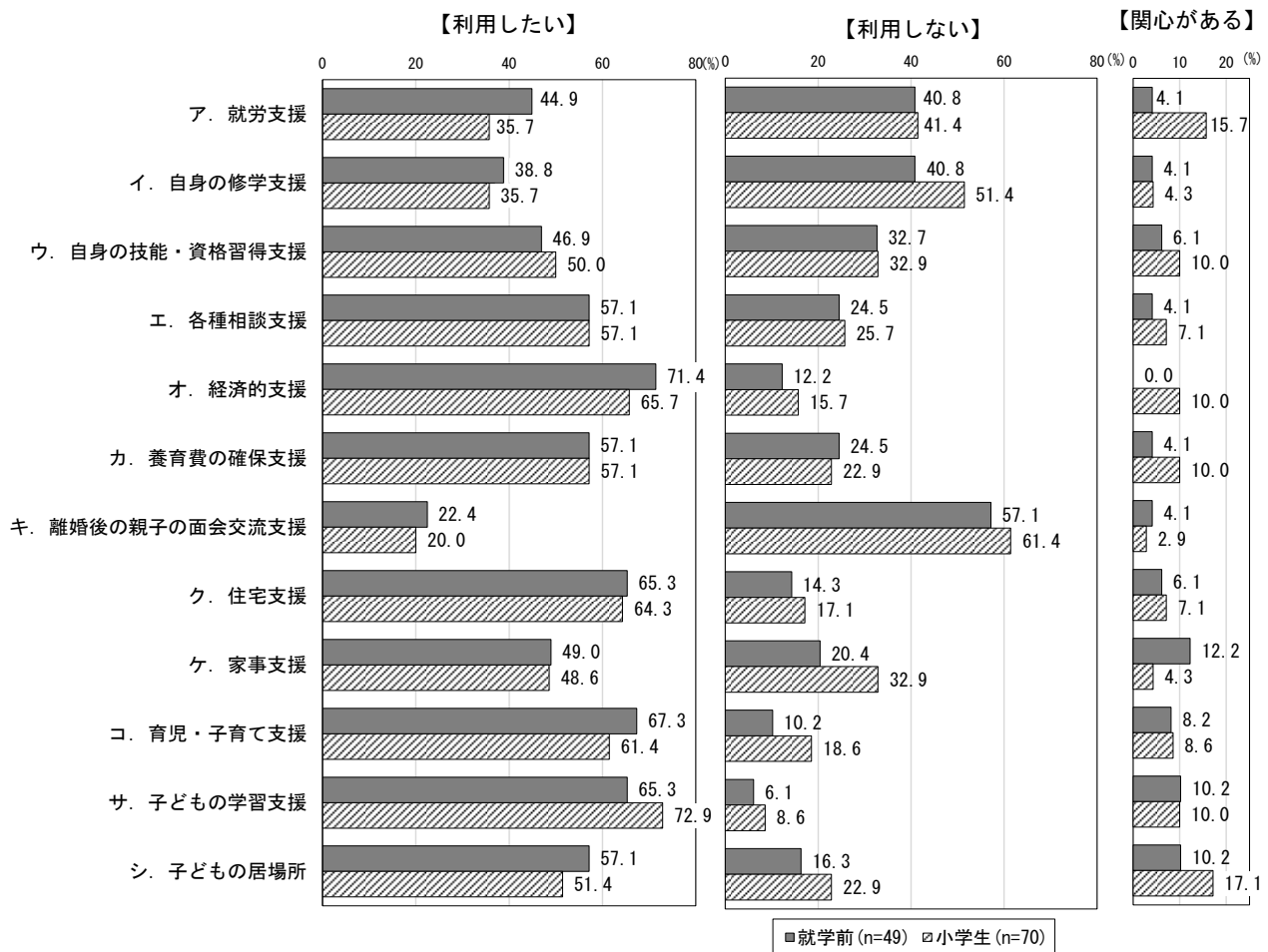
- 「すべて知らなかった」及び無回答を除いた認知率が、就学前は57.2%、小学生は72.8%で、就学前が低くなっています。認知している中では、就学前は「ひとり親家庭相談」が、小学生は「母子・父子家庭高等職業訓練促進給付金事業」及び「母子・父子家庭自立支援教育訓練給付金事業」が、それぞれ最も高くなっています。



③ひとり親家庭への支援や施策の利用意向

【就学前:問29、小学生:問18】

- ひとり親家庭への支援や施策12項目の中で「利用したい」が高い項目については、就学前は【オ. 経済的支援】(71.4%)、【コ. 育児・子育て支援】(67.3%)、【ク. 住宅支援】及び【サ. 子どもの学習支援】(65.3%)となっています。
- 小学生は【サ. 子どもの学習支援】(72.9%)、【オ. 経済的支援】(65.7%)、【ク. 住宅支援】(64.3%)となっています。
- 「関心がある」が高い項目については、就学前は【ケ. 家事支援】(12.2%)が、小学生は【シ. 子どもの居場所】(17.1%)や【ア. 就労支援】(15.7%)が、それぞれ高くなっています。また、小学生は就学前に比べて高い項目が多くなっています。

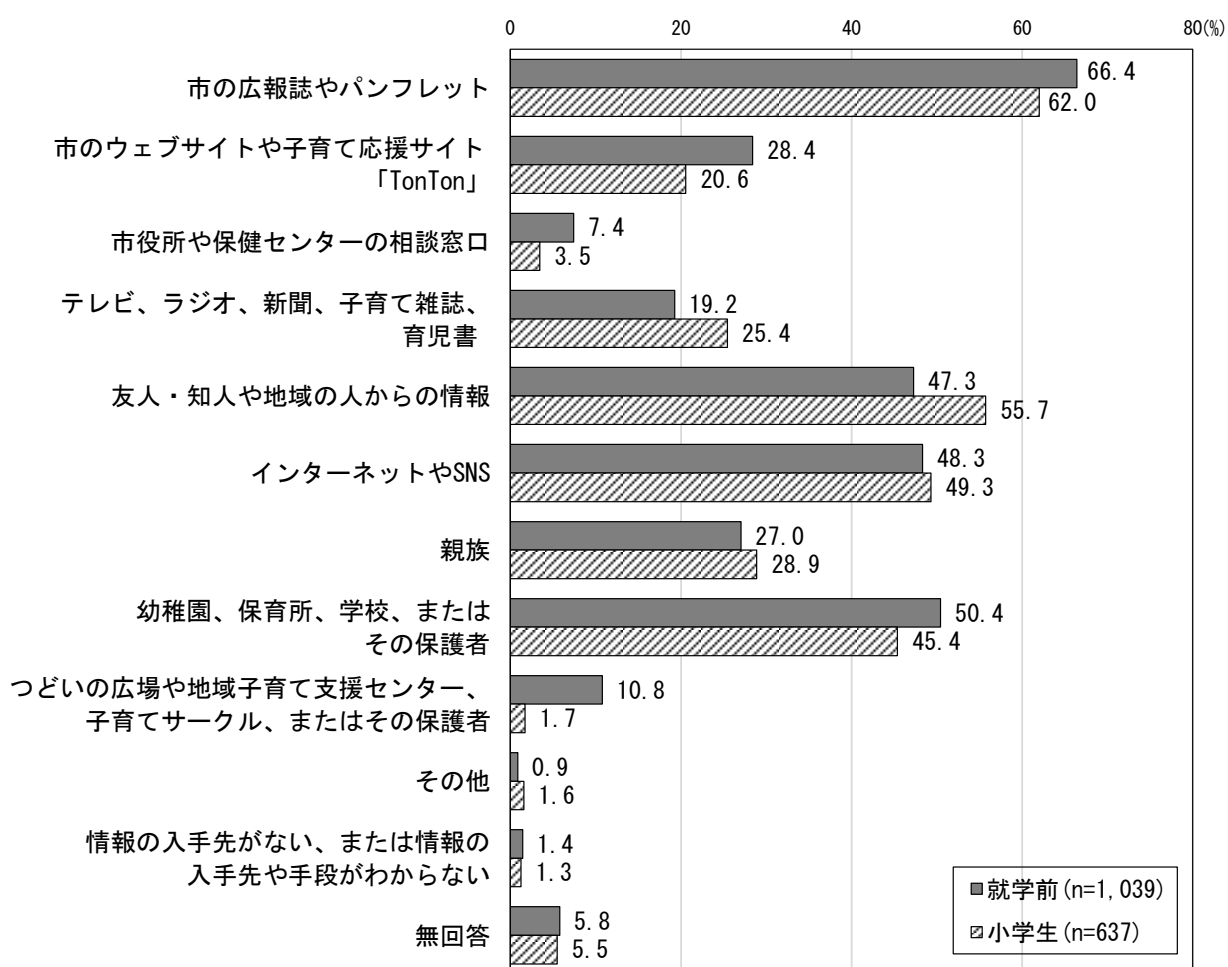


12. 子育てに関する情報源

①子育てに必要な情報の入手先

【就学前:問30/MA、小学生:問19/MA】

- 情報の入手先がある率が、「情報の入手先がない、または情報の入手先や手段がわからない」及び無回答を除くと、就学前は92.8%、小学生は93.2%で同程度となっています。入手先の中では、就学前及び小学生ともに「市の広報誌やパンフレット」が最も高く、就学前は66.4%、小学生は62.0%となっています。次いで、就学前は「幼稚園、保育所、学校、またはその保護者」(50.4%)、「インターネットやSNS」(48.3%)、「友人・知人や地域の人からの情報」(47.3%)と続きます。小学生は「友人・知人や地域の人からの情報」(55.7%)、「インターネットやSNS」(49.3%)、「幼稚園、保育所、学校、またはその保護者」(45.4%)と続き、上位4項目は順位に多少の違いがあるものの、就学前と同じ項目になっています。

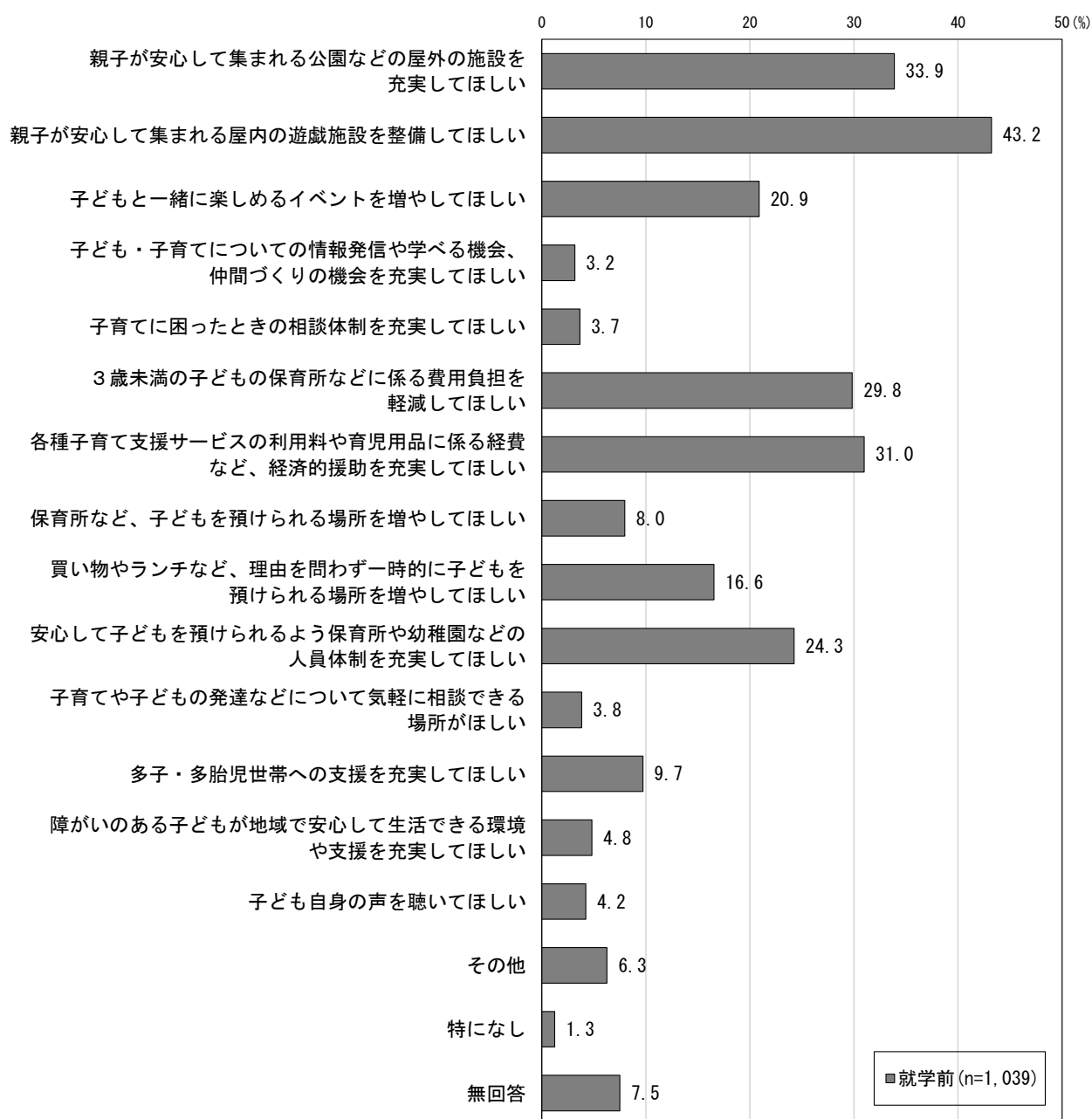


13. 本市の子育て支援全般

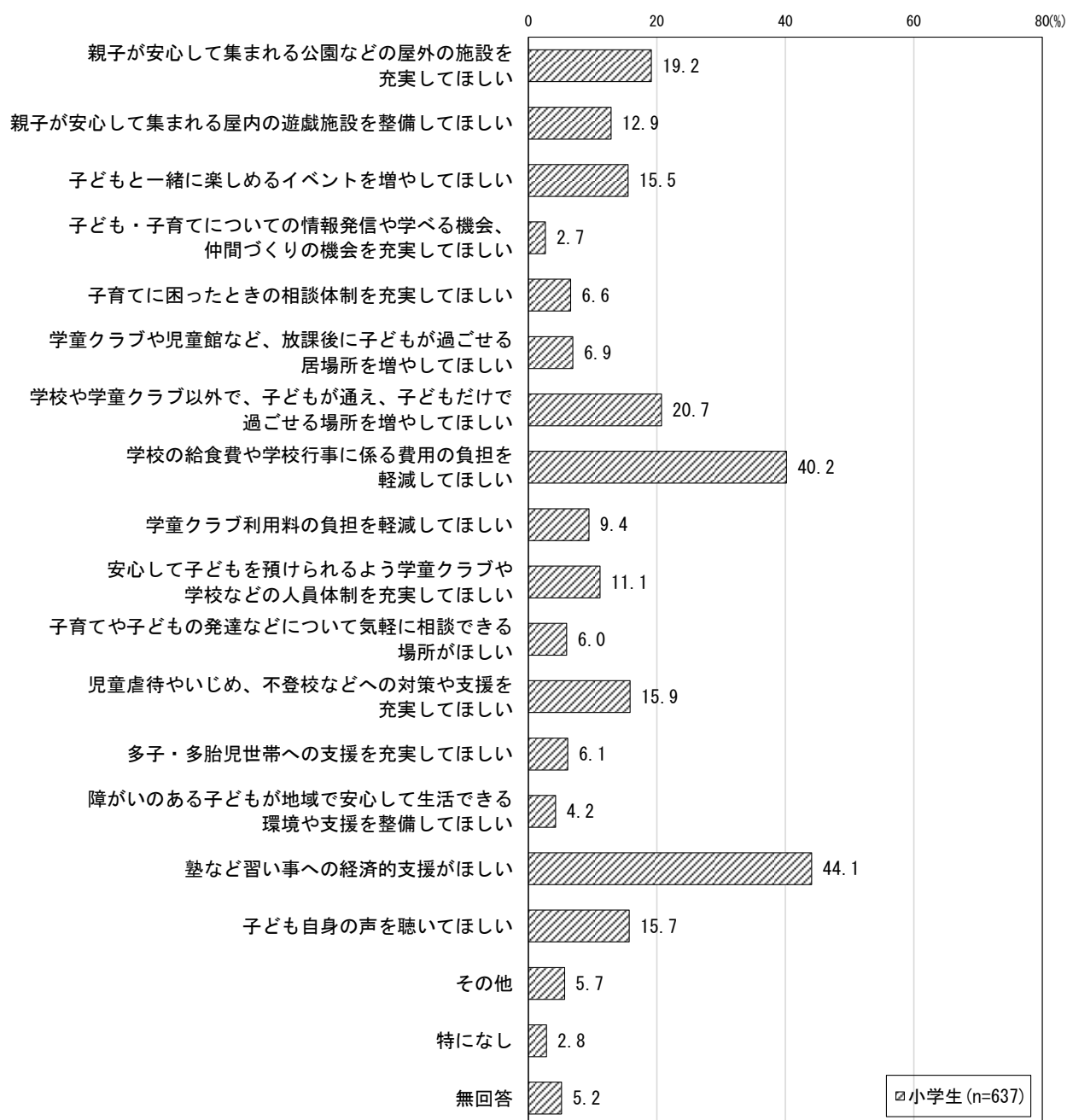
①今後、充実を図ってほしい子育て支援

【就学前：問31／MA、小学生：問20／MA】

- 就学前では、「親子が安心して集まれる屋内の遊戯施設を整備してほしい」が43.2%で最も高く、次いで「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を充実してほしい」（33.9%）、「各種子育て支援サービスの利用料や育児用品に係る経費など、経済的援助を充実してほしい」（31.0%）、「3歳未満の子どもの保育所などに係る費用負担を軽減してほしい」（29.8%）、「安心して子どもを預けられるよう保育所や幼稚園などの人員体制を充実してほしい」（24.3%）と続き、《親子が安心して集まれる屋内外の施設》が1・2位を占めています。



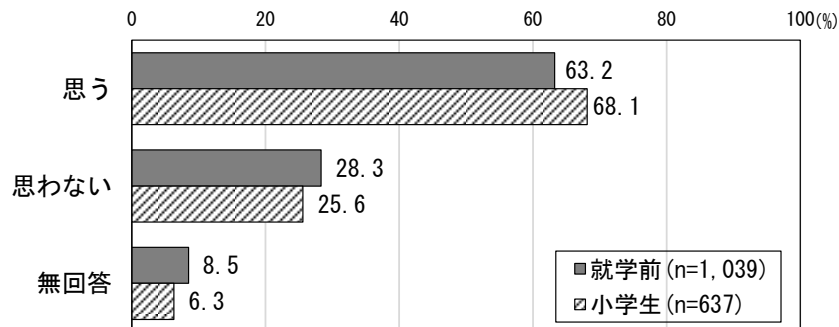
- 小学生では、「塾など習い事への経済的支援がほしい」が44.1%で最も高く、次いで「学校の給食費や学校行事に係る費用の負担を軽減してほしい」(40.2%)、「学校や学童クラブ以外で、子どもが通え、子どもだけで過ごせる場所を増やしてほしい」(20.7%)、「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を充実してほしい」(19.2%)と続き、《経済的支援や経済的負担の軽減》が1・2位を占めています。



②富田林市は子育てしやすいまちだと思うかどうか

【就学前：問32、小学生：問21】

- 「思う」が就学前は63.2%、小学生は68.1%で、小学生が4.9ポイント高くなっています。一方、「思わない」が就学前は28.3%、小学生は25.6%で、就学前が2.7ポイント高くなっています。
- 就学前の年齢3区分別では、「思う」及び「思わない」が、各年齢区分で大差ありません。
- 小学生の学年3区分別では、「思う」が“1～2年生”は71.1%で最も高く、「思わない」が“3～4年生”は27.3%で最も高くなっています。



		合計	問32 富田林市は子育てし やすいまちだと思うか		
			思う	思わない	無回答
全体		1039 100.0	657 63.2	294 28.3	88 8.5
問32 区分年齢	0歳児	270 100.0	169 62.6	76 28.1	25 9.3
		1～2歳児	279 100.0	179 64.2	81 29.0
	3～5歳児		488 100.0	308 63.1	137 28.1

		合計	問21 富田林市は子育てしやすいまちだと思うか		
			思う	思わない	無回答
全体		637 100.0	434 68.1	163 25.6	40 6.3
問21 3区分 学年	1～2年生	121 100.0	86 71.1	29 24.0	6 5.0
		216 100.0	147 68.1	59 27.3	10 4.6
	3～4年生	300 100.0	201 67.0	75 25.0	24 8.0
		5～6年生			

③子育て環境や支援に関するご意見や困りごと(自由意見) 【就学前:問33、小学生:問22】

- 就学前児童調査では、396人から自由意見をいただきました。以下に分野別の意見を抜粋したものを表にまとめますが、1人で複数の分野別内容の意見があった場合は、それぞれ1件としてカウントしています。

分野別内容	件数
1. 保育所(70人)	82
●一時預かりを利用しやすくして欲しい(手続きの簡素化/施設増/兄弟預かり/日数増等)	18
●保育士の確保・充実(人員増等)	13
●保育士の待遇改善(給与/福利厚生等)	8
●利用時間の拡充・緩和(終了時間の延長/育休中の預かり時間/夜勤明けのお迎え時間等)	8
●入所基準の緩和(年度途中の入園/64時間の緩和/就労理由に関係なく/母子家庭に寄り添った保育所入園点数等)	7
●病児保育の充実(施設増/予約システムの改善/定員増と開始時間等時間の拡大等)	6
●待機児童問題の解決	4
●保育の質の向上(安全面/研修の充実等)	3
●保育所の選考(透明性の高いものに/自宅からの距離や校区などの配慮/就労実態の確認)	3
●施設・設備の改修(床暖房/お湯が出るように等)	3
●保護者会活動の見直し(時代に合わない/減らすか形を変える等)	3
●保育園の存続	2
●その他(提出書類の紙ベースからの改善/発熱後24時間の体温は厚生労働省発表基準で等)	4
2. 幼稚園(27人)	29
●施設・設備の改修(老朽化/トイレをきれいに/遊具をきれいに/駐車場の整備等)	5
●利用時間の拡充(水曜日の午後保育と給食提供/小学校と同じ日程の午後保育等)	4
●統廃合反対	4
●統廃合賛成(浮いたコストで送迎バスの導入を/利用者が減っている等)	3
●統廃合はもう少し時間をかけてして欲しい(財政ではなく子どもファーストで等)	2
●公立幼稚園の預かり保育の充実(春休み中の実施/時間延長)	2
●教諭の充実(人員不足/人員増)	2
●その他(保護者会活動の見直し/閉園施設の再利用/公立幼稚園のPR等)	7
3. 認定こども園(11人)	11
●認定こども園の整備(幼保再編計画の中で進めて欲しい/金剛地区に増やして/幼稚園を廃止するのであれば中学校区毎に整備/通園バスが出る園/満3歳から入れる園が少ない等)	6
●利用要件の緩和(土曜日の仕事以外での預かり/1号枠でも一時預かりができるように/1号枠から2号へ変わる枠が少ない/手続きに必要な就労証明を毎月から年1回に)	4
●16~18時のお迎えの間に英語や体操を教えて欲しい	1
4. 小学校(26人)	31
●施設・設備の改修(トイレの改修/全て洋式に/スクールバスの配備等)	5
●小1の壁問題に不安がある(登校時間7時からの受け入れを等)	4
●PTA活動の見直し(減らすべき/任意加入に等)	4
●1学級を少人数制にして欲しい	2
●小学校を選択できるようにして欲しい	2
●小学校を統合して欲しい	2
●給食について(オーガニックなものに/給食センター方式の継続)	2
●その他(教員増/タブレットの使用は最小限に/体操服の指定はなくして等)	10
5. 中学校(4人)	4
●公立中学校の完全給食の実施	3
●葛城中学校の校則が厳しいと聞いた(ポニーテールの高さなど)	1

分野別内容	件数
6. 学童クラブ(35人)	38
●長期休業中のみ利用できるようにして欲しい	12
●利用要件の緩和（就業日数規定／在宅勤務での利用可／1時や2時までのパートでも可／単発での利用可／低学年の間は誰でも利用可等）	9
●給食のない時期の利用の利便性の向上（弁当持参のための冷蔵庫の設置／弁当提供等）	4
●利用時間の拡充（土曜日や休校日の開始時間や終了時間の延長／保育園と同一の開所時間）	3
●体制の充実（人員増／教員免許者による学習面の指導）	2
●保護者会活動の見直し	2
●その他（宿題時間が欲しい／クラス替えやクラス間での交流／情報収集の方法がわからない／学童後のお迎えや仕事と子育ての両立が心配等）	6
7. 放課後の過ごし方(5人)	5
●放課後に過ごす場所の確保（小金台や向陽台地区は校庭開放がない／校庭開放の継続／休日や放課後に体育館の開放）	4
●放課後、休日のイベントを増やして欲しい	1
8. つどいの広場・児童館等(49人)	50
●広い屋内施設の整備（茨木市のおにクルや河内長野市のあいっく、大阪狭山市のあっぴっぷのような複合施設を）	22
●児童館の充実（地域毎に整備／大型の遊具の整備／開放的で利用したくなる施設に／耐震整備／図書館との隣接等）	10
●つどいの広場の充実（利用時間の延長／土日でも利用できるように／イベント等内容の充実／小学生も利用できるように／兄弟枠の設定／近くに作って等）	8
●子育て支援センターについて（車がない生活で利用できない／定期検診時等で近くの施設を案内したら／もっと充実して欲しい）	3
●乳幼児クラブについて（0歳児から保健センターでやって欲しい／金剛乳児クラブを0歳児からにして欲しい）	2
●その他（親の就労の有無に関わらず子ども達が安心して気軽に集まれる場所があれば／就学前の小さい子どもが安心して遊べる場所をもっと増やして／親子で集まれる施設が少ないか、もしくは偏りがある／金剛庁舎をもっと子育て支援に活用して欲しい）	5
9. 公園や児童の遊び場(73人)	74
●公園の整備・充実（公園が少ない・ない／小さい子どもが遊べる公園をもっと増やして欲しい／校区に1つは小学生でも遊べる公園を／ボール遊びができる公園を／遊具の充実・工夫／遊具の点検・修理／施設・設備の充実（駐車場、トイレ、おむつ替えや授乳できる場）／他とは違った複合遊具がある公園（滑り台、鉄棒、ジャングルジムばかりではなく）を／ゴミ対策や雑草等美化等）	48
●運動ができる場や遊び場の整備・充実（大型室内遊具施設の整備／体育館や思い切って身体を動かせる所の整備／中央グラウンドの体育館を子どもが遊べるスペースとして貸し出す時間を設けて欲しい／屋内ボールプール施設の整備／気軽に遊びにいける無料の屋内施設があれば嬉しい／幼児も一年中遊べる温水プールがあると嬉しい／市民プール増等）	19
●サバーファームについて（休園すると遊び場が減り困る／市の特色としてとてもいい施設なので、引き続き市として運営し、活性化の一つとして盛り上げて欲しい等）	5
●その他（すばるホールの隣のプールにはぜひ駐車場が欲しい／子ども向けイベントは幅広く地域を巻き込むようなものにして欲しい）	2
10. 防犯対策(5人)	6
●不審者対策（登下校時や遊びに行く時が不安なので、スクールバスや子どもの見守りを等）	2
●その他（防犯カメラの設置増／虐待死の防止／保育士や教師の性犯罪の防止／暴走族の取り締まり）	4
11. 道路、歩道、交通(27人)	30
●歩道の整備（ベビーカーが通りやすいように等）	14
●交通の利便性の向上（車で移動しないと子育て関連施設に行けない／バスの増便等）	5
●道路の整備（金剛大橋付近から河川敷公園へ安全に降りられる道の整備等）	3
●交通ルールの遵守（スクールゾーンの時間帯通行禁止が守られていない等）	3

分野別内容	件数
11. 道路、歩道、交通(続き)	
●交通安全施設の整備（学校周辺の横断歩道に信号を設置して欲しい／用水路の蓋やガードレールの設置）	3
●施設のバリアフリー化（金剛駅東口にエレベーターを設置して欲しい等）	2
12. 子育て支援全般(46人)	47
●子育て支援の充実（明石市のような子育て支援／フルタイム共働き家庭を想定した支援／多子家庭に対する支援体制の整備／プレママ・ハッピーライフサポートの復活／保育所幼稚園での布団などのレンタルを4歳以降必要まで継続／仕事との両立可能な支援を／子どもを対象とした宅食等）	19
●子どもの預かり支援の充実（土・日・祝日でも預けられる施設／小学校の放課後に理由を問わず預けられる場所／学童以外に長期休業中に預けられる場所／母親の受診時に預けられる場所／有料で気兼ねなく預けてリフレッシュできる場所／第2子以降の出産前後に未就学の兄弟を預けられる制度／18歳までの預かり保育／未就園児全てのデータ管理によるいつでも預けられる体制／手続きの簡素化等）	14
●子ども服や用品等のリサイクル・リユース	3
●子育てに関する学びの機会の提供（発達障害やHSCについて学べる機会を増やして等）	2
●その他（在宅で、会社に属さずに仕事をしていた人間には当てはまらないサポートもあり、何を選べばよいのか混乱／下の子がしょうとく園に通う事になっているが、預かり時間が現在通っている幼稚園より短い為、不安を抱えている。父が社会復帰のための職業訓練に通える時間が物理的に確保出来ない事がわかり、職業訓練は諦める事になった／幼稚園と保育園の募集時期について、保育園の募集を先にして欲しい／保育料の査定に離婚調停中の場合は相手のマイナンバーカードなどの書類を提出をしなくていいようにして頂きたい／申請種類などをネットでできるように等）	9
13. 経済的な支援(120人)	136
●保育料について（保育料の軽減／3歳以下の保育料の無償化／保育料の一律化／第1子、第2子のカウントの見直し（学童児の人数も含めて）等）	50
●おむつ定期便について（ありがたい／対象年齢の引き上げ／置き配OKに／初めに何故申請が必要なのか疑問等）	18
●給食費、副食費の支援（給食費の補助／無償化等）	16
●預かり保育等利用料について（もう少し安く等）	8
●多子・多胎児世帯に対する支援（出産費用の無料化等）	6
●家族や育児用品に使えるクーポン等の支給	6
●学童クラブの利用料について（高い／日割り制に等）	5
●その他経済的支援の充実（母子家庭への支援／習い事に対する補助／養育費請求のための弁護士費用の補助／自治体独自の費用負担軽減に対する取り組み／この街で子どもを産み育てたい！と感じるような抜本的な経済支援／ランドセル補助金もしくは摂津市みたいにランリュックの配布／児童手当の回数を確実に増やして欲しい／所得に関わらず支援して欲しい等）	27
14. 障がい児支援(7人)	7
●障がいのある子への支援の充実（巡回指導を年1回ではなく、何回も受けられるように／支援制度を所得制限なく利用できるように等）	3
●保育体制の充実（加配が必要な児童への職員配置人数増／保育士等の研修増／発達グレーの子への加配）	3
●発達障がいのある子どもを受け入れるため、しょうとく園のような機能を有し、保育時間が長い施設の整備	1
15. 健康支援(2人)	2
●産後ケアは素晴らしい制度だと思う。今後も気軽に利用できる金額と回数を維持して欲しい	1
●小児科が少ないし、高圧的に話してくる先生がいるので、改善して欲しい	1

分野別内容	件数
16. 情報提供、相談窓口(25人)	26
● 情報提供内容の充実 （幼稚園や放課後等デイサービス等の合同説明会の開催日／保育園や子ども園の定員数や募集状況、空き状況／受けられる子育て支援やサービス／毎年聞かれる内容や多い質問についての内容等をホームページで公開等）	10
● 相談対応の充実 （市役所の対応が不親切／相談担当者がすぐ代わるので悩み事など相談出来ない／対応者により言う事が違ったり勉強不足／託児付きでなかったり、子どもの様子をみでの提案がなかったり、相談後のフォローや関係機関との連携もない／育児相談などはLINEなどで気軽に24時間、365日いつでもできるようなサービスがあればいい等）	10
● 情報入手のための利便性の向上 （アクセスしやすく、必要な情報に気づきやすい仕組み／更新を早く／tontonの公式LINE等で取得できる手段等を増やす／子育て施設にも就労情報とかおいて相談出来たりしたら働きやすくなる等）	6
17. 子育てしやすい社会環境(33人)	34
● 子育てしやすいまちづくりの推進 （若者が喜んで住みたいまちづくり／子育て世帯がたくさん住みたくなる街／子どもたちがのびのび育つことの出来る環境／親が安心して子育てできる環境に／働きやすい、預けやすい環境があれば子どもの数も増えるのでは／自然豊かな魅力的な市なので、もっと学校や教育に力を入れれば、転入する家庭も増えるのでは／子育てをするなら富田林、という街であって欲しい／次世代を担う子どもたちが安心して育つ場所、富田林市が大好きな子どもを育てる場所、大人になっても子育てをしたいと思える場所に等）	17
● 地域で子育てできる環境づくり （子どもが泣くと知らない人に大声で怒鳴られたり、怒ると可哀想と言われたり、家で子どもが泣いたら虐待を疑われ…児相の人が来ても何をするわけでも無い。時代なのかもしれませんが、子育てはしにくい／地域で子どもを育てられるような、親がほっとできる居場所がもっと必要／お互い様で気軽に頼れる、気軽に話を聞ける場所が身近にあれば等）	4
● 子育てと仕事の両立 （シングルも常勤で働けるよう対策して欲しい／保育所やこども園に預けて仕事をしたいが、いろんな縛りがあり、何かをクリアすれば何かクリア出来ないとなり、働く選択が出来ない／都心が遠く働きたい場所が無い／母親と企業との橋渡しをして欲しい／今は時短で働いているが、小学校に入った後から時短がなくなるため困っている）	5
● その他 （母親も息抜きしてもいいんだよという環境になればいい／路上喫煙を禁止する条例を作って欲しい／市役所の子ども課に富田林市内在住の各幼稚園、保育園の保護者である母親のスタッフチームを作り、市議や市役所へのリアルな意見と本当に必要な支援や要望を吸い上げをして欲しい／市立幼稚園、保育所の再配置計画について、現状、新たな方針も出ていませんがどうなるのか非常に心配／福祉(高齢、障がい、保育)に関わる人員を増やし、受け入れ態勢をもっと整えて欲しい等）	8
18. その他(36人)	36
● 感謝、期待、子育てしやすい	13
● アンケートについて （このようなアンケートの機会を設けていただき感謝／数字を打つのが面倒だった／答えることにより、就学前の子どもがいる家庭に何かメリットはあるのか／これらの意見は本当に反映されるのか／育児中のママにとっては、時間がかかるアンケートだと思う。質問内容や入力の仕方など、もう少し答えやすい物にしたいだけだと、もっと答えてくれる人が増えると思う／自宅兼職場なので、就労時間や家を出る時間や退社時間がハッキリしない／なぜ、放課後等デイサービスの質問はないのか？放課後等デイサービスは月の利用の希望をとる形なので、週だと記入し難い。アンケートをとるだけでなく、各園等で、気軽に集まって話す場所も欲しい。その時にでも出た意見をまとめて、市に出す等はできないか／就労時間は、不在時間でははかれないと思う。テレワークにより、帰宅後子どもを寝かしつけてから残業している）	10
● 商業施設の誘致 （駄菓子屋的な店や親子カフェ／人気の子ども服の店／育児用品が買える店／100均の店／大型ショッピング施設）	5
● その他 （駅前の喫煙所の撤去／公立保育園・幼稚園の統廃合問題は決め方やニュースの報道後の対応等不信感で一杯で、次期の市長には、ただただ市民の意見を市政に反映させて欲しい／焚き火の禁止を徹底して欲しい等）	8

- 小学生児童調査では、200人から自由意見をいただきました。以下に分野別の意見を抜粋したものを表にまとめましたが、1人で複数の分野別内容の意見があった場合は、それぞれ1件としてカウントしています。

分野別内容	件数
1. 保育所(3人)	3
● 保育士の人員増	1
● いつも通う保育所での病児保育や時間外保育の延長などをしてもらえると助かる	1
● 公立保育園の老朽化対策	1
2. 幼稚園(1人)	1
● 市立幼稚園の問題をもっと市民に明確に説明するべき。もっときちんと考えるべき	1
3. 支援級・通級(2人)	2
● 支援級の取り扱いの統一。体制の充実	1
● 学校に放課後等デイサービスの利用について相談に行ったが、意見書を書いてもらえなかった。通級に通っている時点で説明して欲しかった	1
4. 小学校(39人)	40
● 施設・設備の改修（老朽化対策／トイレをきれいに／洋式トイレの設置／下駄箱の改修／学校の体育館にクーラーを設置／学校備品の充実等）	7
● 教育体制の充実（教師の人員増／忙しさの緩和等）	6
● 教育・指導内容の向上（1年生から英語の授業を／プールで25mクロールで泳げるように／タブレットの活用の学校間格差の解消）	3
● 相談体制の充実（相談員の学校訪問／スクールカウンセラーの相談日数増や常駐）	3
● PTA活動の見直し（登下校の旗当番はフルタイムには困難／代理依頼や見守り隊の増員）	2
● 学校間による1学級児童数の格差是正（少人数制にして欲しい）	2
● 学校に馴染めない、行きたくない子どものための学校内での居場所づくりや学習支援	2
● 給食について（有料は辛いが食育にいいメニューである／中学校のような給食費の支払方法にし、メニューや量を充実する）	2
● ランドセルについて（一律ランドセルの廃止／ランドセルを指定するなら市内全て指定に）	2
● その他（もう少し子どもに寄り添って欲しい／担任制に／制服の導入／学校行事において共働きも参加しやすい日程に／教師に対する不登校児童への理解を深める講習の実施／学校の清掃を長期休業の際に業者を入れて実施して欲しい／オゾン発生器の設置が不安／小学校の参観をzoomなどで生配信して欲しい／児童数が減っているのに、統合して欲しい／トラブルの際の教師の対応に疑問を感じる事が多く、頼りにならない印象／みんなが楽しく、安心安全な学校づくり）	11
5. 中学校(16人)	17
● 給食について（完全給食実施／配食時間の短縮／給食センターの食事を届けて欲しい）	7
● 施設・設備の改修（トイレの改修／全学校に洋式トイレを／体育館にクーラーを設置）	3
● その他（オゾン発生器の設置が不安／快適で動きやすく、洗濯しやすく安価な制服であれば嬉しい／金剛中学校に購買を再設置／中学校の評判が悪いし、遅刻する学生も多いが指導はしないのか疑問／不登校生徒の対応で「行かない」選択肢も認めて欲しい／小人数学級の推進／クラブ活動を地域委託し、放課後に運動できる日数を増やして欲しい）	7
6. 学童クラブ(27人)	30
● 長期休業中のみ利用できるようにして欲しい	12
● 利用要件の緩和（利用日数や時間で利用料が変われば利用しやすい／短期利用できるように／大阪市のように年間500円で必要な時のみ利用できるように／両親とも教員なので、長期休みの預かりは不要で、役所で休所についてうかがったところ、休所はできない、退所してまた書類を揃えて提出してとの案内だった。休所くらい融通がきくように）	4
● 保護者会活動の見直し（雑務が負担にならないように／ひとり親で役員は無理）	3
● 体制の充実（学童支援員の正規雇用／子どもの年齢や心身の発達を理解するなどの簡単な研修の実施／子どもが楽しく過ごせる場所として運営している他市の視察や参考にするなどして運営方針を改善し、質を向上させて欲しい）	3

分野別内容	件数
6. 学童クラブ(続き)	
●利用時間の拡充(土曜日や代休の日も8時～19時で開所して欲しい/土日の利用可に)	2
●その他(宿題がしやすい環境に/外遊びの時間を増やして欲しい/クラスは固定化せず、学年の人数が同じになるようにクラス替えをして欲しい/給食制度があればいい/小学校と学童が連絡を取るようになって欲しい等)	6
7. 放課後の過ごし方(10人)	10
●学童以外の子どもの居場所の確保(各地区に学童以外の居場所を作って欲しい/学童以外で無料で通える場所があれば/安価で通える預かりの習い事のような所/すばるホールを遊び場や勉強の場所として開放/トピック等で宿題をできるような居場所の体制を整える)	5
●学校開放(放課後の学校開放をして欲しい/外部のコーチを呼んで運動場でサッカーを教えて欲しい/放課後の学校、体育館を利用できるようにしてくれればとてもうれしい/校庭開放は時間が限られ、学童利用児の場合、硬いボールを使ってはいけないという決まりで、子どものしたいボール遊びができない。同じ敷地内なのに、学童以外の子どもは硬いボールを使っている。それが理由で校庭開放にやってきた学童以外の子たちと一緒にボール遊びをしたくてもできない)	5
8. つどいの広場・児童館等(12人)	13
●親子や子ども同士が雨の日でも遊べる屋内施設の整備(雨の日などに子ども達が遊べる場があればいい/保護者との関わりは障害ゆえに難しいので、幼児や低学年の子どもだけで安心して遊べる無料の場所があると良かったと思う/小学生以上が子どもだけで自由に過ごせる屋内スペースが欲しい/親と子どもが集える機会、場所がもっと欲しい/未就学児等の屋内の遊び場をふらっとスペース等に頼ったまま、未整備なのがとても残念/屋内でも子ども達が気軽に遊べる場があればいい)	7
●児童館について(遠い/寺池台小学校近所に子どもだけで集まれる場所、児童館などが欲しい/児童館の耐震化もしくは新築/児童館は地域密着型で行きにくい、利用しにくい/児童館が一つのため、子どもだけで通う制度があっても近隣の児童しか通えないのは不公平だと思う。各小学校区や、通うための送迎バスなど希望する。全児童が不公平なく通えるようにすべき/特定の地域の特定の年代しか利用しないような箱モノ(児童館)をつくるのをやめて欲しい)	6
9. 公園や児童の遊び場(38人)	38
●公園の整備・充実(子どもが安全に遊べる公園等を増やして欲しい/子ども達が思いきり身体を動かして遊べる公園や広場があればいい/大きな公園が欲しい/自分の住んでいる地区に公園があれば、お年寄りや小さい子どもたちにも喜ばれるのではないかな/ボール遊びがのびのび出来る公園がもっと欲しい/公園に幼児用ではなく、健康遊具や小学生が遊べるような遊具を設置して欲しい/トイレの無い公園にトイレの設置/公園に時計を設置して欲しい/小学校区内に広々とした公園の設置、中学校区内に専門スポーツ施設(野球メインの公園、サッカーメインの公園、スケボーパークのある公園、バスケのゴールがある公園等)を希望/公園でボール遊びができるように、ネットを張るなどの対策をして欲しい等)	23
●運動ができる場や遊び場の整備・充実(喜志地区市民プールを復活して欲しい/子ども達が地域で気兼ねなく大きな声を出して走り回れたり、ボール遊びができる環境が欲しい/自由に使える広いグラウンドや憩いの場所が欲しい/子ども達が走り回れる、おもいっきりボール遊びなどができる場所が、スポーツ公園だけでなく子ども達が自分達で行ける距離にあったらいい/禁止ばかりでなく、子どもたちが安心して、のびのびと自由に遊べる場所を作って欲しい等)	12
●その他(天候がゆるす限り外で自然とふれあえる機会がたくさんあると嬉しい/小学校の長期休暇の時に校庭開放をもっとして欲しい/夏休みプールの回数を増やしたりして欲しい。学童に登録のない高学年も教室で勉強できたり図書室で本を読めたり出来たらいい)	3
10. 防犯対策(4人)	4
●不審者対策(学校で集団登下校を推奨してくれると嬉しい等)	2
●その他(防犯カメラの設置増/街灯が少なく暗い道が多い)	2

分野別内容	件数
11. 道路、歩道、交通(13人)	14
●歩道や通学路の整備（通学路が狭い／ガタガタ／歩道が未整備／電柱の地下化等）	7
●交通の利便性の向上（キッズタクシー、塾の送迎サービスの推進／スクールバスを出して欲しい／乗り合いバスがあれば等）	5
●その他（学校前の通学路が通り抜けの道のように、通学時間帯は車の通行を規制して欲しい／旧国道沿いは交通量も多く、1年生1人で登校させるには不安。ガードレールつけて欲しい）	2
12. 子育て支援全般(35人)	35
●子育て支援の充実（働く母子家庭も共働き家庭も、求めているのは経済的支援よりも時間の貧困対策で、その観点での施策を検討して欲しい／親子の時間が増えるためのものが多くなれば嬉しい／誰でも通える児童館以外の場所があるといい／無料英語教室やイベントが増えればありがたい／いろんな支援が平日に偏ってて、共働きが気軽に利用できるタイミングがない／働いている人も参加できる保護者向けの子育て講座の開催日にして欲しい／ファミリーサポートを利用したいが、マッチする人がいなかったのが不公平感がある等）	10
●子どもの預かり支援の充実（長期休暇などに単発で子どもを預けることができれば有り難い／長期休み（夏休みなど）の時だけ預けれる場所が欲しい／学校で行事等あった時、下の子を連れて行けないなどの制限があれば、預ける先が無いので気軽に利用できるように整備して欲しい／病児保育を学童在籍でなくても利用したい／緊急時や、親が病気の際は気軽に子どもを預ける施設が欲しい／等）	7
●子ども食堂の充実（子ども食堂が歩いて行ける範囲に欲しい／子ども食堂を利用したいが近くになく、地区によってはたくさんある所があるので、学校区域内に1つはつくって欲しい等）	5
●子どもの学習支援の充実（金剛図書館には自習スペースがないので、中高生が自習できる施設を作って欲しい／学生が無料で勉強できるスペースを図書館に併設して欲しい／中高生が手軽に利用できて、勉強しやすい自習室などをもう少し増やして欲しい等）	4
●不登校対策の推進（フリースクールなどの子どもが学校以外で通える場所が欲しい／富田林の学校や地域にもっとフリースクールのような居場所ができればと思っている／上の子の不登校で悩んでいた時、もう少し色々支援して欲しいと思った等）	4
●その他（支援が少なすぎる／他の市町村と比べて、子育てに手厚い感じは受けない。例えば、中学校の給食は選択制であり、完全給食ではない。小学校も中学校も給食費は無償ではない／富田林市は母子家庭連合会に入っていない、会自体がない。大阪府の母子家庭連合会にいろいろ聞いても会が無いと参加もできないことが多い。まずは受け皿の準備も整えて欲しい等）	5
13. 経済的な支援(57人)	61
●小中学校の給食費の無償化	17
●塾や習い事の費用の支援（補助）	10
●教育費（授業料）の支援（小・中・高校・大学の教育に係る費用の補助／私立中学の補助）	3
●学童クラブの利用料について（もう少し安くないか／無償化等）	3
●多子世帯に対する支援	3
●その他経済的支援の充実（フリースクール利用料の支援／格安で食料を購入できる支援制度や場所を作りたい／子どものインフルエンザワクチン接種費用にかかる費用の助成／子ども手当をもっと増やして／小学校入学時に購入する用品や家庭科や書写、図工などの授業で教科で使用する物は、個人で購入せず、学校の備品にして欲しい／所得制限や配偶者の有無等による支援の不公平さをなくして欲しい等）	25
14. 障がい児支援(7人)	7
●障がい児支援サービスの充実（放課後等デイサービス全部の事業所が送迎付きであったらよい／障がい児ショートステイ／重度心身障がい児で利用できる放課後等デイサービス）	3
●発達障がいのある子どもや保護者の相談等の充実（本人や保護者が困りごとや悩みを抱えていても、学校や地域で専門の知識を持っている人が少なく感じる。人材の育成が必要／発達障害の子を持つ親が気軽に相談でき、18歳まで継続的に支援してもらえる場所を）	2
●その他（難聴児が過ごせるデファカデミーのような手話が出来る人の塾のようなものを作りたい／保護者が気軽に集える場所があれば嬉しい）	2

分野別内容	件数
15. 健康支援(3人)	3
●小児科を含めて医療機関の選択肢が少なすぎる	1
●予防接種も、小学生以降になると間隔がかなり開くのに、役所から連絡がないのはやや不親切	1
●就学してからも、養育相談や発達検査など、保健センターで受けさせて欲しい。カウンセリングなど、心理的にしんどくなった時に話ができる心理士が近くにいて欲しい	1
16. 情報提供、相談窓口(8人)	9
● 情報提供内容の充実 （小学校区で子育てイベントやこども食堂がない。情報発信がないので知らない／つどいの広場や児童館などがもっと多くの人に伝われば／子育て支援の情報がわかりにくい／交通のマナーやゴミのマナーなど、外国語でのルールブックの様な物の配布／富田林市内のイベントを分かりやすくカレンダー表示(地域別)で検索出来るサイトを作って欲しい。市役所の広報職員による富田林市のいいところ紹介みたいな映像(尺短めで色んな場所イベント)をYou Tubeに上げて欲しい。広報誌、マンガで色々紹介したら読みやすくなるのでは)	5
● 相談対応の充実 （外国の方が問い合わせ出来る窓口などがあれば／フルタイムで働いているので、相談したい時間には子ども家庭センターも含めて、役所が閉まっている時間なので、なかなか相談できない／子どもの発達や困りごとについて、相談できる場所が少ないと感じる／カウンセラーの予約も取りにくいときいているのでカウンセラーの数ももっと多いとありがたい)	4
17. 子育てしやすい社会環境(12人)	12
● 子育てしやすいまちづくりの推進 （誠実で優しいまちであり続け、富田林ってほっとする優しいまち、というイメージブランディングをお願いしたい／人工物ばかりの街ではなく、自然豊かな富田林を子どもや孫に引き継げたらと思う／子どもにとっても環境がいいなと感じている／子育て世帯が安心して生活出来るように／これからも子どもたちが生きやすい町であることを)	5
● 地域で子育てできる環境づくり （子育てで忙しい世代と高齢だけのお元気な方々と協力して何かできれば互いにいい生活になるんじゃないかなと思う／子どもが間違っただけをした時に子どもの為になるはずの注意や指摘が、親御さんによって捻じ曲げられることのない、正当な話が誰にでも通じる世の中であって欲しい)	2
● その他 （小・中学校や幼稚園の統廃合は、市民の声をよく聞いて、何を求めているか見極めて欲しい／子どもの預け先や時間を増やすより、我が子を育てる時間を持てる働き方改革を促進していただきたい／家族連れや若い人が気軽に行ける外食施設やお惣菜屋さん等の店舗を誘致して欲しい／金剛地区の活性化など、再整備するというのは、大賛成なのですが、元々ある緑を極力残せる計画を希望／もっと他の自治体を参考に人口増できるような取り組みを進めてもらいたい)	5
18. その他(13人)	13
● アンケートについて （父母の就業時間に関して、シフト制である為、早出の出勤時間、遅出の帰宅時間を記入しました。設問の回答欄にもう一工夫して頂きたい／質問事項がおかしい所があると思う。あと、自宅で仕事している人の事も考えていない／このざっくりしたアンケートで子育て環境充実に繋がるのか疑問／就業時間については夜勤や準夜勤等の記入も出来なかったのが参考になるのかな?と思った)	4
● 子どもの声を聴いて （子どもから発する声のキャッチ／子ども達も何か思うところはあるかもしれないし、本人達の声を聞いて欲しい／親も含め大人は子どもの声にもっと耳を傾けてあげないといけないと感じる)	3
● その他 （若い世代を転入させるためにはやはり子育てしやすい環境が整っていることが第一／富田林市は子育て支援が手厚く、助かりました／資格のない主婦が、2.3時間働ける場所があればいい／ちょっとだけ見て欲しいと気軽に預けられる場所が幼稚園みたいにないで、大きくなるまで本当に苦労した。毎回この内容を投稿しているが、6年間実現されなかった。政策への遅さや他の市よりも遅いことへ不満／富田林市全体で性教育に力を入れて欲しい／他の市が羨ましく感じる人が多い)	6